

目次

0. 環境設定と基本操作.....	4
0.1. Archicad を起動.....	4
0.1.1. 画面構成.....	5
0.1.2. 基本操作.....	5
0.1.3. カーソル形状.....	5
0.2. グリッドモジュールの設定.....	6
1. フロアの設定.....	7
2. 敷地の情報と道路（周辺情報）.....	8
2.1. 敷地図（DXF）の読み込み.....	8
2.1.1. 新規ワークシートを設定.....	8
2.1.2. 敷地 DXF ファイルの読み込み.....	9
2.2. 敷地境界線の作成.....	10
2.2.1. 2D敷地データの作成.....	10
2.3. 敷地 地形面（メッシュ）の作成.....	11
2.4. 道路（メッシュ）の作成.....	13
2.5. プロジェクトの位置（緯度経度）と 真北の設定.....	14
2.5.1. 真北の設定.....	14
2.5.2. プロジェクトの位置情報.....	14
3. 建物の入力.....	15
3.1. 通り芯の配置.....	15
3.2. 壁の入力.....	18
3.2.1. 1階外壁の入力.....	18
3.2.2. 2階外壁の入力.....	22
3.2.3. 1階内壁の入力.....	23
3.2.4. 2階内壁の入力.....	24
3.3. 床の入力.....	26
3.3.1. 1階の床の入力.....	26
3.3.2. 式台の入力.....	28
3.3.3. 玄関ポーチの入力.....	29
3.3.4. 2階の床の入力.....	30
3.3.5. バルコニー床の入力.....	32
3.3.6. バルコニーの笠木を入力.....	33
3.4. 天井の入力.....	34
3.5. 窓の入力.....	36
3.6. ドアの入力.....	37

グラフィソフト Archicad24	2
3.7. 階段の入力.....	41
3.8. 手摺の編集と入力.....	43
3.8.1. 階段の手摺り.....	43
3.8.2. 吹き抜けの手摺りを入力.....	44
3.8.3. バルコニーの手摺りを入力.....	44
3.9. 設備、家具入力.....	45
3.10. 屋根の入力.....	47
3.10.1. 2階屋根の入力.....	47
3.10.2. 下屋根の入力.....	49
3.11. 壁のクロップ.....	50
3.12. ゾーンの入力.....	51
3.13. 構造の入力.....	53
3.13.1. 基礎の入力.....	53
3.13.2. 柱の入力.....	58
3.13.3. 梁の入力.....	61
3.13.4. 火打ちの入力.....	64
4. レイアウト.....	66
4.1. ビューの設定、登録.....	66
4.1.1. 平面図ビューの設定.....	66
4.1.2. 配置図ビューの登録.....	67
4.1.3. 立面図ビューの設定.....	68
4.1.4. 断面図ビューの設定.....	69
4.1.5. パースビューの登録.....	70
4.1.6. レンダリング.....	71
4.2. 図面の書き込み.....	73
4.2.1. 寸法の記入.....	73
4.2.2. 注釈の記入.....	74
4.3. レイアウトブック.....	76
4.3.1. マスタレイアウトの設定.....	76
4.3.2. 配置図ビューのレイアウト.....	77
4.3.3. 平面図・立面図・断面図・パースのレイアウト調整.....	78
4.3.4. 発行セット（印刷、ファイル保存）の作成.....	79
4.3.5. BIMx データの発行.....	82
4.3.6. BIMx DeskTop Viewer でデータを見る.....	83
5. 巻末資料.....	85

はじめに

Archicad は 1984 年にハンガリーのグラフィソフト社がリリースしたアプリケーションです。日本語版は、1994 年にグラフィソフトジャパンから発売されました。当時は「BIM」という言葉がなかったので、「バーチャルビルディング」というキーワードで、現在の BIM の概念をそのままご利用いただける、世界で最も古くからある BIM アプリの一つです。直感的に使えて、使っていて楽しい、そんな声を多くのユーザーの方からお聞きします。

本テキストは、Archicad の考え方や、モデルの入力、図面の作成やレイアウトといった基本操作を、木造住宅を例に解説をしています。

追加の解説は、オンラインのヘルプセンターやナレッジセンターへの関連記事のリンクも記載しておりますので、合わせてご利用ください。

またご導入後は、年間パスポートを使って、まるでジムに通うように、基本から上級までのオンラインクラスや復習動画をご利用頂けるトレーニング (BIM Classes) やサポートがあります。ユーザー同士のコミュニケーションができるユーザーグループなど、Archicad を設計ツールとしてご利用になる上での様々な環境をご用意しています。

まずは本テキストと解説動画で、BIM の、そして Archicad の第一歩を踏み出してください！

グラフィソフト ウェブページ <https://graphisoft.com/jp/>

YouTube グラフィソフトジャパンチャンネル <https://www.youtube.com/c/GraphisoftJAPAN/>

※解説動画や、「BIM 相談室」という定期番組も公開されています。

体験版以外にもサンプルプロジェクト (RC 住宅、S 造オフィスビル、木造住宅、確認申請サンプルプロジェクト) や、Archicad Magic (入門テキスト) など、体験版でもご利用頂けるコンテンツがありますので、ぜひウェブページをご覧ください。

Archicad 体験版、サンプルプロジェクト 等 各種ダウンロード

<https://graphisoft.com/jp/resources-and-support/downloads>

体験版のバージョンについて

※本テキストは、テキスト作成時の Archicad バージョン [Archicad24] にて作成されています。2021 年 10 月に [Archicad25] がリリースされたため、現在グラフィソフトのウェブサイトで開催されている体験版は Archicad25 となります。そのまま本講習のテンプレート含め、テキストや動画をご利用になれますが、若干一部のメニュー位置などが変更になっていますので、テキスト通りの Archicad24 体験版をご希望の方は、建築士会連合会 BIM ポータルサイトに、Archicad24 体験版取得方法を記載しておりますのでご覧ください。

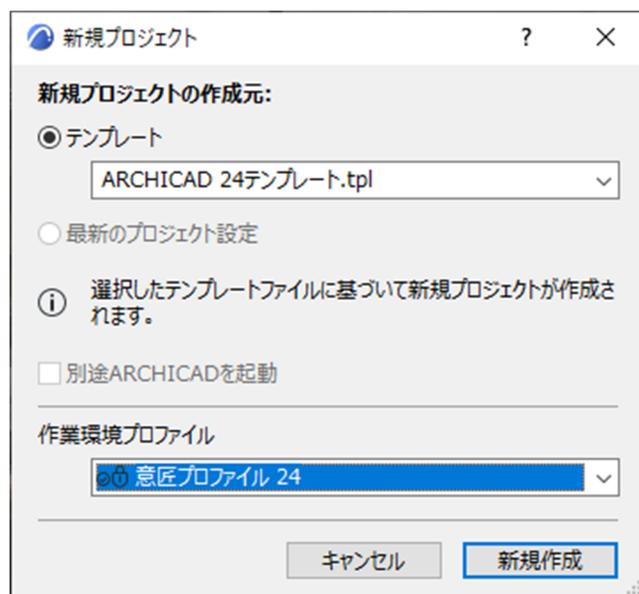
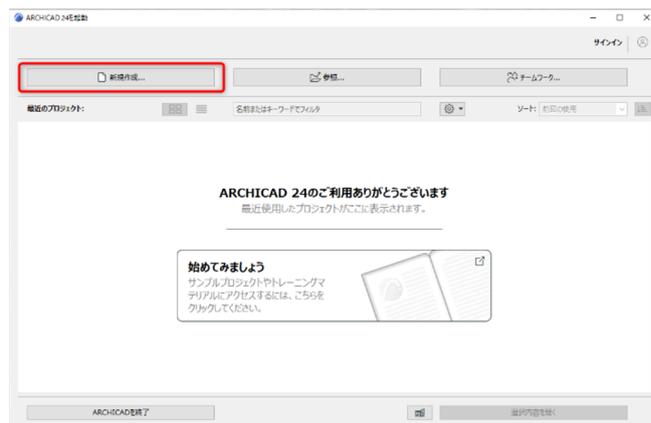
0. 環境設定と基本操作

0.1. Archicad を起動

Archicad24 アイコンをダブルクリックして起動し、「新規作成」を選択します。

テンプレートは「木造住宅_24.tpl」を選択します。

作業環境プロファイルは、デフォルトの「意匠プロファイル 24」を選択します。



TIPS：テンプレートについて

今回はテンプレートを提供していますが、実際にご利用になる際も、みなさんの事務所でよく使われる設定をしておけば、毎回各種の設定を行う回数を減らすことができます。

テンプレートに含めることができるのは、レイヤの設定や、よく使う壁種や塗りつぶしやテクスチャ、また図枠や図面種類のビューなど、毎回設定をしなくてもよい様に登録しておくことができます。いくつでも登録ができますので、設計する建物用途や構造別に用意することもできます。

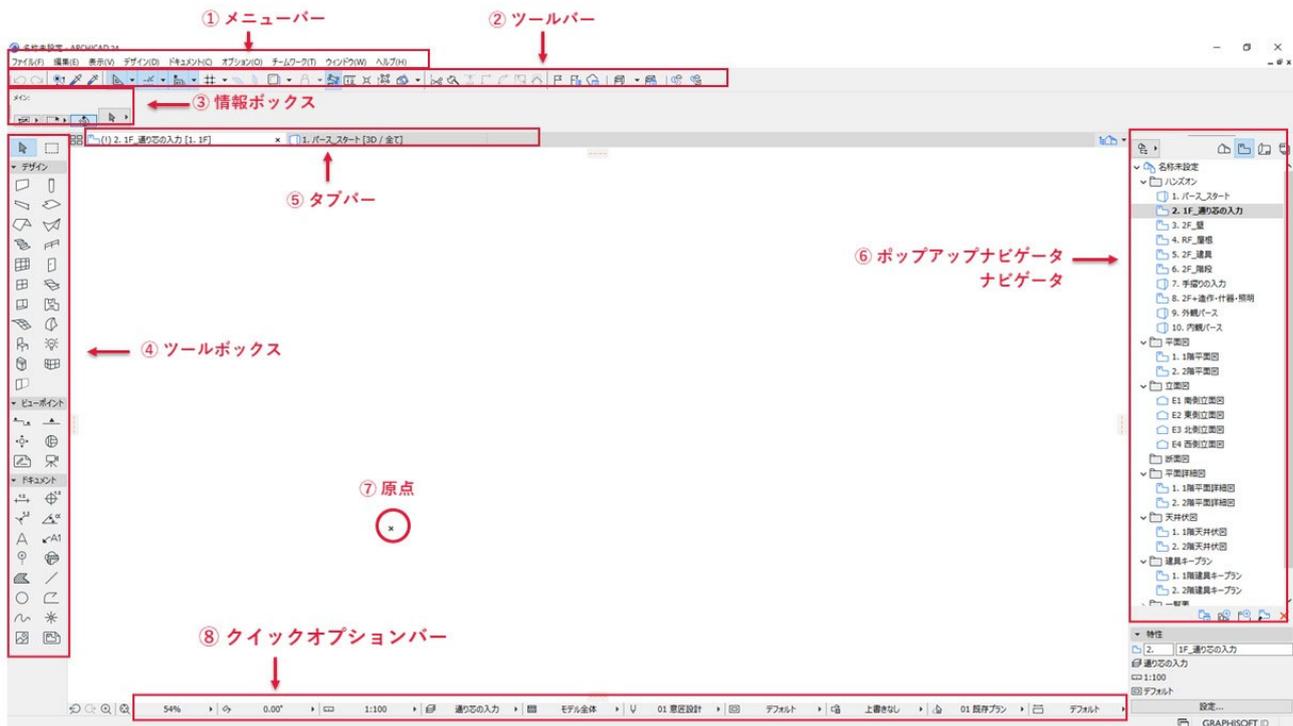
★詳しくは

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

[「テンプレートファイル」](#)

にて詳しく紹介しています。

0.1.1. 画面構成



0.1.2. 基本操作

0.1.3. カーソル形状

拡大・縮小・画面移動・選択・矩形選択 詳細は巻末付録のクイックリファレンス参照)

■ 矢印ツール

- 矢印: ウィンドウの何もない領域
- クイック選択 (磁石): 面を持つ要素 (スラブなど) を選択

■ 要素の入力中 or 編集

- 十字: ウィンドウの何もない領域
- チェック: 任意の要素の節点、ホットスポット
- 三又: 任意の要素の辺、線上点
- 交点: 任意の要素の交点

■ 複数点の定義が必要な要素の入力

- 白抜き鉛筆: 空の領域やホットスポット、辺のない領域
- 芯入り鉛筆: 任意の要素の辺、線上点
- 端白抜き黒塗り鉛筆: 任意の要素の節点、ホットスポット

■ ショートカット

- Esc**: 操作のキャンセル、ツールの解除
- Shift**: マウスの水平・垂直方向又は設定角度で固定する
- F2**: 平面図ウィンドウに切り替え
- F5**: 3Dウィンドウに切り替え

- Ctrl+クリック**: 要素の最も近い2点間を切り取り
- Shift+スクロールボタン**: 3Dウィンドウでの回転

■ アイコン

- Undo / Redo**: 元に戻す / やり直す
- 参照**: 異なるビューを同時に表示する
- スナップガイド**: 必要なときに状況に合った入力支援
- 参照線**: 作図補助線
- 計測**: 距離と面積の計測

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

0.2. グリッドモジュールの設定

木造住宅用にグリッドモジュールを設定します。

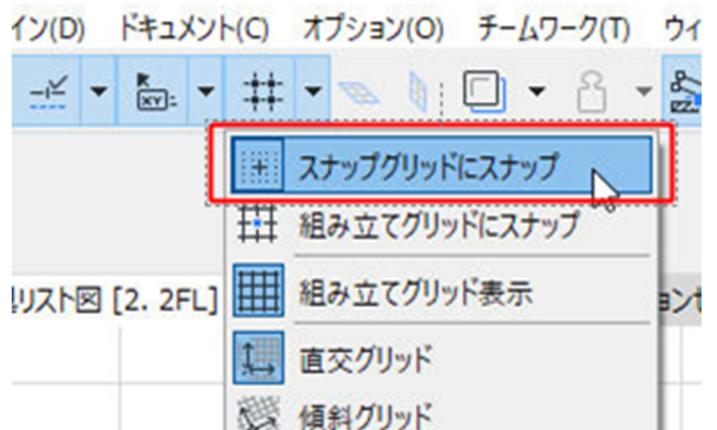
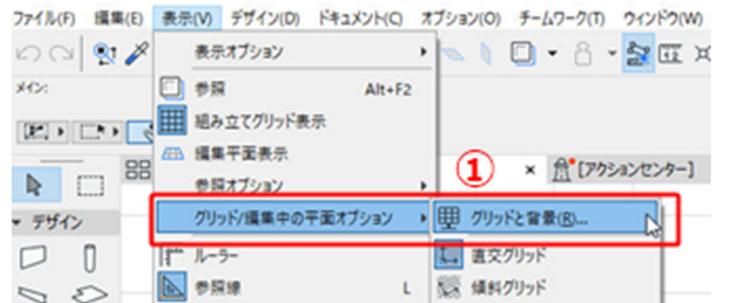
- ① メニューバーの[表示]→[組み立てグリッド表示]を選択します。
- ② メニューバーの[表示]→[グリッド/編集集中の平面オプション]→[グリッドと背景]を選択します。
- ③ 組み立てグリッドの [主グリッド] の間隔を次のように設定します。
 - ・主グリッド
横：「910」 縦：「910」
- ④ 組み立てグリッドの [スナップグリッド] の間隔を次のように設定します。
 - ・スナップグリッド
横：「455」 縦：「455」
- ⑤ [スナップグリッド]を選択します。

※ツールバーの[グリッドスナップ]をオンにし、右側の▼をクリック、「スナップグリッドにスナップ」を選択しても、⑤と同じ設定ができます。

TIPS：グリッドスナップ

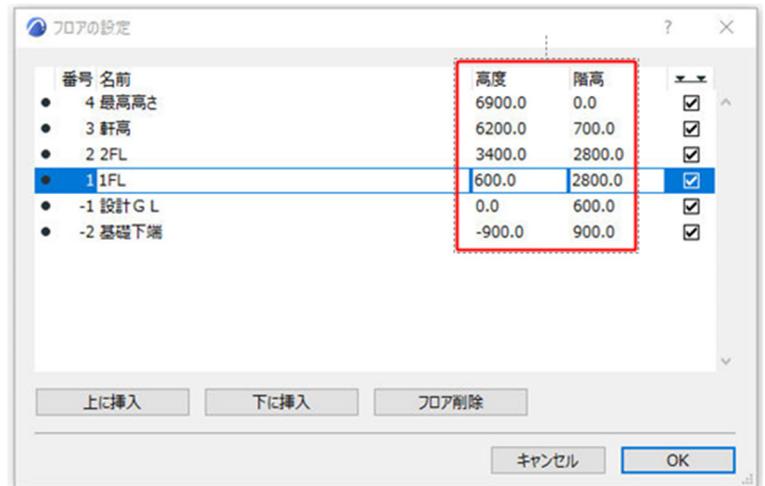
グリッドスナップがオンになっていると、カーソルがグリッドに固定された動きになります。

- ・組み立てグリッドにスナップ
グリッドの交点にスナップします。
今回は「910」間隔でスナップします。
- ・スナップグリッドにスナップ
グリッドの midpoint などにスナップします。
「910」グリッドの半分の「455」間隔でスナップします。



1. フロアの設定

- ① フロアを設定します。壁、柱など要素の高さはこの設定にリンクしています。
- ② メニューバーの [デザイン] - [フロアの設定] を開きます。
- ③ フロアの名前、高度、階高等の確認をします。
- ④ 基礎下端、最高の高さは設計確定後数値を変更します。
- ⑤ OK をクリックします。



※テンプレートでは設定済みです。

	高度	階高
最高の高さ	6900	0
軒高	6200	700
2FL	3400	2800
1FL	600	2800
設計 GL	0	600
基礎下端	-900	900

★詳しくは

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

[「\[フロアの設定\]ダイアログボックス」](#)

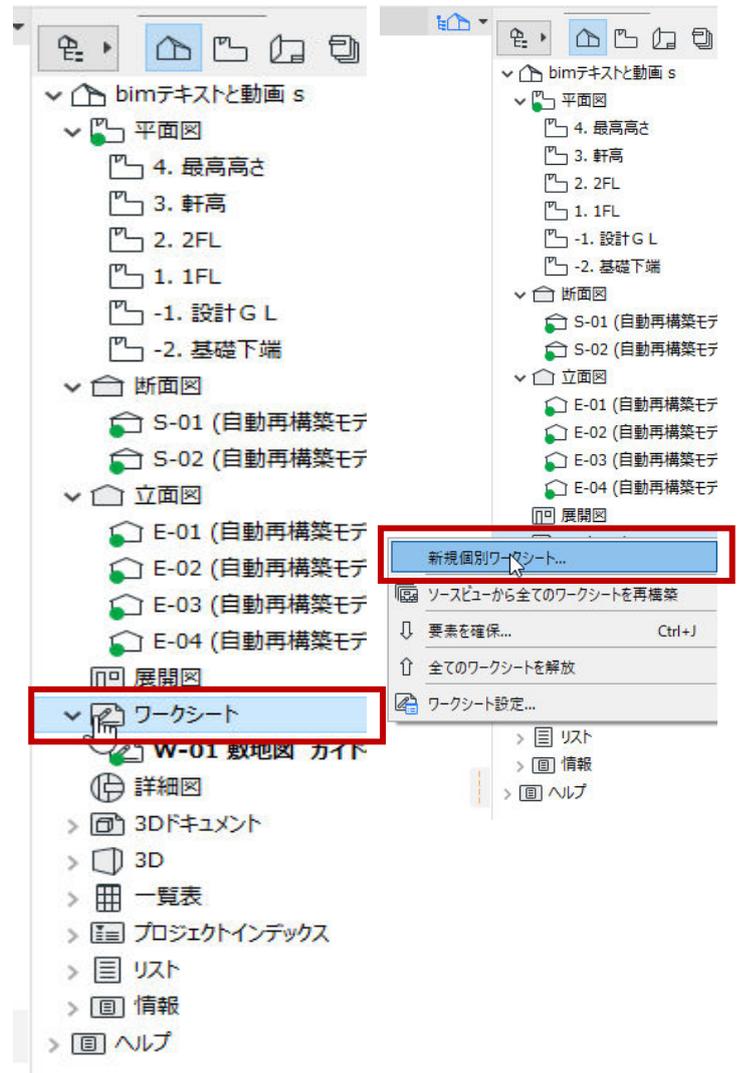
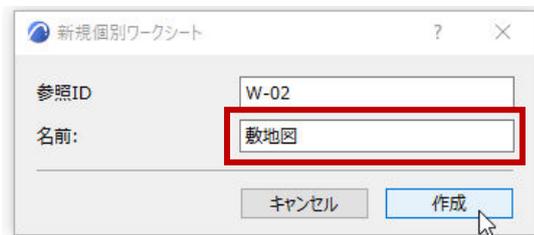
にて詳しく紹介しています。

2. 敷地の情報と道路（周辺情報）

2.1. 敷地図（DXF）の読み込み

2.1.1. 新規ワークシートを設定

- ① [プロジェクト一覧] - [ワークシート] をマウスの右クリックし、新規作成を選択します。
- ② 名前に「敷地図」と入力し、作成をクリックします。
新しいワークシートが作成出来ました。



TIPS：ワークシートとは

ワークシートは Archicad 内の 2DCAD 部分と行ってもいいかもしれません。

外部の 2DCAD のデータ（DXF や JWW など）を読み込んで参照図面としたり、Archicad の 3D モデルと連動している図面の一部または全部を、2D データに落として、線 1 本ずつの編集を行うなど様々な活用方法があります。

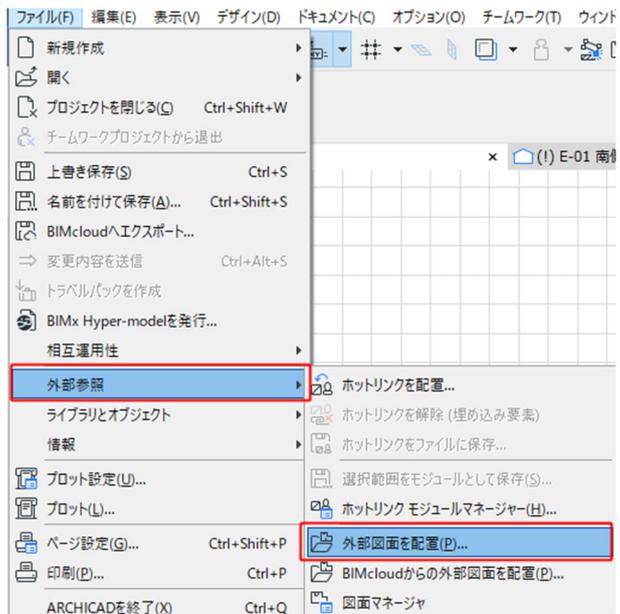
★詳しくは

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

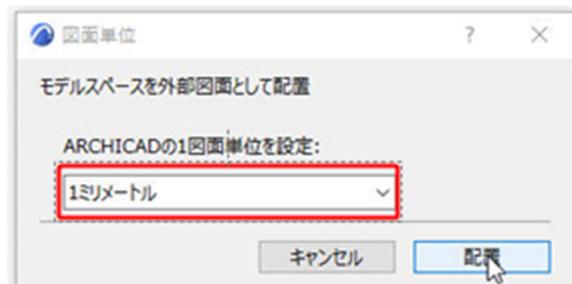
[「ワークシートについて」](#)にて詳しく紹介しています。

2.1.2. 敷地 DXF ファイルの読み込み

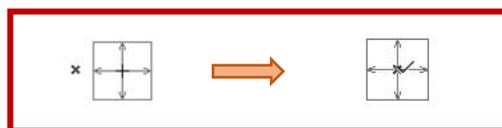
- ① [ファイル] - [外部参照] - [外部図面を配置] をクリックします。
- ② 「図面を配置」ダイアログで、配布ファイルにある「site.dxf」を選択して「開く」をクリックします。



- ③ 図面単位の表示を 1 ミリメートルに設定します。レイヤは「★敷地 線」とします。

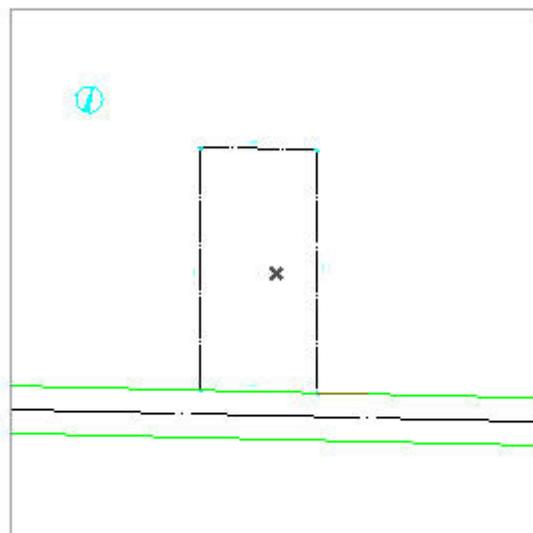


- ④ ワークシート（敷地図）の原点×位置でクリックし、配置します。



※配置した図面が PDF であったり、グループ化されている場合は、[編集] - [変形] - [分解] 機能で分解することも可能です。

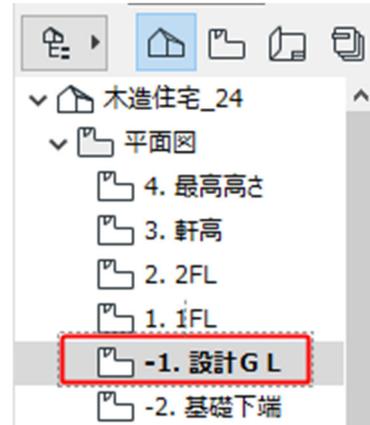
★詳しくは
[「GRAFHISOFT ナレッジセンター」](#)
[「外部図面を配置した後、2D 要素として編集できるようにしたい」](#)にてより詳しく紹介しています



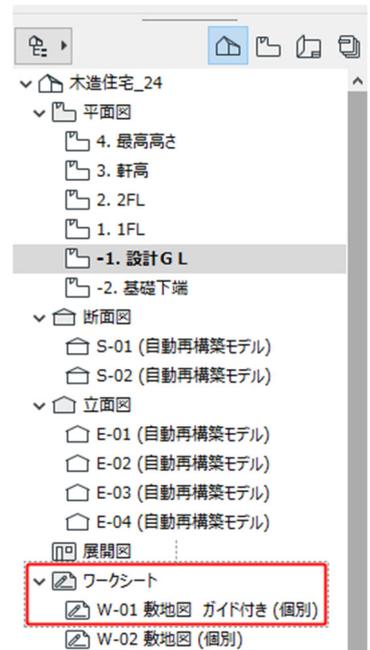
2.2. 敷地境界線の作成

2.2.1. 2D敷地データの作成

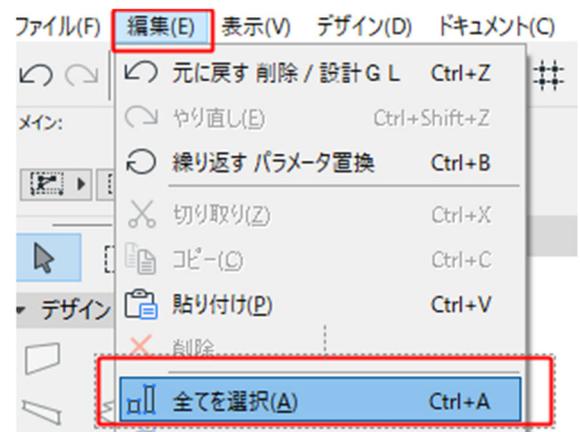
- ① [プロジェクト一覧] - 「-1. 設計 GL」をダブルクリックします。



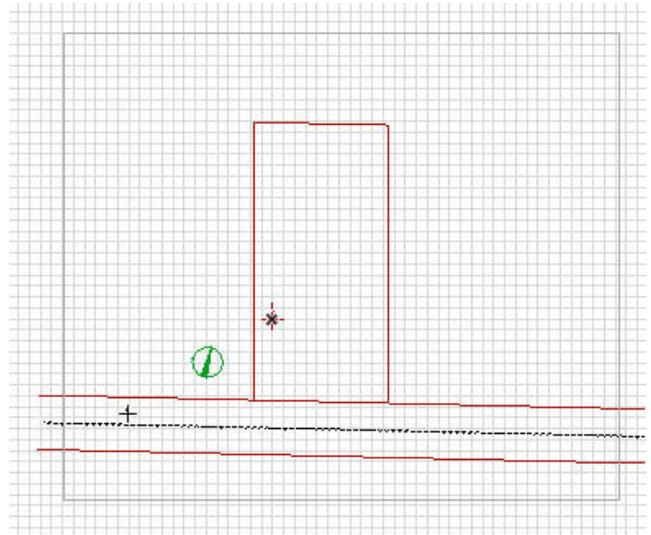
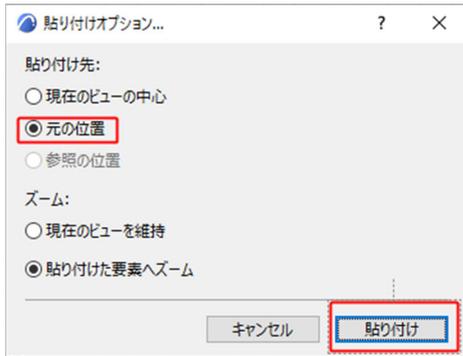
- ② 今回は敷地図と平面配置ガイドをあらかじめワークシート[w-01 敷地図 ガイド付き]に用意しています。「w-01 敷地図 ガイド付き」をクリックして開けます。



- ③ [編集] - [全てを選択] を選び、ワークシートの図形を全て選択し、[編集] - [コピー] または CTRL+C を押してコピーします。

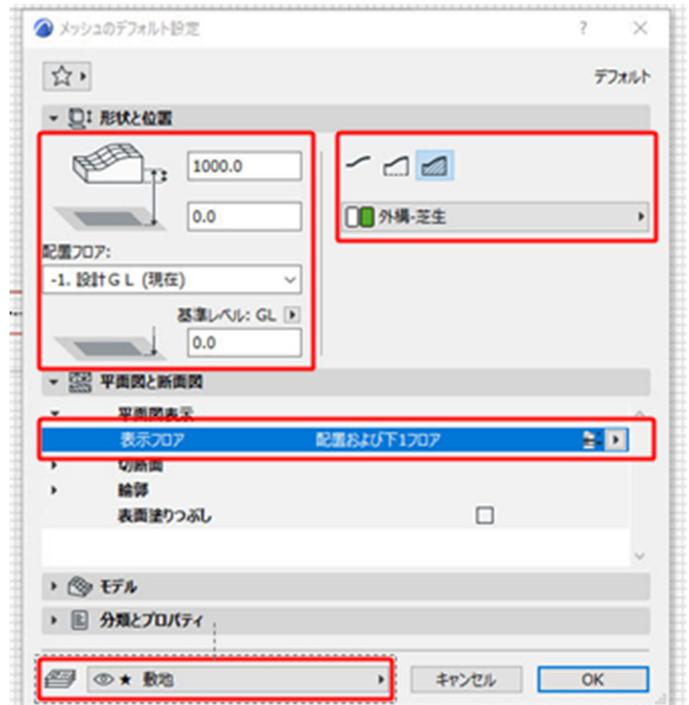


- ④ 「プロジェクト一覧」－「設計 GL」をダブルクリックします。
- ⑤ [編集]－[貼り付け]または CTRL+V を押して、敷地 2D データを「元の位置」に貼り付けます。

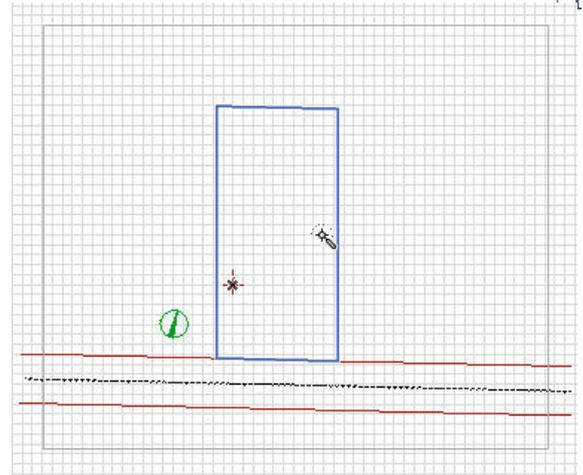


2.3. 敷地 地形面（メッシュ）の作成

- ① ツールボックスのメッシュコマンドをダブルクリックし、設定ダイアログを表示します。
- ② 設定を入力します。
 - ・レイヤ 「★敷地」
 - ・組み立て方 ソリッド
 - ・ビルディングマテリアル 「外構・芝生」
 - ・配置フロア 「-1.設計 G L」
 - ・配置フロアまでオフセット「0」
 - ・メッシュ高さ 「1000」
 - ・表示フロア 「配置+上 1 フロア」



- ③ マジックワンドを選択します。[デザイン] – [マジックワンドでポリゴンを作成] をクリックします。
スペースキーを押している間は同様にマジックワンド機能が利用できません。
- ④ 敷地にマジックワンドを近づけ、選択されたことを確認したら、クリックします。敷地が入力されました。



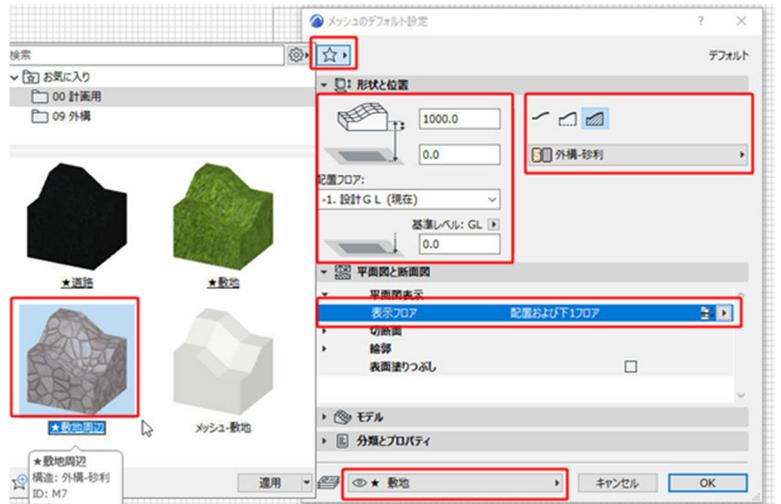
TIPS: マジックワンド

この機能を利用すると、自動的にクリックした輪郭をトレースし、図形を作成することができます。

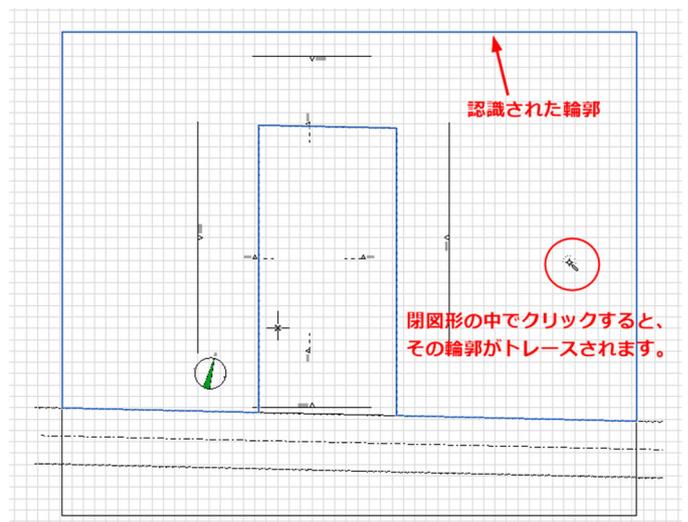
★詳しくは

「[GRAPHISOFT Help Center](#)」
「[マジックワンド](#)」にて詳しく紹介しています。

- ⑤ 敷地周辺の土地を入力します。
メッシュの設定ダイアログを表示します。左上の☆印をクリックして「お気に入り」を表示し、★敷地周辺をクリックします。



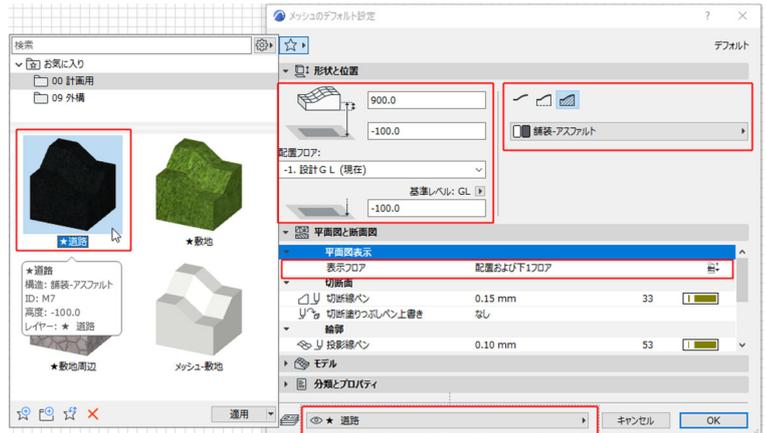
- ⑥ ③と同様にマジックワンドを選択し、敷地の周辺をクリックして入力します。閉図形（一方向のみ開いている場合も可能）の場合は、図形の内側でクリックすることもできます。



2.4. 道路（メッシュ）の作成

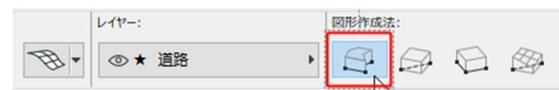
① 道路を入力します。

メッシュの設定ダイアログを表示します。左上の☆印をクリックして「お気に入り」を表示し、★道路をクリックします。



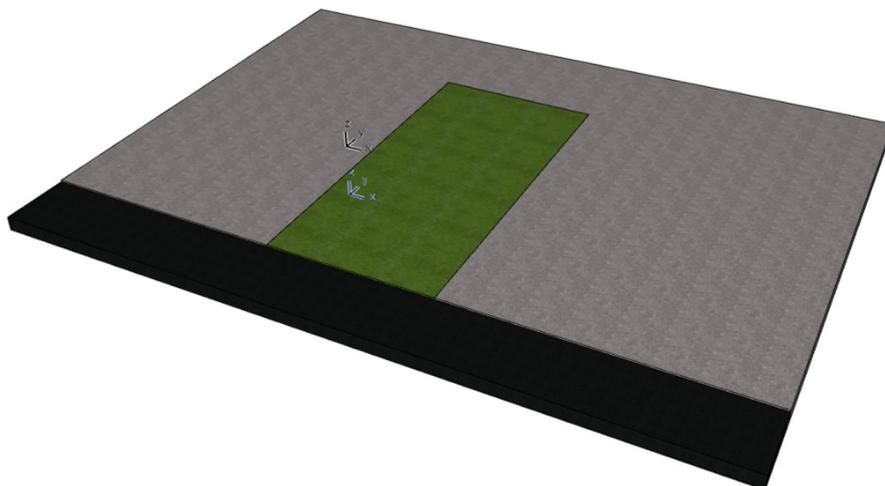
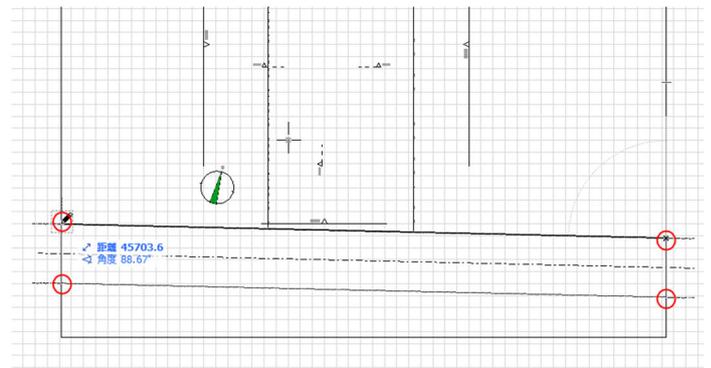
② 設定を確認します。

- ・レイヤ 「★ 道路」
- ・組み立て方 「ソリッド」
- ・ビルディングマテリアル 「アスファルト舗装」
- ・配置フロア 「-1.設計G L」
- ・配置フロアまでオフセット 「-100」
- ・メッシュ高さ 「900」
- ・表示フロア 「配置+下1フロア」



③ 情報ボックスの [図形作成法] で

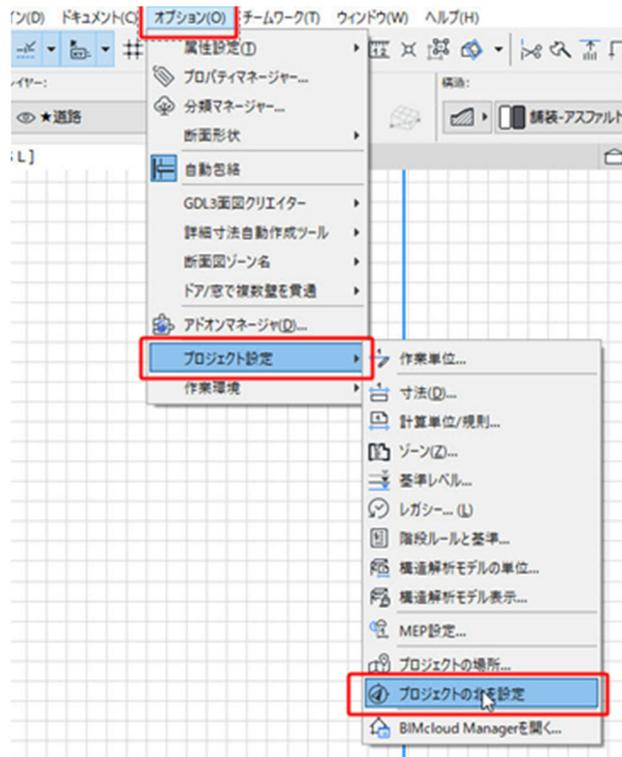
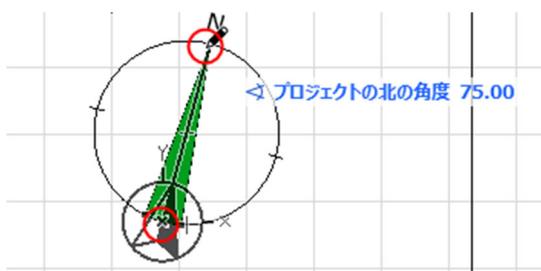
「ポリゴン」を選択し、右図の○部分にカーソルを合わせ、鉛筆のアイコンに変わったらクリックし、最後の点でダブルクリックします。道路が入力されました。



2.5. プロジェクトの位置（緯度経度）と真北の設定

2.5.1. 真北の設定

- ① 真北を設定します。
- ② [オプション] - [プロジェクト設定] - [プロジェクトの北を設定]をクリックします。
- ③ 方位マークが表示されます。
 方向を示す線分を使って、真北を南側、北側の2点指定で指示します。

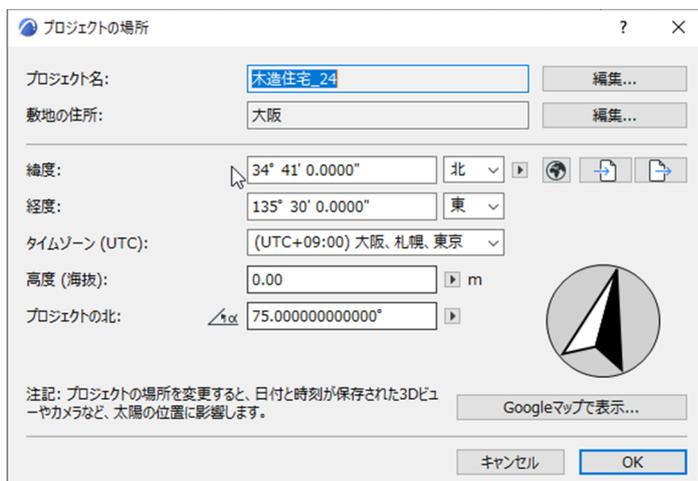
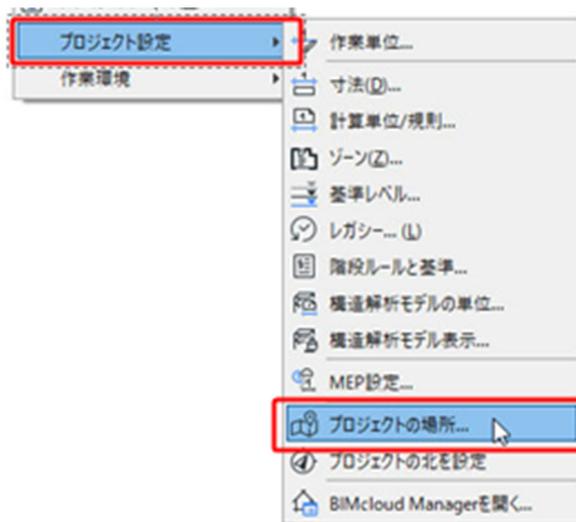


2.5.2. プロジェクトの位置情報

- ① プロジェクトの情報を記入します。オプション] - [プロジェクト設定] - [プロジェクトの場所]をクリックします。
- ② 位置情報を設定します。
 - ・プロジェクト名 「木造住宅_24」
 - ・敷地の住所 「大阪」
 - ・緯度 経度など記入します。

プロジェクトの位置と方位は、日影や断熱性能などの基準となります。

Google マップや Google Earth から敷地の位置を取り込むこともできます。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3. 建物の入力

3.1. 通り芯の配置

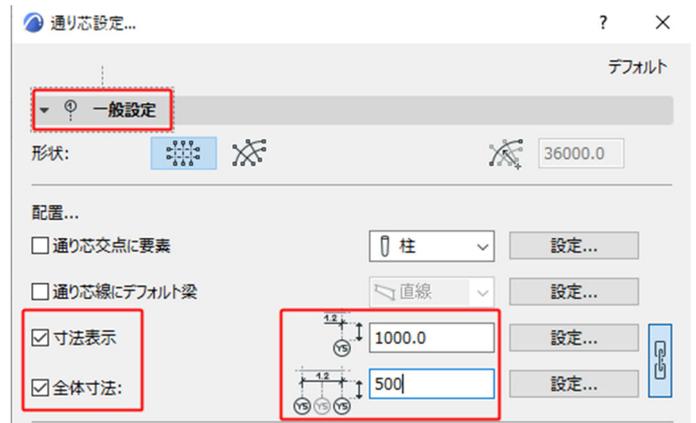
「プロジェクト一覧」の「1.1FL」を開きます。

- ① メニューバーの[デザイン]→[通り芯設定]を開きます。



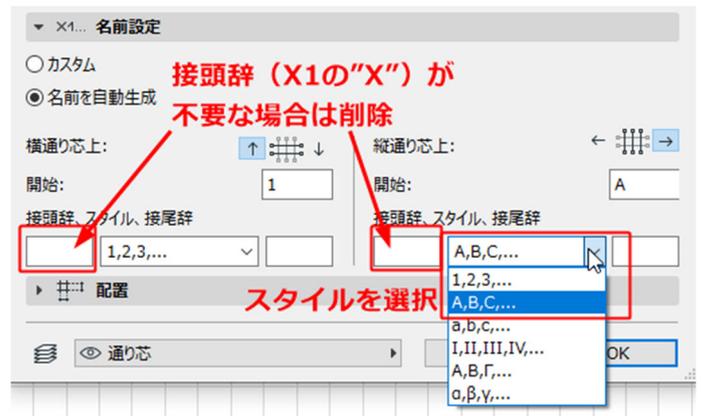
- ② [一般設定]パネルを次のように設定します。

- ・寸法表示にチェックします。
通り芯マークからのオフセット
「1000」
- ・全体寸法にチェックします。
通り芯マークからのオフセット
「500」



- ③ 設定ダイアログの [名前設定] で通り芯番号を設定します。

今回は、縦軸を「A,B,C」
横軸を「1,2,3」 とします。



- ④ [配置]パネルで、スパンを設定します。
 通り芯のナンバーを選択し[+]ボタンをクリックし、通り芯を追加します。
 この時、選択している値がそのままコピーされるので、必要なスパン分を [+] を押してコピーしてください。



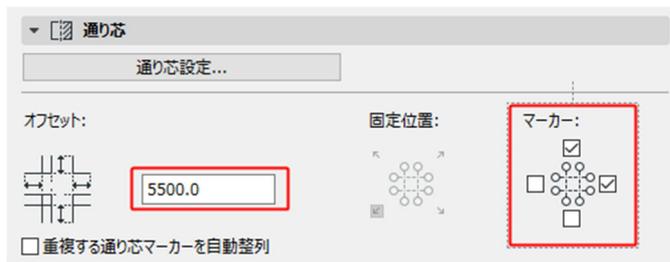
- ・横軸の距離を入力します。

- ・ 1 「0」
- ・ 2 「910」
- ↓
- ・ 17 「910」

- ・縦軸の距離を入力します。

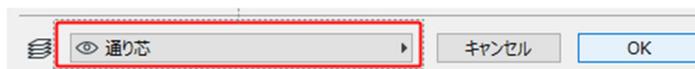
- ・ A 「0」
- ・ B 「910」
- ↓
- ・ G 「910」

- ⑤ 通り芯マークのオフセット設定
 建物からのオフセット 「5500」

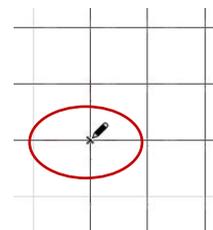


- ⑥ 固定位置の設定
 表示させる箇所にチェックをいれます。

- ⑦ レイヤ設定
 「通り芯」とします。



- ⑧ 通り芯を配置します。
 設定ダイアログの「OK」をクリックすると、カーソルの位置に通り芯が表示されますので、通り芯データの起点を決定します。
 今回は、「原点」を起点とします。
 カーソルを原点に合わせて、黒い鉛筆カーソルになったところで、ダブルクリックします。

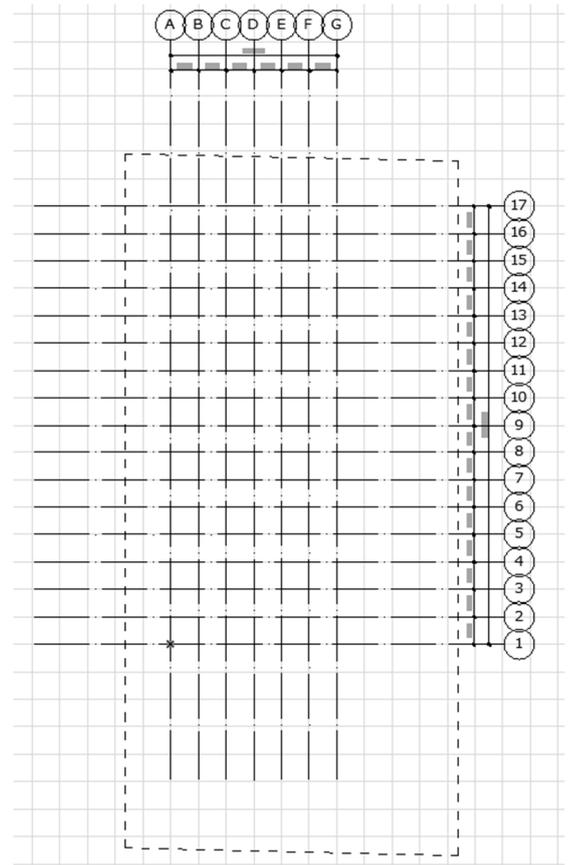
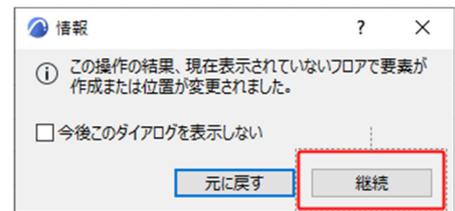


「情報」ダイアログボックスが表示されるので、
[継続]をクリックすると、平面図に通り芯が配置され
ます。※通り芯が生成される際に、現在の作業
フロア以外にも、生成されるため、このメッセー
ジが表示されます。

★詳しくは

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

[「通り芯の設定」](#)にて詳しく
紹介しています。

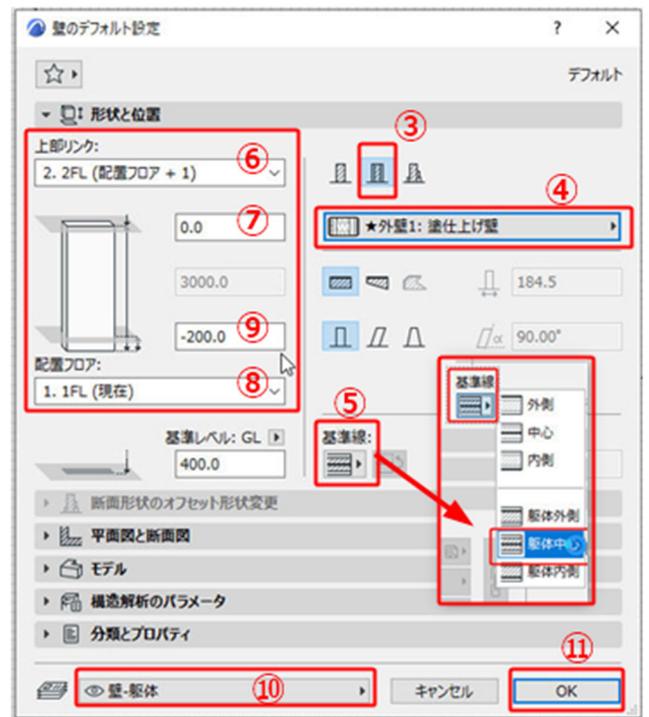


3.2. 壁の入力

3.2.1. 1階外壁の入力

◇外壁・塗り壁を入力します。

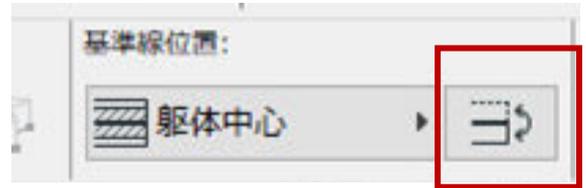
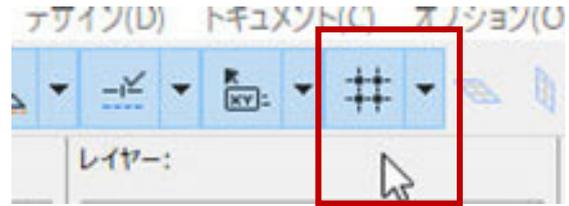
- ① 「ビュー一覧」より「平面図」—「1.1階平面図」を選択します。
- ② ツールボックスの壁ツールをダブルクリックして設定ダイアログボックスを表示します。各設定を入力します。
- ③ 壁の種類を「複合構造」にします。
- ④ 複合構造より「★外壁 1: 塗仕上げ壁」を選択します。
- ⑤ 壁の基準線を「躯体中心」にします。
- ⑥ 上部リンク 「2.2FL」
- ⑦ 上部リンク高さからのオフセット 「0」
- ⑧ 配置フロア 「1.1FL」
- ⑨ 配置フロアからのオフセット 「-200」
- ⑩ レイヤ 「壁-躯体」
- ⑪ 「OK」をクリックします。



- ⑫ 情報ボックスの「図形作成法」を選択します。アイコンを左クリック長押しすると変更できます。外壁は「矩形」を選択します。

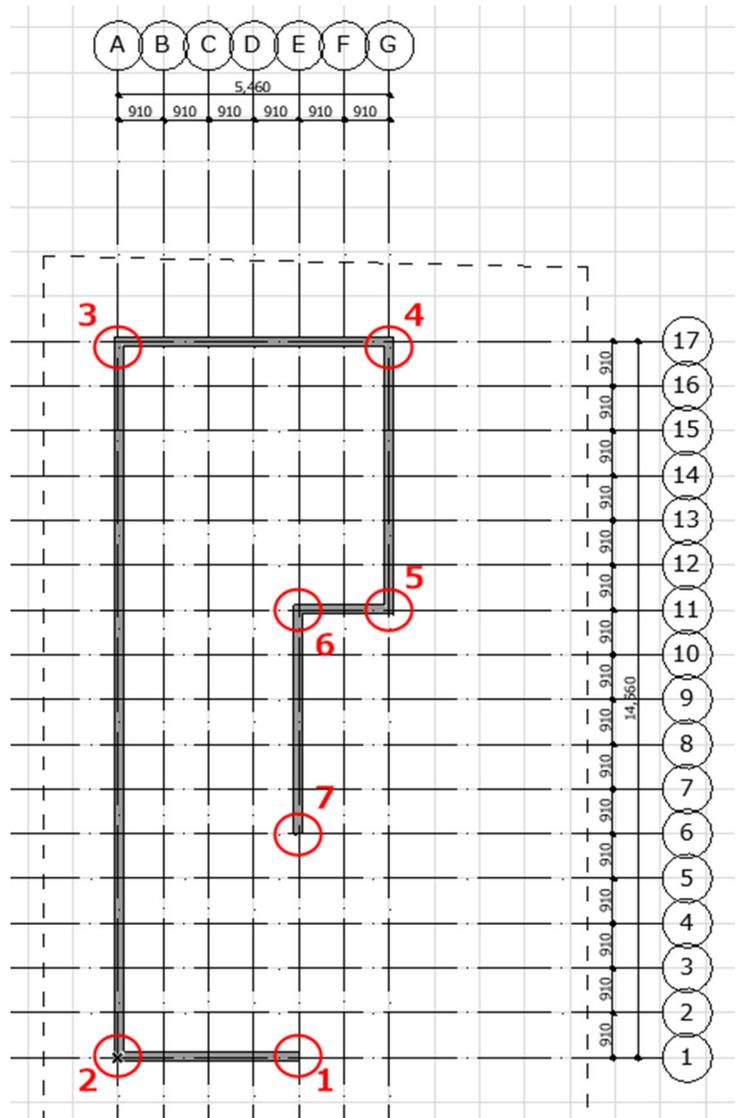


- ⑬ ツールバーのグリッドスナップをONにします。
- ⑭ 外壁の交点をクリックして、外壁を入力します。図参照
- ⑮ 壁には、外壁側と内壁側があります。壁が反転になったときは壁を選択して、情報ボックスの反転のアイコンをクリックしてください。
- ⑯ 最終端ではダブルクリックをします。



※今回使用する壁は、全て「お気に入り」に設定しています。お気に入りからの設定の選択も可能です。

※ツールボックスの「壁ツール」の右側「▶」をクリックすると直接「お気に入り」が表示されます。

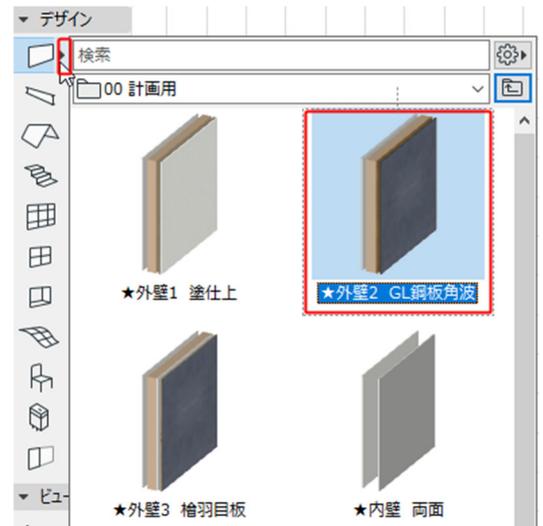


★詳しくは
[「GRAPHISOFT Help Center」](#)
[「壁ツールの設定」](#)にて詳しく紹介しています。

◇外壁 GL 鋼板波板の入力

- ① ツールボックスの「壁ツール」をダブルクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。

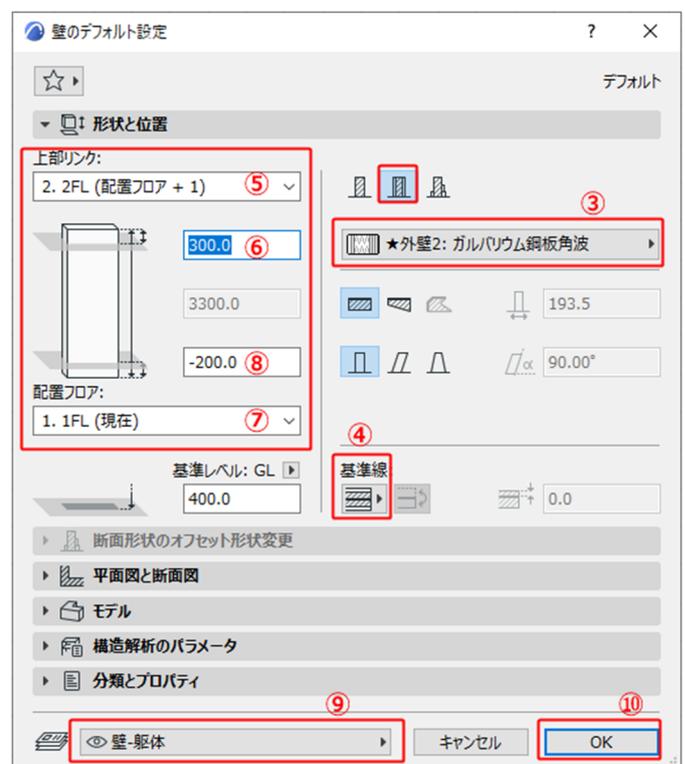
左上の☆マークをクリックして「お気に入り」－「★外壁 2 GL 鋼板角波」を選択します。



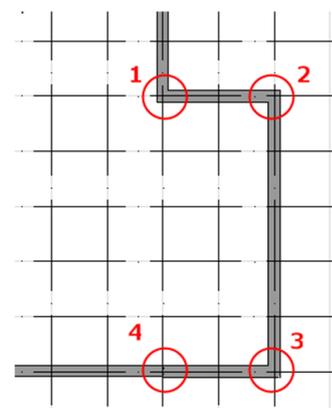
TIPS：お気に入り

お気に入りはツールボックスの各ツールの横にある▶マークを押すとそのツールのお気に入りが表示されます。

- ② ツールボックスの壁ツールをダブルクリックして設定ダイアログボックスを表示します。各設定を確認します。
- ③ 複合構造より「★外壁 2: ガルバリウム鋼板角波」を選択します。
- ④ 壁の基準線を「躯体中心」にします。
- ⑤ 上部リンク 「2.2FL」
- ⑥ 上部リンク高さからのオフセット「300」
(バルコニーの立ち上がり壁)
- ⑦ 配置フロア 「1.1FL」
- ⑧ 配置フロアからのオフセット「-200」
- ⑨ レイヤ 「壁-躯体」
- ⑩ 「OK」をクリックします。



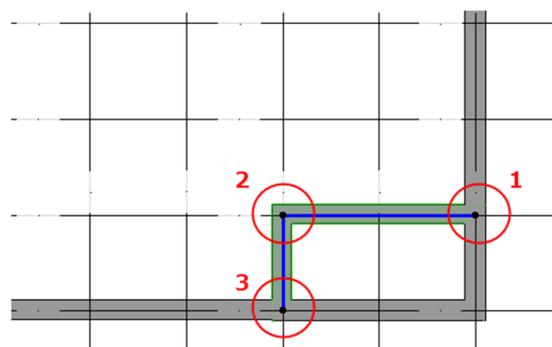
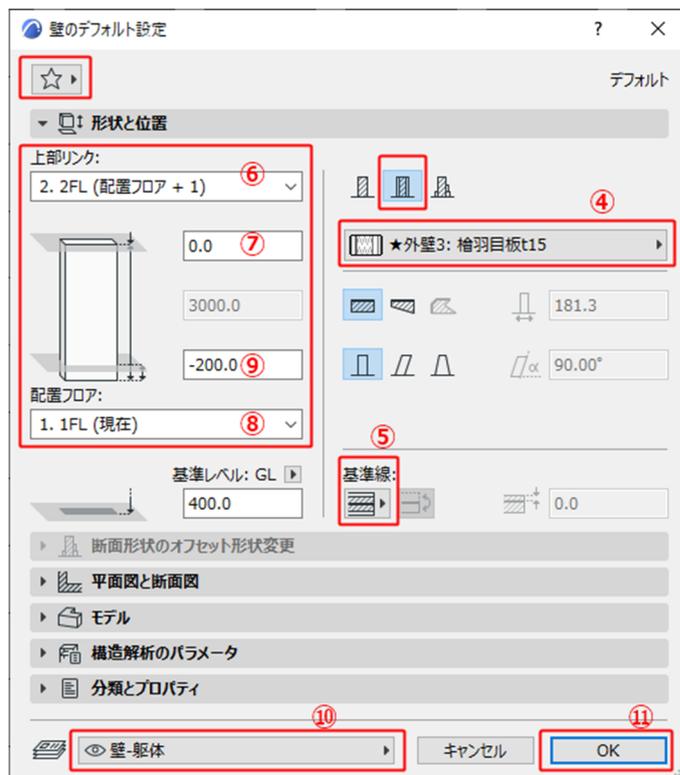
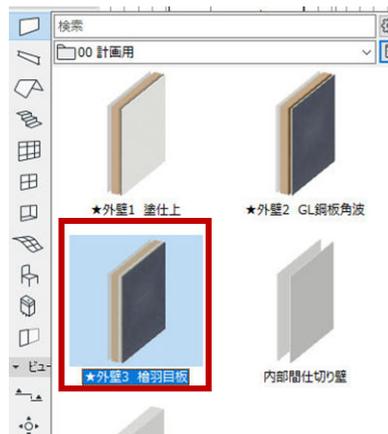
- ⑪ ツールバーのグリッドスナップをONにします。
- ⑫ 外壁の交点をクリックして、外壁を入力します。☒参照
- ⑬ 壁には、外壁側と内壁側があります。壁が反転になったときは壁を選択して、情報ボックスの反転のアイコンをクリックしてください。
- ⑭ 最終端ではダブルクリックをします。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

◇外壁 檜羽目板の入力

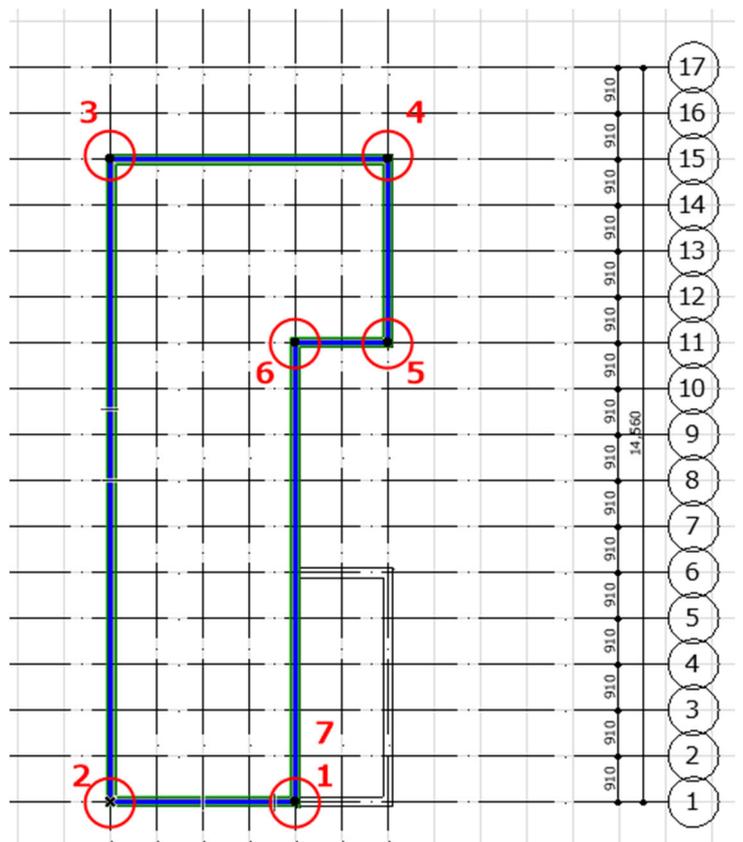
- ① ツールボックスの「壁ツール」をダブルクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。
- ② 左上の☆マークをクリックして「お気に入り」－「★外壁 3 檜羽目板」を選択します。
- ③ 設定ダイアログボックスの各設定を確認します。
- ④ 複合構造より「★外壁 3: 檜羽目板」を選択します。
- ⑤ 壁の基準線を「躯体中心」にします。
- ⑥ 上部リンク 「2.2FL」
- ⑦ 上部リンク高さからのオフセット 「0」
- ⑧ 配置フロア 「1.1FL」
- ⑨ 配置フロアからのオフセット 「-200」
- ⑩ レイヤ 「壁-躯体」
- ⑪ 「OK」をクリックします。
- ⑫ ツールバーのグリッドスナップをONにします。
- ⑬ 外壁の交点をクリックして、外壁を入力します。☒参照
- ⑭ 壁には、外壁側と内壁側があります。壁が反転になったときは壁を選択して、情報ボックスの反転のアイコンをクリックしてください。
- ⑮ 最終端ではダブルクリックをします。



3.2.2. 2階外壁の入力

◇外壁・塗り壁を入力します。

- ① 「ビュー一覧」より
「平面図」－「2.2階平面図」を選択します。(4.2.1 参照)
- ② ツールボックスの「壁ツール」をダブルクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。
- ③ 左上の☆マークをクリックして「お気に入り」－「★外壁 1: 塗り壁」を選択します。(4.2.1 参照)
- ④ 複合構造より「★外壁 1: 塗仕上げ壁」を選択します。
- ⑤ 壁の基準線を「躯体中心」にします。
- ⑥ 上部リンク 「4.最高高さ」
- ⑦ 上部リンク高さからのオフセット
「0」
- ⑧ 配置フロア 「2.2FL」
- ⑨ 配置フロアからのオフセット
「0」
- ⑩ レイヤ 「壁-躯体」
- ⑪ 「OK」をクリックします。
- ⑫ 情報ボックスの「図形作成法」を選択します。アイコンを左クリック長押しすると変更できます。
- ⑬ ツールバーのグリッドスナップをONにします。
- ⑭ 外壁の交点をクリックして、外壁を入力します。右図参照
- ⑮ 最初のポイントに戻り、ダブルクリックをします。

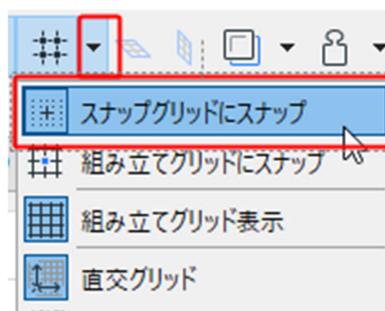
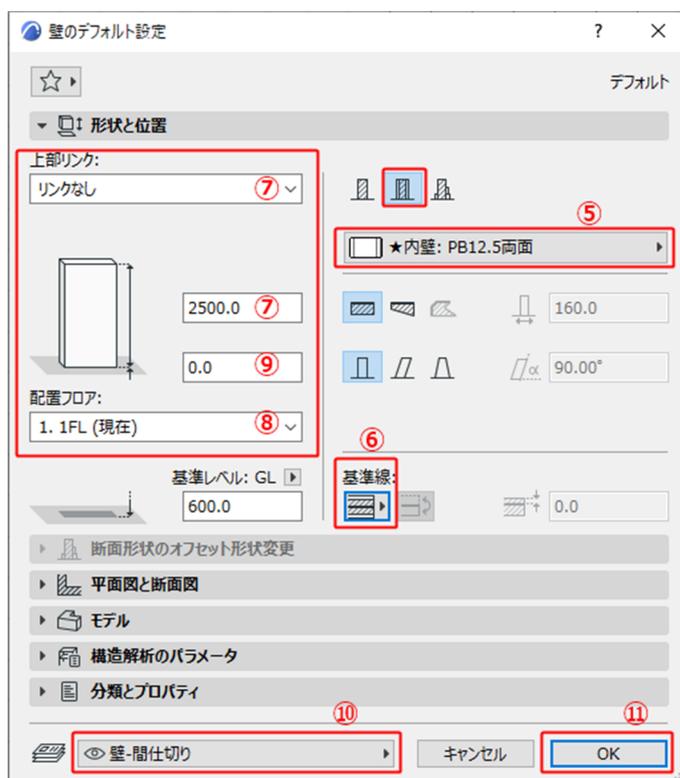
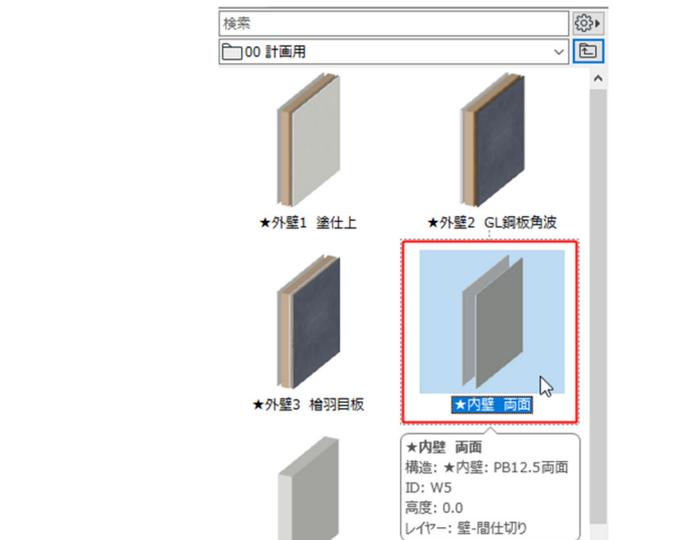


3.2.3. 1階内壁の入力

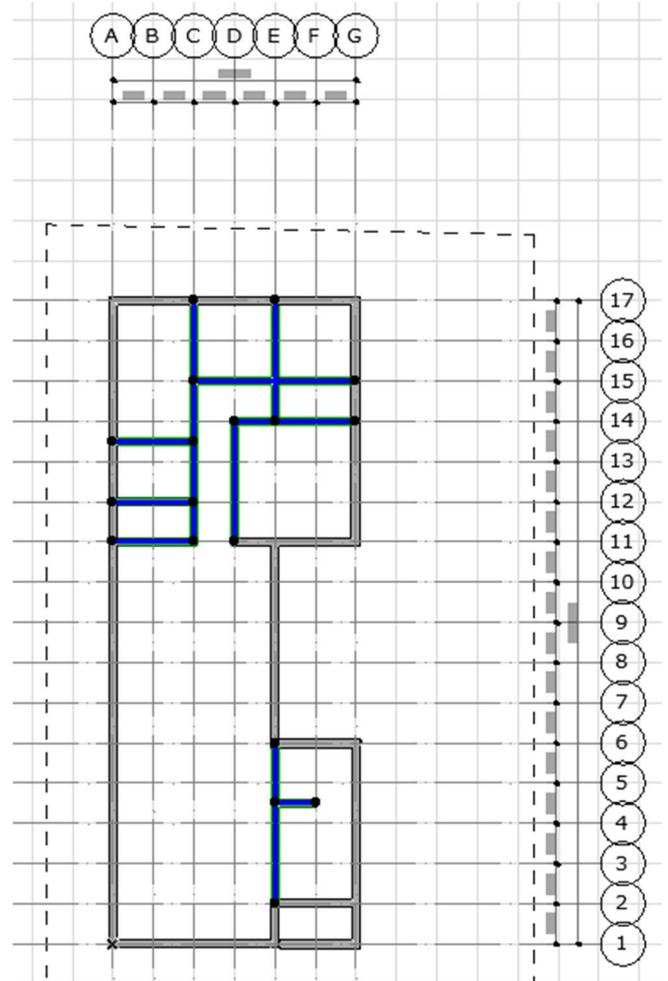
- ① 「ビュー一覧」より
「平面図」－「1.1階平面図」を選択します。(4.2.1 参照)
- ② ツールボックスの「壁ツール」をダブルクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。
- ③ 左上の☆マークをクリックして「お気に入り」－「★内壁 両面」を選択します。(4.2.1 参照)
- ④ 設定ダイアログボックスで、各設定を確認します。
- ⑤ 複合構造より「★内壁: P B 12.5 両面」を選択します。
- ⑥ 壁の基準線を「躯体中心」にします。
- ⑦ 上部リンク 「リンクなし」
壁高さ「2500」
- ⑧ 配置フロア 「1.1 F L」
- ⑨ 配置フロアからのオフセット 「0」
- ⑩ レイヤ 「壁-間仕切り」
- ⑪ 「OK」をクリックします。
- ⑫ 情報ボックスの「図形作成法」を選択します。アイコンを左クリック長押しすると変更できます。
- ⑬ 図形作成法は「単一」を選択します



- ⑭ グリッドスナップが、「スナップグリッド」(455のポイントをとる)になっているか確認します。
グリッドスナップ ON/OFFのアイコンの右側の▶を押して設定を確認します。



- ⑮ 右図を参照して、内壁の交点をクリックして、内壁を入力します。



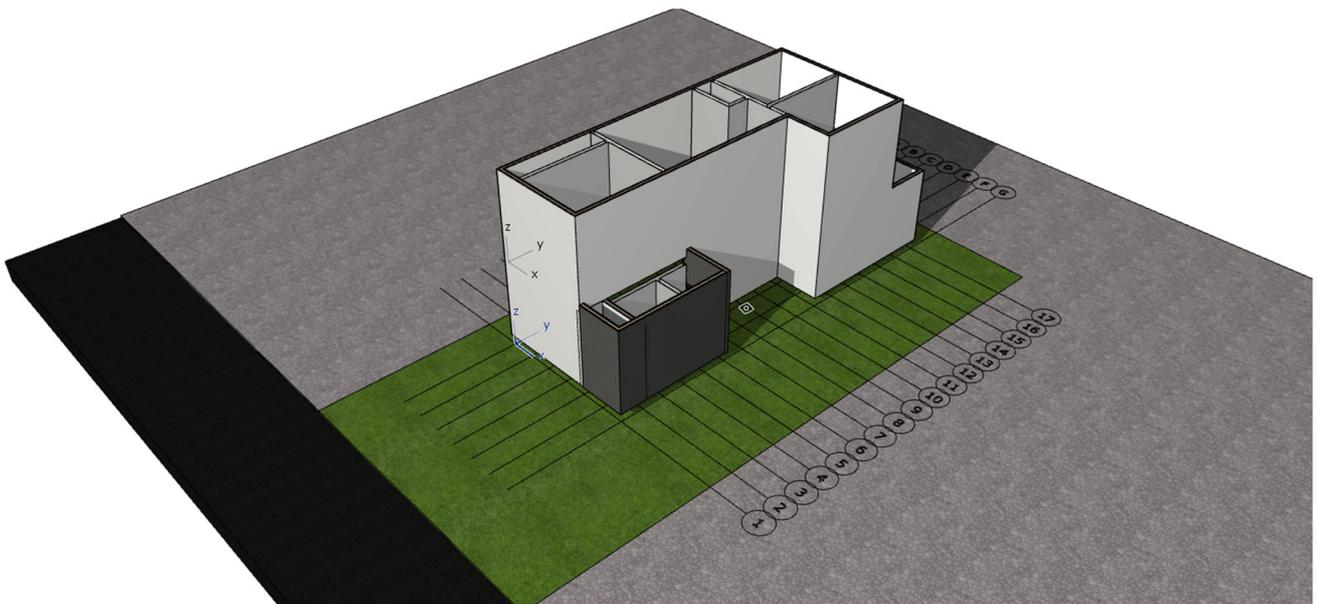
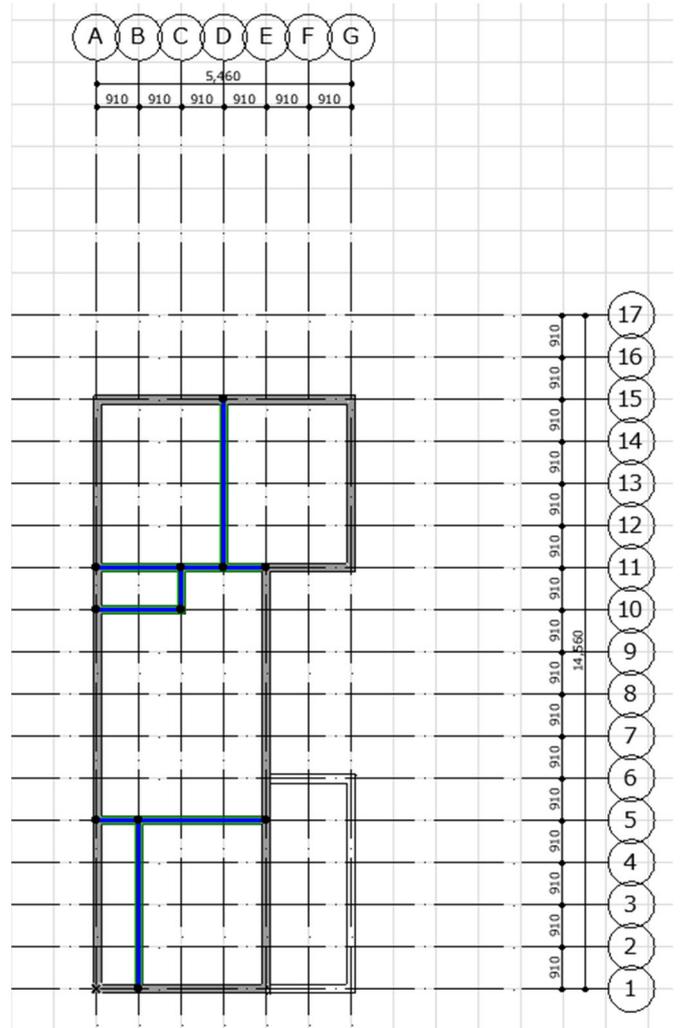
3.2.4. 2階内壁の入力

- ① 「ビュー一覧」より「平面図」－「2.2階平面図」を選択します。(4.2.1 参照) ツールボックスの「壁ツール」をダブルクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。
- ② 左上の☆マークをクリックして「お気に入り」－「★内壁 両面」を選択します。(4.2.1 参照)
- ③ 設定ダイアログボックスの各設定を確認します。
- ④ 複合構造より「★内壁: P B 12.5 両面」を選択します。
- ⑤ 壁の基準線を「躯体中心」にします。
- ⑥ 上部リンク 「4.最高高さ」
- ⑦ 上部リンク高さからのオフセット「0」



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

- ⑧ 配置フロア 「2.2F L」
- ⑨ 配置フロアからのオフセット「0」
- ⑩ レイヤ 「壁-間仕切り」
- ⑪ 「OK」をクリックします。
グリッドや壁の図形作成法は1Fと同じ設定でそのまま入力できます。
- ⑫ 内壁の交点をクリックして、内壁を入力します。図参照
- ⑬ 壁には、外壁側と内壁側があります。壁が反転になったときは壁を選択して、情報ボックスの反転のアイコンをクリックしてください。
- ⑭ 最終端ではダブルクリックをします。
※2階の壁の上部は、屋根を入力後に屋根にあわせてトリミング（屋根で切り取り）をします。



3.3. 床の入力

3.3.1. 1階の床の入力

◇1階フローリングを入力します。

- ① [ビューー覧]より「平面図」－「1.1階平面図」を選択します。
- ② ツールボックスの[スラブツール]の右横の「▶」をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★1階フローリング」をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[床ツール]をダブルクリックして、設定ダイアログを表示し、各種設定を確認します。
- ⑤ 複合構造より「床1階：フローリング+合板+断熱材」
- ⑥ 基準面の位置を「上端」
- ⑦ 配置フロアまでのオフセット「0」
- ⑧ 配置フロア 「1.1FL」
- ⑨ レイヤ 「床」
- ⑩ 「OK」をクリックします。
- ⑪ 情報ボックスの「図形作成法」のポリゴンを選択します。

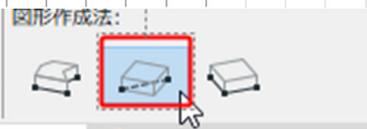
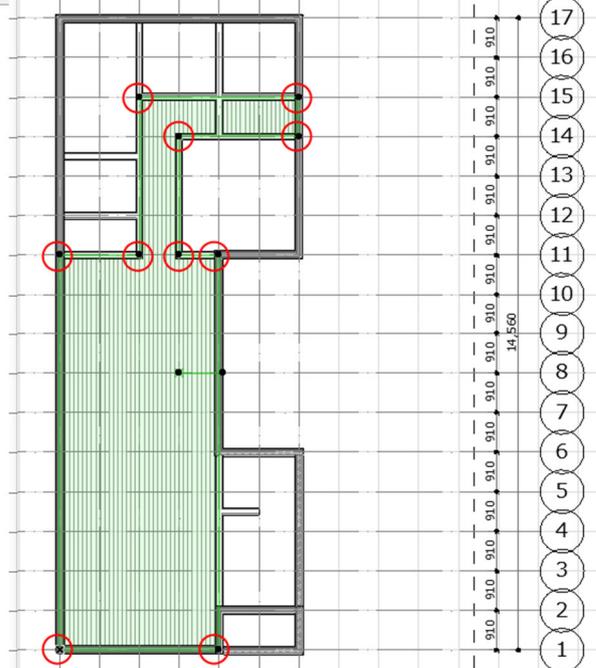
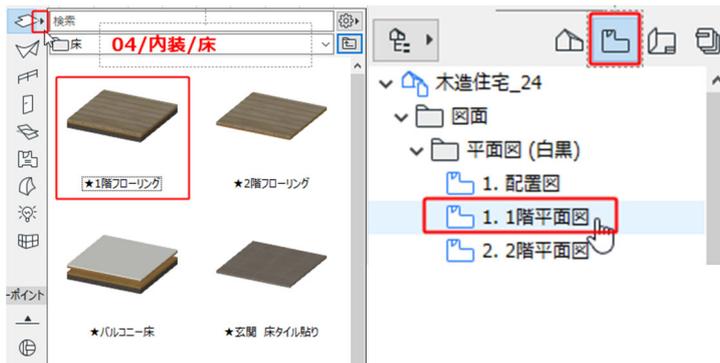


- ⑫ グリッドスナップを有効にした状態で、右図の○印の位置でクリックして入力します。どこからスタートしてもよいですが、最初のポイントに戻ったところで、クリックしてください。

- ⑬ 他の部屋も下記のお気に入りを選ん

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写

ます



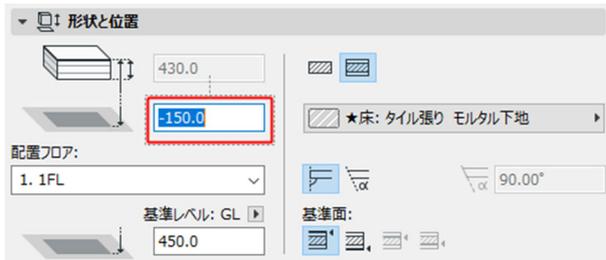
グラフィソフト Archicad24

で、入力してください。

矩形の部分は、情報ボックスの[図形作成法]—「矩形」に切り替えて入力してみましょう。

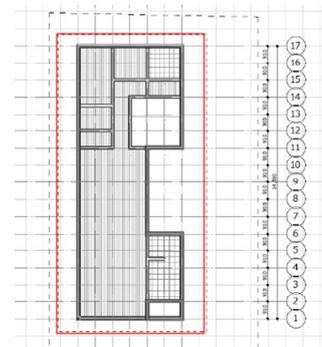
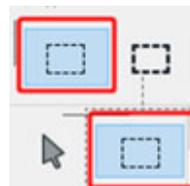
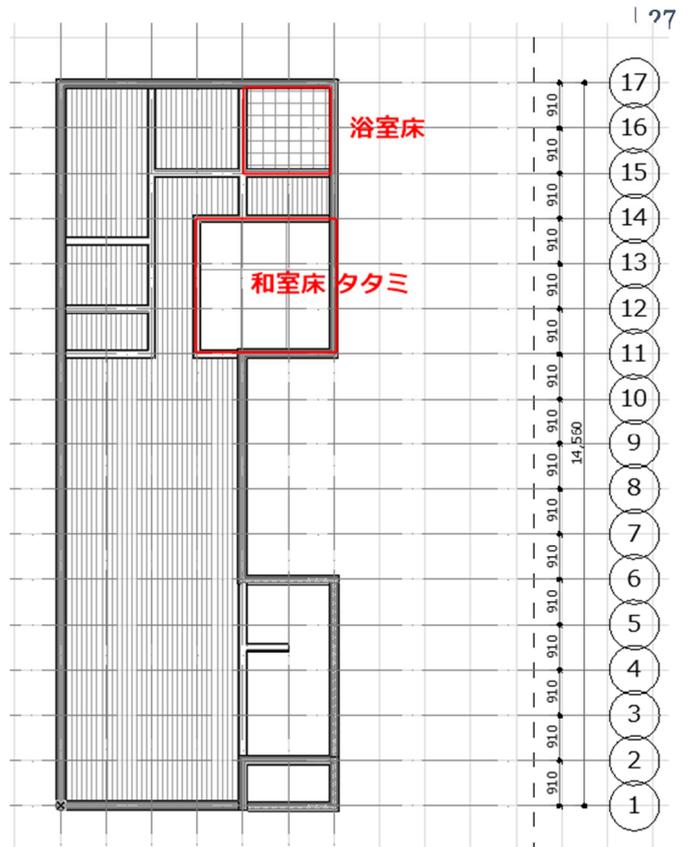
- ・浴室 — ★浴室床
- ・和室 — ★和室床 タタミ

- ・玄関 — ★玄関 床タイル貼り
(1F L -150 に配置)



TIPS : 3D カット

平面ウィンドウで、[矩形選択ツール]を使って、見たいところだけを囲んで、F5 キーを押すと、その部分だけを3D ウィンドウに表示することができます。



◇式台の入力

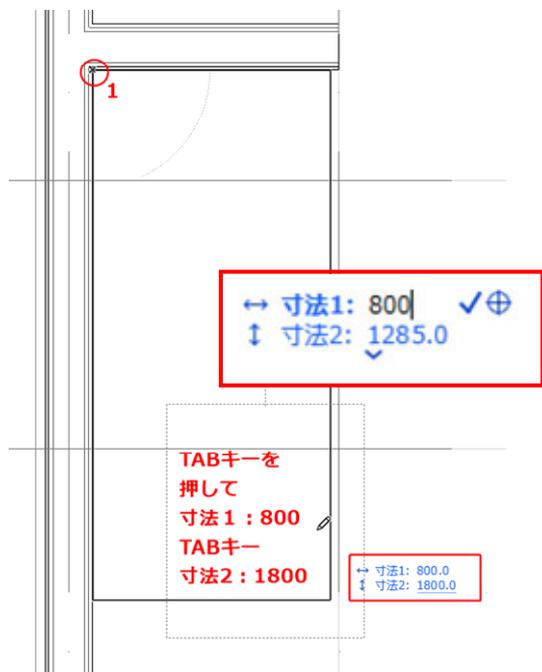
- ① ツールボックスの[スラブツール]の右側の▶を押し、[お気に入り]から「★1 階フローリング」を選択します。



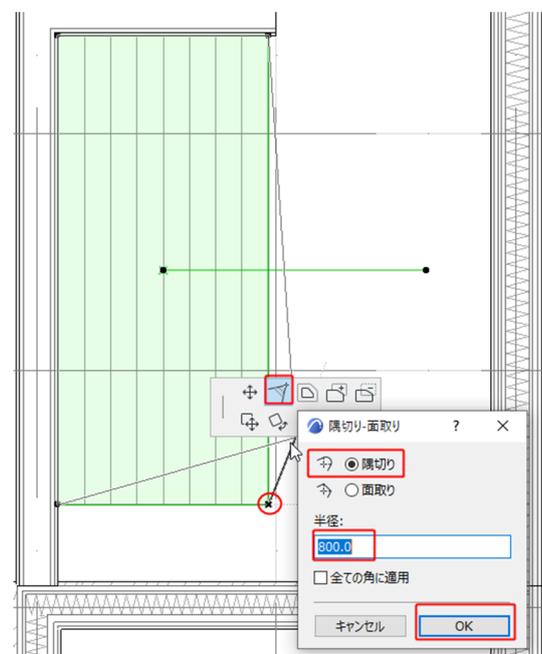
- ② 式台設置箇所に矩形でスラブを記入します。

右図の1の角でクリックし、カーソルを右下に移動させると、[寸法1][寸法2]の表示が出来ます。

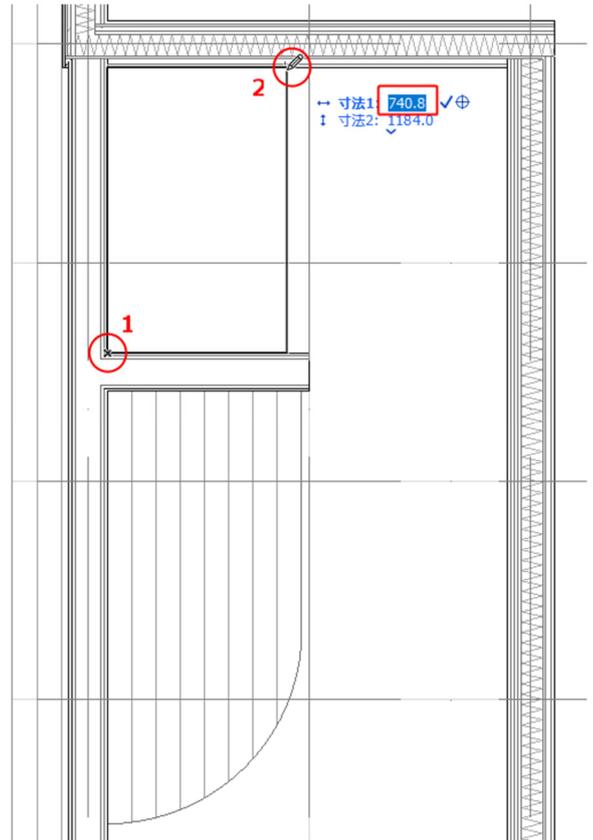
TAB キーを押すと[寸法1]が記入できるようになるので、「800」と入力し再度、TAB キーを押して[寸法2]に「1800」と入力し、エンターキーを押します。



- ③ 矢印選択ツールを使って (Shift キーで選択可能)、式台用のスラブを選択します。右下のコーナーの点をクリックし、表示されたペットパレットから [隅切り一面取り] を選択し、半径を「800」と入力し、エンターキーを押します。

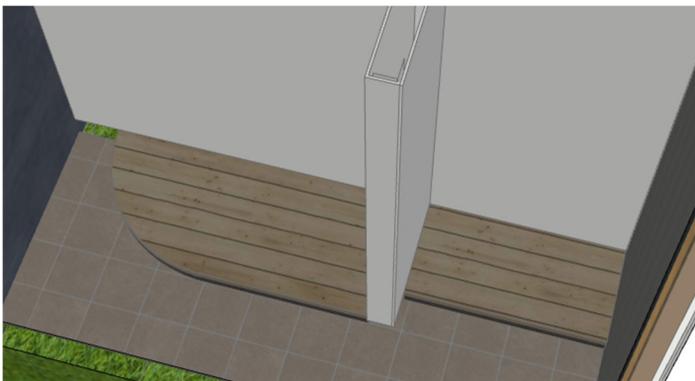


- ④ シューズクロークの板間も同様にスラブで入力します。
 右図 1 の点でクリック、2 点目は壁のライン上にカーソルを乗せます。
 TAB キーを押して、[寸法 1]の値を「600」と入れたら、エンターキーを押します。
 ※[寸法 2]は、壁のライン上にいるので寸法指定が不要です。

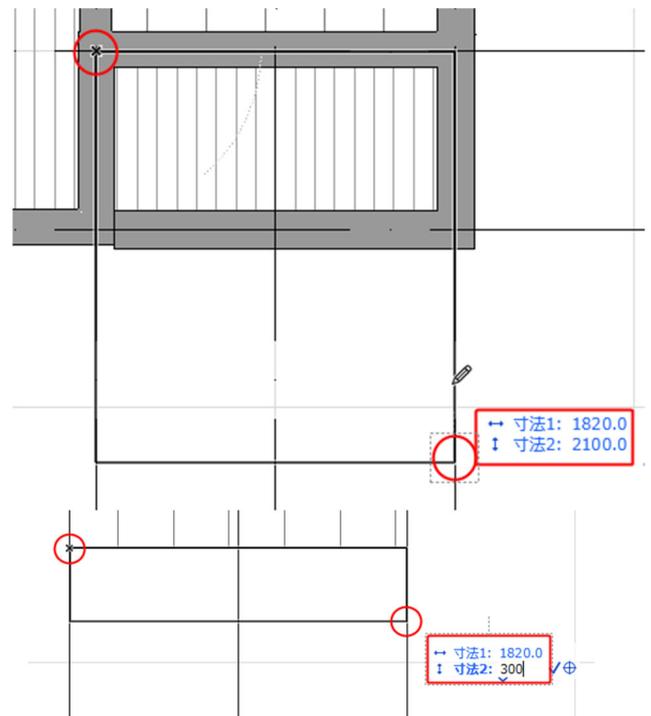


式台が入力できました。

3.3.2. 玄関ポーチの入力



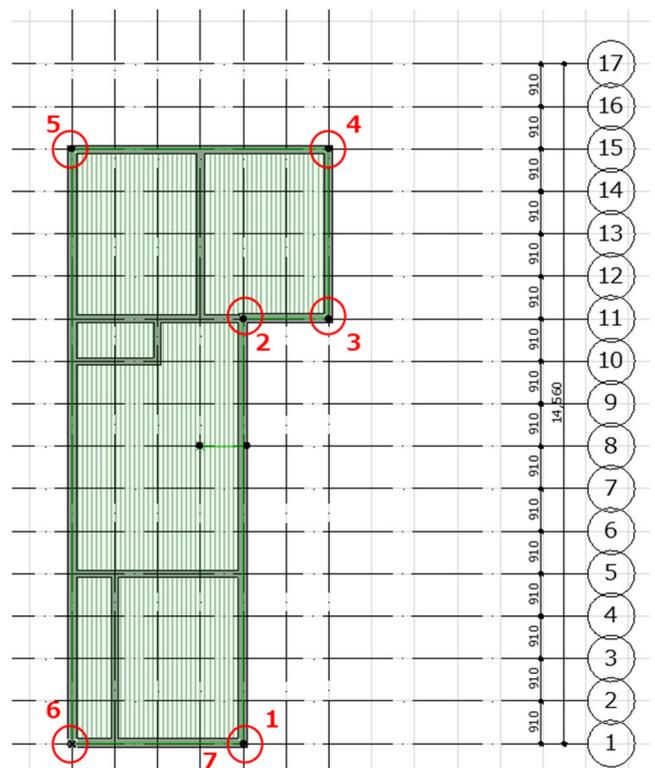
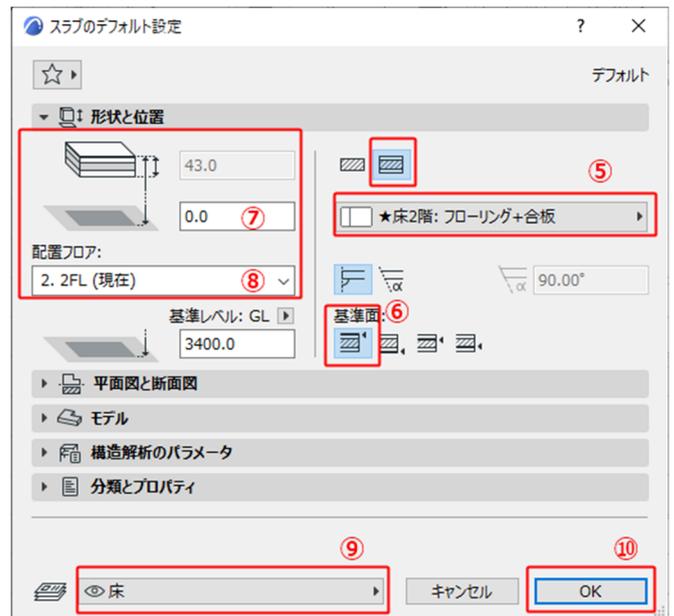
- ① ツールボックスの[スラブツール]の右側「▶」をクリックし、お気に入りを表示します。
 ★ 玄関 床タイル張りを選び、配置高さの設定を-200 に変更し、玄関ポーチを入力します。
 ② 同様に、2 段・階段を入力します。
 高さを、「-350」と「-500」の 2 段を書いてください。



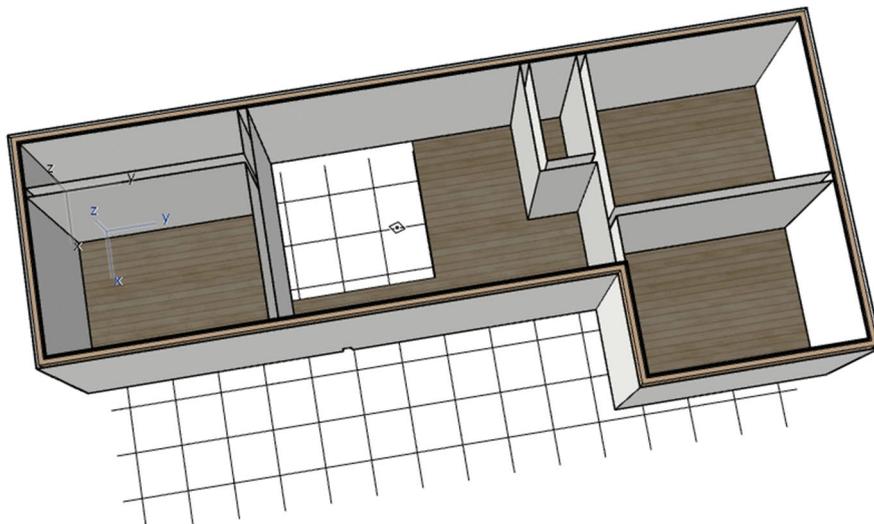
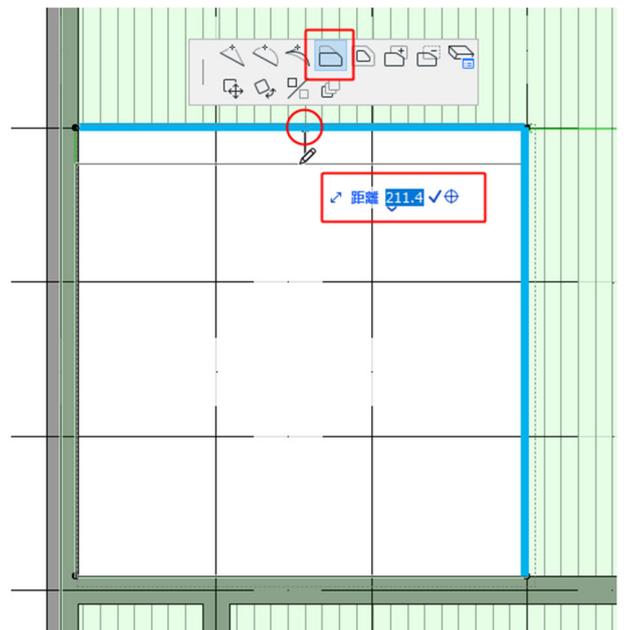
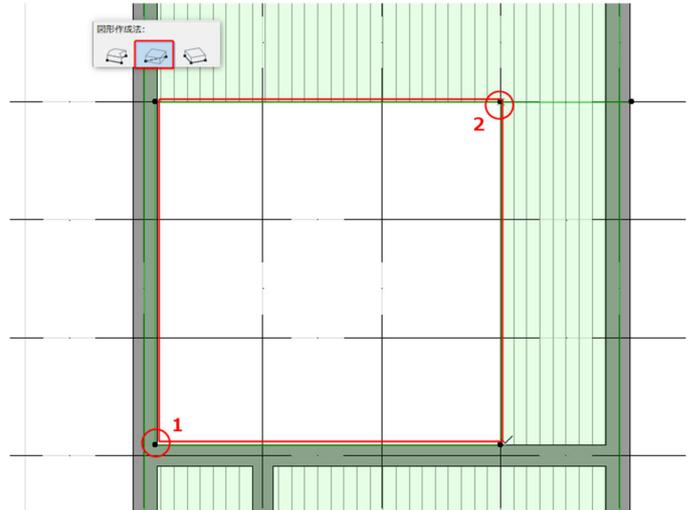
3.3.3. 2階の床の入力

2階フローリングを入力します。

- ① 「ビュー一覧」より
「平面図」 - 「2.2階平面図」を選択します。4.3.1参照
- ② ツールボックスの「スラブツール」の右横の「▶」をクリックして「お気に入り」を表示します。
- ③ 「お気に入り」の「★2階フローリング」をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの「床ツール」をダブルクリックして、設定ダイアログを表示します。各種設定を確認します。
- ⑤ 複合構造 「床2階：フローリング+合板」
- ⑥ 基準面の位置を[上端]
- ⑦ 配置フロアまでのオフセット 「0」
- ⑧ 配置フロア 「2.2FL」
- ⑨ レイヤ 「床」
- ⑩ 「OK」をクリックします。
- ⑪ 情報ボックスの「図形作成法」のポリゴンを選択します。
- ⑫ [グリットスナップ]をONにします。
- ⑬ 床周囲のコーナーをクリックし、床を入力します。
今回は壁中心線をクリックします。

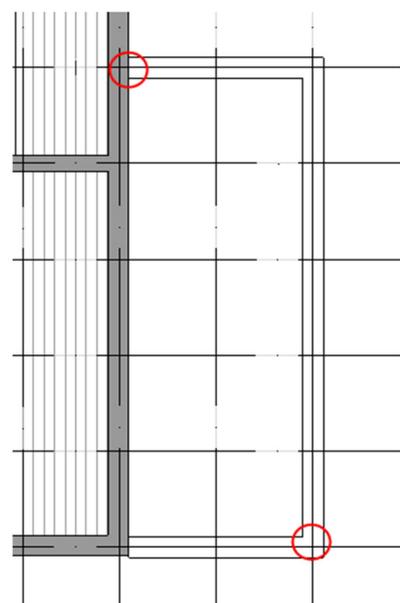


- ⑭ 床に開口を設けます。
開口を開ける床を矢印選択ツールで選択します。(Shift キーで選択可能)
- ⑮ 選択したまま、スラブツールをクリックします。
- ⑯ 情報ボックスの図形作成法を「矩形」に変更してから、右図の1のポイント(壁の角)と、2のポイント(通り芯交点)をクリックし開口をします。
- ⑰ 開口部の調整をおこないます。[グリットスナップ]をOFFにします。
- ⑱ 右図の青い辺をクリックし、ペットパレットの[辺をオフセット]を選択し、内側にカーソルを移動して、TAB キーを押して「65」と入力し、開口内部に向かってオフセットします。
右図の右側の青い辺を同様に内側にオフセットします。



3.3.4. バルコニー床の入力

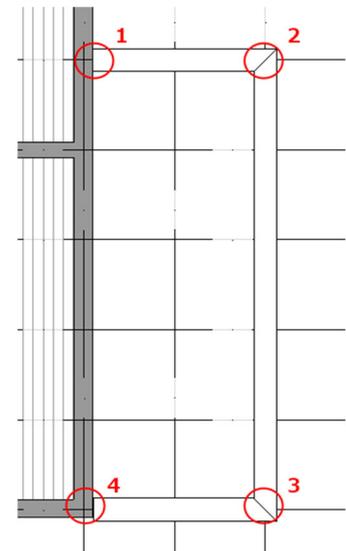
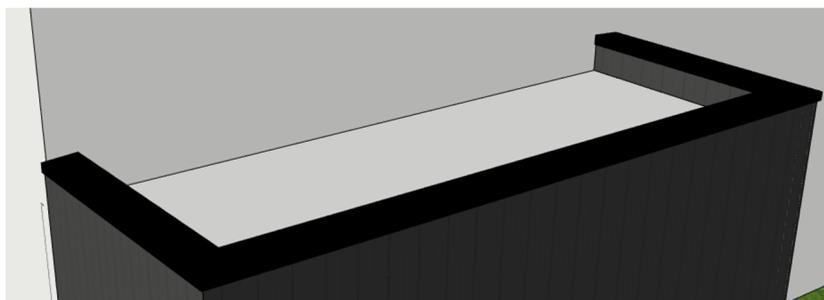
- ① [ビュー一覧]より[平面図]—[2.2階平面図]を選択します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[床ツール]の右横の▶をクリックして[お気に入り]を表示します。4.3.1 参照
- ③ [お気に入り]の[バルコニー床]をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[床ツール]をダブルクリックして、設定ダイアログを表示します。各種設定を確認します。
- ⑤ 複合構造 「床：バルコニー防水床」
- ⑥ 基準面の位置を[上端]
- ⑦ 配置フロアまでのオフセット 「50」
- ⑧ 配置フロア 「2.2FL」
- ⑨ レイヤ 「床」
- ⑩ 「OK」をクリックします。
- ⑪ 情報ボックスの「図形作成法」の矩形を選択します。4.3.1 参照
- ⑫ [グリットスナップ]をONにします。4.3.1 参照
- ⑬ 床周囲のコーナーをクリックし、床を入力します。



3.3.5. バルコニーの笠木を入力

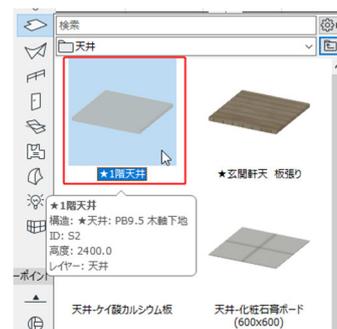
笠木を断面形状を使って入力します。

- ① [ビュー一覧]より[平面図]—[2.2階平面図]を選択します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[梁ツール]の右横の▶をクリックして[お気に入り]を表示します。4.3.1 参照
- ③ [お気に入り]の[バルコニー笠木]をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[梁ツール]をダブルクリックして、設定ダイアログを表示します。各種設定を確認します。
- ⑤ 位置決め
配置フローアからのオフセット 「330」
- ⑥ 配置フロア 「2.2FL」
- ⑦ レイヤ 「手摺り」
- ⑧ 「OK」をクリックします。
- ⑨ 情報ボックスの[図形作成法]の[連続]を選択します。4.3.1 参照
- ⑩ [グリッドスナップ]をオフにします。
- ⑪ 壁側は面で押さえます。



3.4. 天井の入力

- ① [ビュー一覧]より「平面図」－「1.1階平面図」を選択します。
- ② ツールボックスの[スラブツール]の右横の▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★1階天井」をダブルクリックして、選択します。



- ④ ツールボックスの[スラブツール]をダブルクリックして、設定ダイアログを表示し、各種設定を確認します。
- ⑤ 複合構造
「★天井：P B 9.5 木軸下地」
- ⑥ 基準面の位置 「下端」
- ⑦ 配置フロアまでのオフセット「2400」
- ⑧ 配置フロア 「1.1FL」レイヤ
「天井」



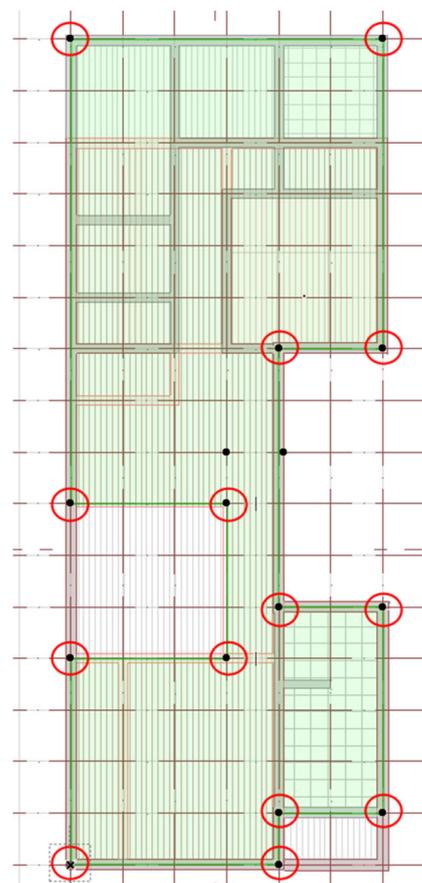
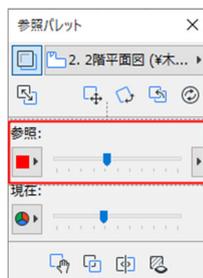
※この時点で非表示になっているので、入力時に「表示」

- ⑨ 「OK」をクリックします。
- ⑩ 情報ボックスの「図形作成法」のポリゴンを選択します。
- ⑪ 2階平面図を参照します。

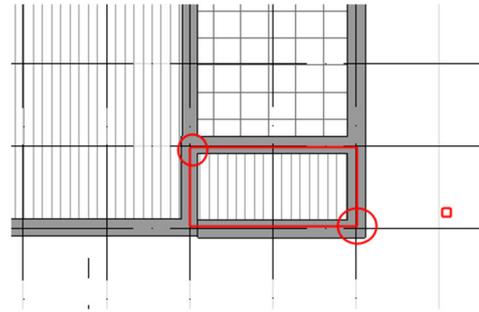
[ビュー一覧]－[2.2階平面図]の上で右クリックして、[参照として表示]をクリックします。

- ⑭ 天井周囲のコーナーをクリックし、天井を入力します。

※参照表示した2階平面図が見つからない場合は、参照パレットで、参照図の色や濃さを調整できます。



- ⑮ 同様に、[お気に入り]から「★玄関軒天板張」を選択し、玄関ポーチに入力します。
- ⑯ 天井高さは「2070」とします。



◇吹き抜け周りの壁を入力します。

- ① 「壁ツール」の[お気に入り]より「★吹き抜け壁」を選択します。
- ② 2階床を参照表示します。

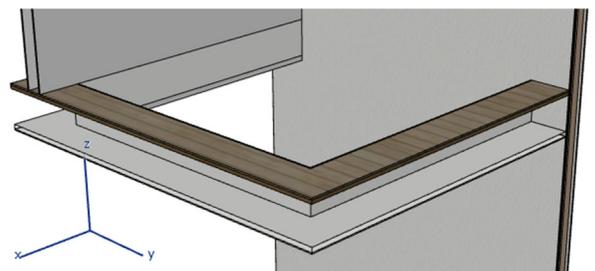
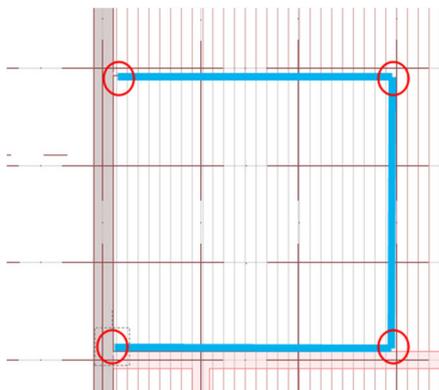


- ③ 壁の設定を確認します。
 - ④ 複合構造—「★内壁：PB12.5片面」
 - ⑤ 基準面 「外側」
 - ⑥ 壁上部 「2FL フロア オフセット 0」
 - ⑦ 壁下部 「+2400」
 - ⑧ レイヤ 「壁-間仕切り」
- と設定をします。



開口部に沿って、壁を入力します。

- ⑨ 床開口部の交点をクリックして壁を入力します。



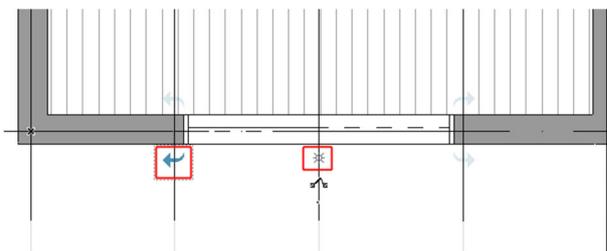
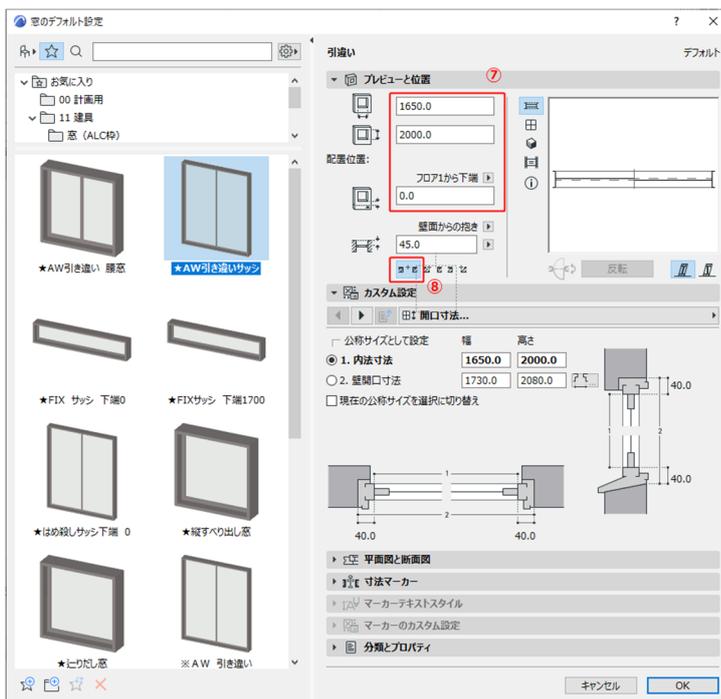
3.5. 窓の入力

◇窓の入力をします。

- ① [ビューー覧]より
「平面図」－「1.1 階平面図」を選択
します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[窓ツール]の右横の
▶をクリックして[お気に入り]を表示
します。
- ③ [お気に入り]の「★AW 引き違いサッシ」
をダブルクリックして、選択し
ます。
- ④ ツールボックスの[窓ツール]をダブル
クリックして、設定ダイアログを表
示します。各種設定を確認します。
- ⑤ 窓の形状を設定します。
- ⑥ 様々な形式の窓が選択できます。



- ⑦ 窓の大きさを設定します。
 - ・窓の幅 「1650」
 - ・開口部の高さ 「2000」
 - ・窓下端の取り付け高さ 「0」と
します。
- ⑧ 窓の配置基準を決めます。「中心」を
選択し、開口部の中心を配置基準と
します。
- ⑨ OK をクリックして、窓の設定ダイア
ログボックスを閉じます。
- ⑩ [グリッドスナップ]をONにします。
- ⑪ 配置する壁にカーソルを近づけて、
チェックカーソルになるところでク
リックします。
- ⑫ 「Tab」キーを押して、太陽マークが
外部になるように設定します。
- ⑬ 開く方向でクリックして、窓の入力
を確定します。
- ⑭ 他の窓も同様に設定し、入力しまし
ょう。

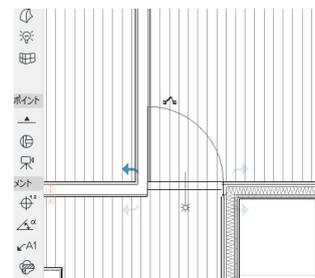
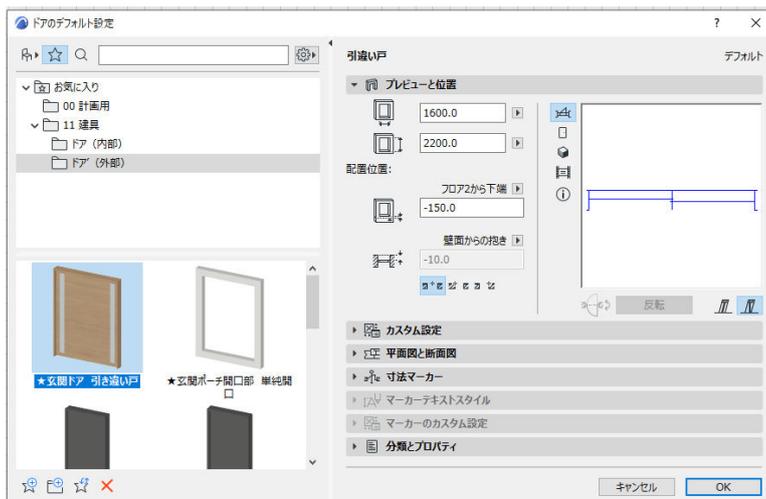
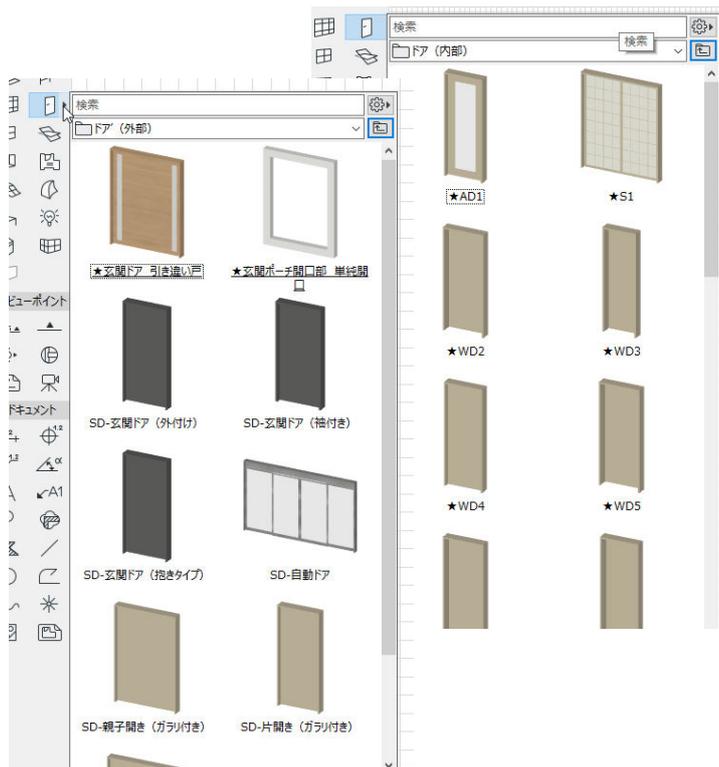


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.6. ドアの入力

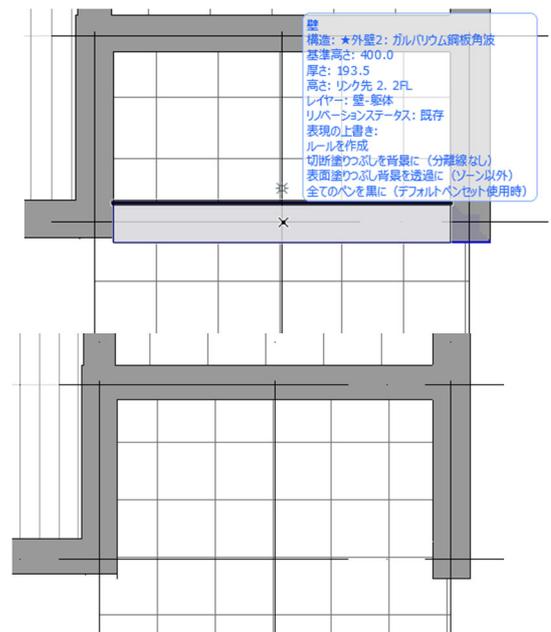
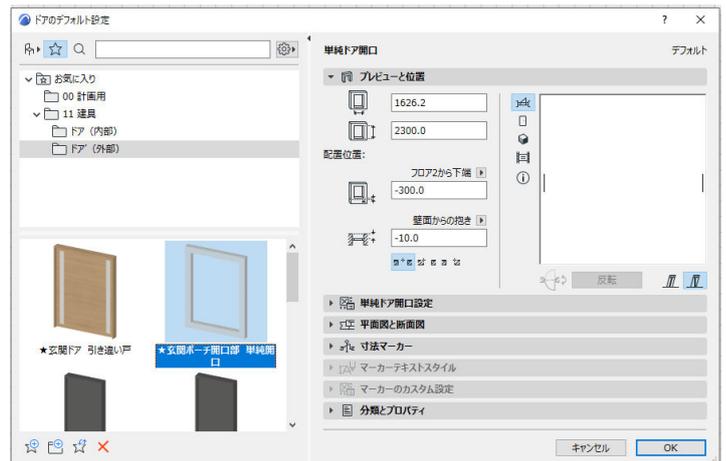
ドアの入力をします。

- ⑮ [ビューー覧]より
「平面図」－「1.1 階平面図」を選択
します。4.3.1 参照
- ⑯ ツールボックスの[ドアツール]の右横
の▶をクリックして[お気に入り]を
表示します。
- ⑰ [お気に入り]の「★玄関ドア 引き違
い戸」をダブルクリックして、選択
します。
- ⑱ ツールボックスの[ドアツール]をダブル
クリックして、設定ダイアログを
表示します。各種設定を確認します。
- ⑲ ドアの形状を設定します。
- ⑳ 様々な形式の窓が選択できます。
- ㉑ ドアの大きさを設定します。
 - ・ドアの幅 「1600」
 - ・開口部の高さ 「2200」
 - ・ドア下端の取り付け高さ
「-150」
- ㉒ ドアの配置基準を決めます。「中心」
を選択し、開口部の中心を配置基準
とします。
- ㉓ OK をクリックして、窓の設定ダイア
ログボックスを閉じます。
- ㉔ [グリッドスナップ]をOFF にします。
4.3.1 参照
- ㉕ 配置する壁にカーソルを近づけて、
チェックカーソルになるところでク
リックします。
- ㉖ 「Tab」キーを押して、太陽マークが
外部になるように設定します。
- ㉗ 開く方向でクリックして、ドアの入
力を確定します。



◇玄関ポーチの開口部を入力します。

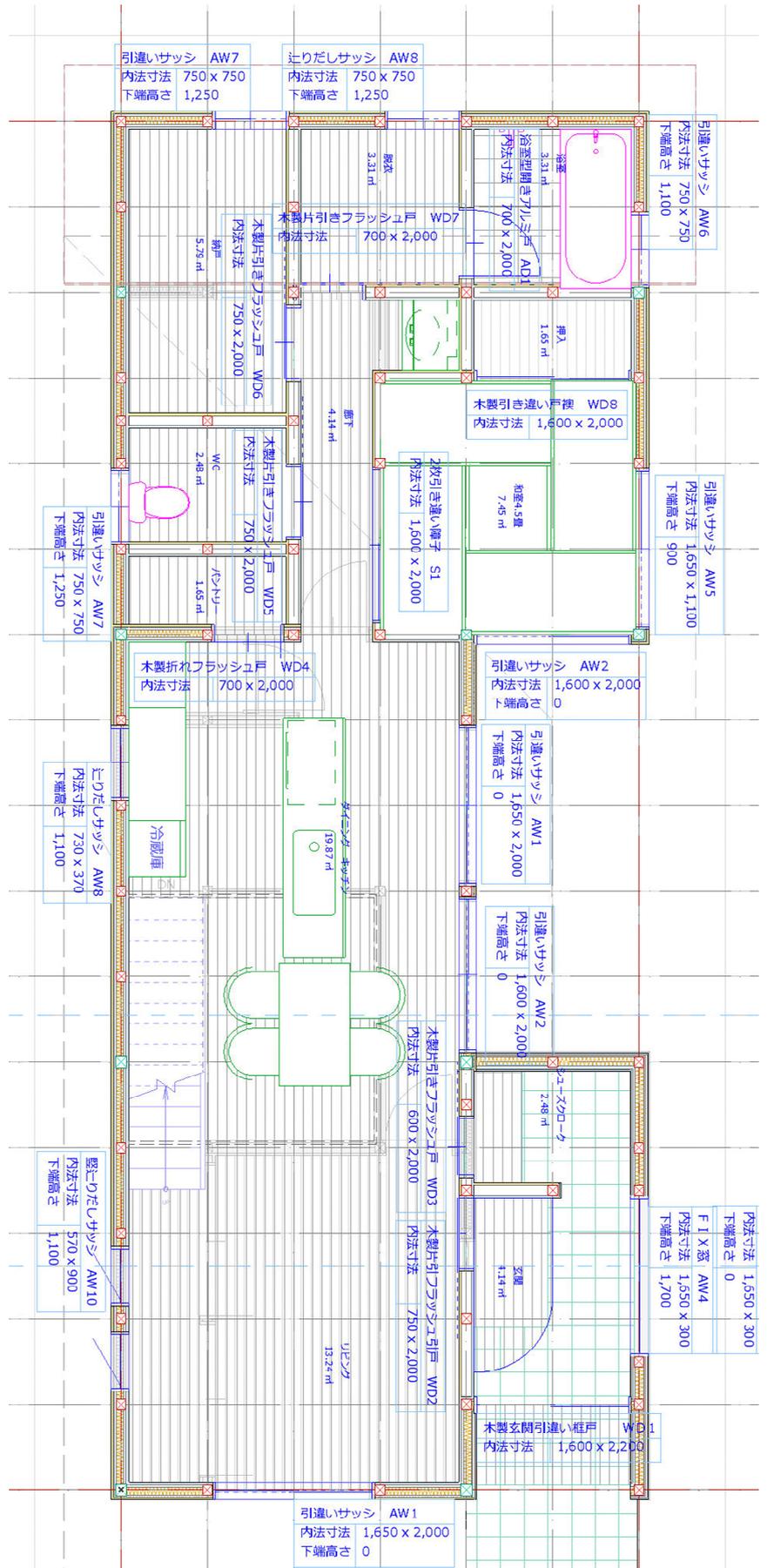
- ① [ビュー一覧]より
「平面図」－「1.1 階平面図」を選択
します。4.3.1 参照
- ② ツールボックスの[ドアツール]の右横
の[▶]をクリックして[お気に入り]
を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★玄関ポーチ開口部
単純開口」をダブルクリックして、
選択します。
- ④ ツールボックスの[ドアツール]をダブル
クリックして、設定ダイアログを
表示します。各種設定を確認します。
- ⑤ ドアの配置基準を決めます。「中心」
を選択し、開口部の中心を配置基準
とします。
- ⑥ OK をクリックして、窓の設定ダイア
ログボックスを閉じます。
- ⑦ [グリットスナップ]をOFF にします。
4.3.1 参照
- ⑧ 配置する壁にカーソルを近づけて、
チェックカーソルになるところでク
リックします。



1階建具の入れ

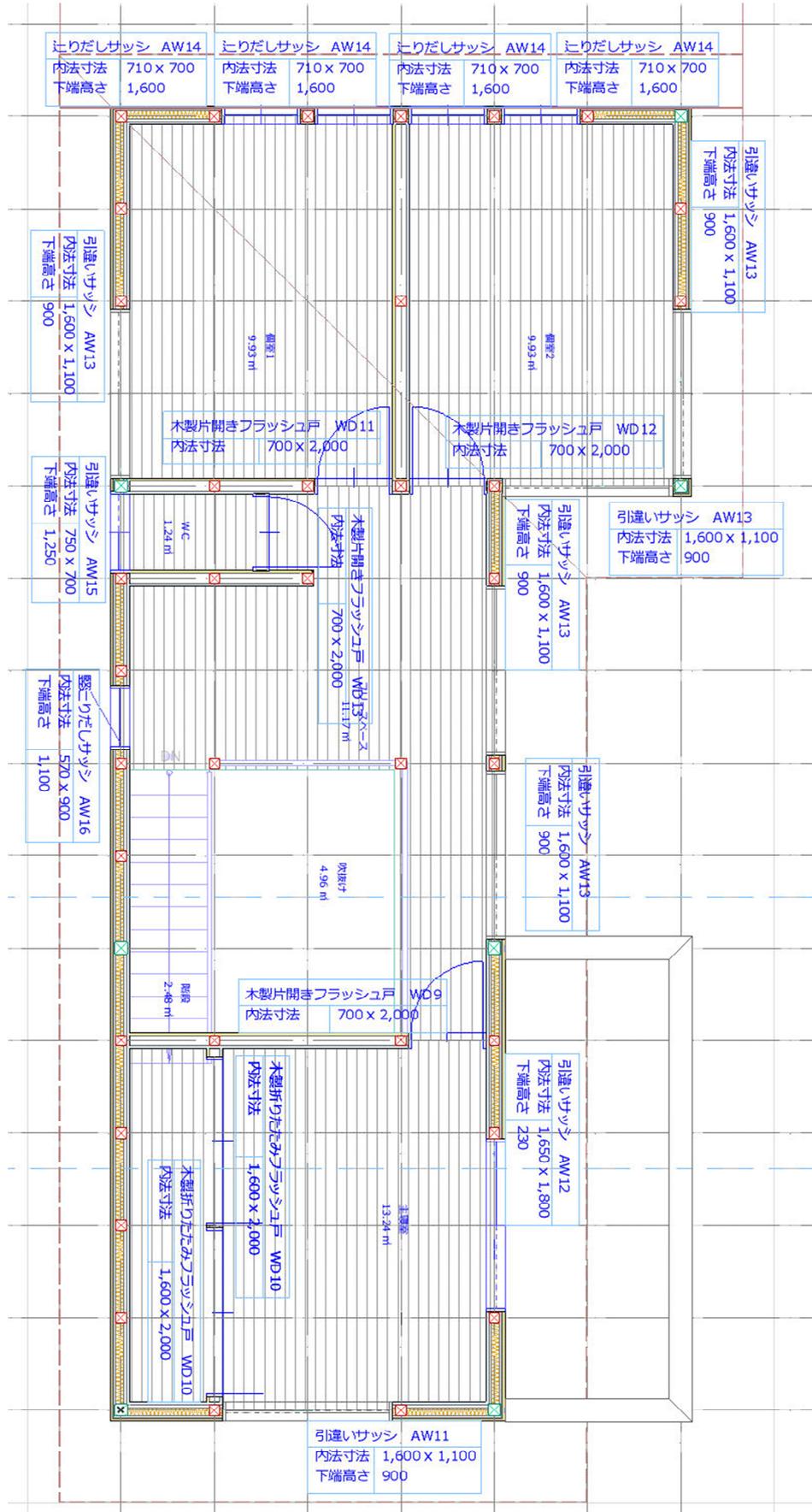
★窓・ドア設定は
[「GRAPHISOFT Help Center」](#)
[「ドア／窓の設定と開口部」](#)にて詳しく
 紹介しています。

★詳しくは
[「GRAPHISOFT ナレッジセンター」](#)
[「オリジナルのドア／窓を作成する方
 法」](#)にて、解説があります。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

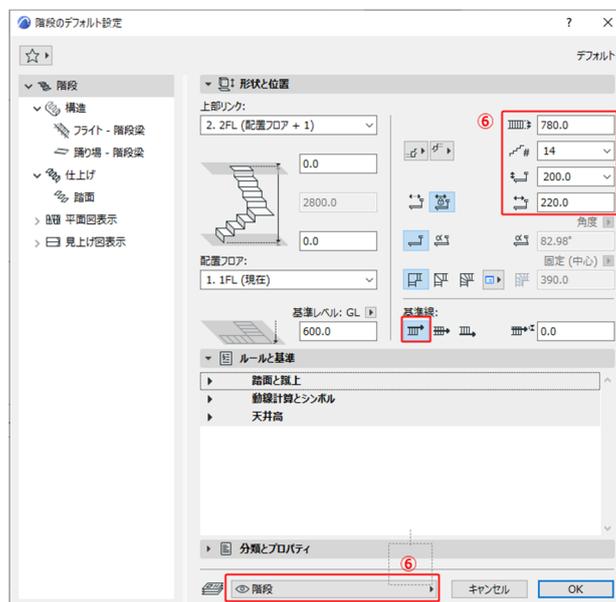
2階の建具入力



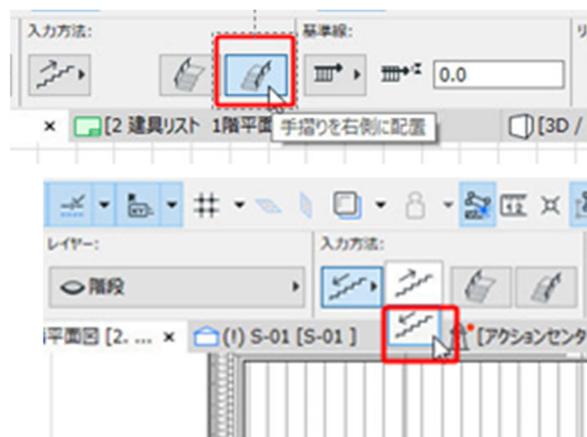
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.7. 階段の入力

- ① [ビュー一覧]より
「平面図」 - 「2.2 階平面図」を選択します。
- ② ツールボックスの[階段ツール]の右横の▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★木製階段ささら」をダブルクリックして、選択します。
- ④ ツールボックスの[階段ツール]をダブルクリックして、設定ダイアログを表示します。各種設定を確認します。
- ⑤ 設定の内容を確認します。
- ⑥ [形状と位置]
 - ・ 階段幅 「780」
 - ・ 蹴上数 「14」
 - ・ 蹴上げ 「200」
 - ・ 踏み面 「220」
 - ・ 階段配置基準線 「左」
 - ・ 蹴上高さは後から自動で計算されます。
 - ・ レイヤ 「階段」

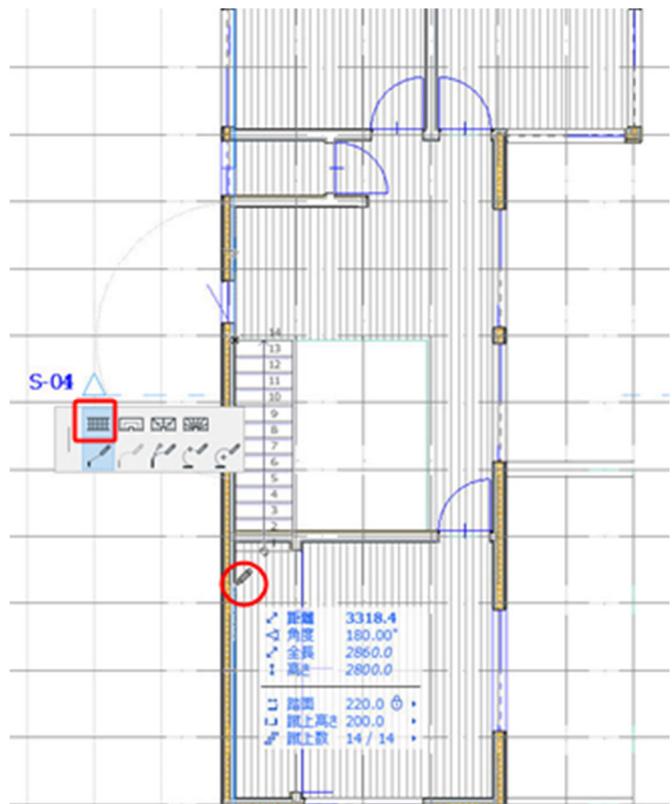
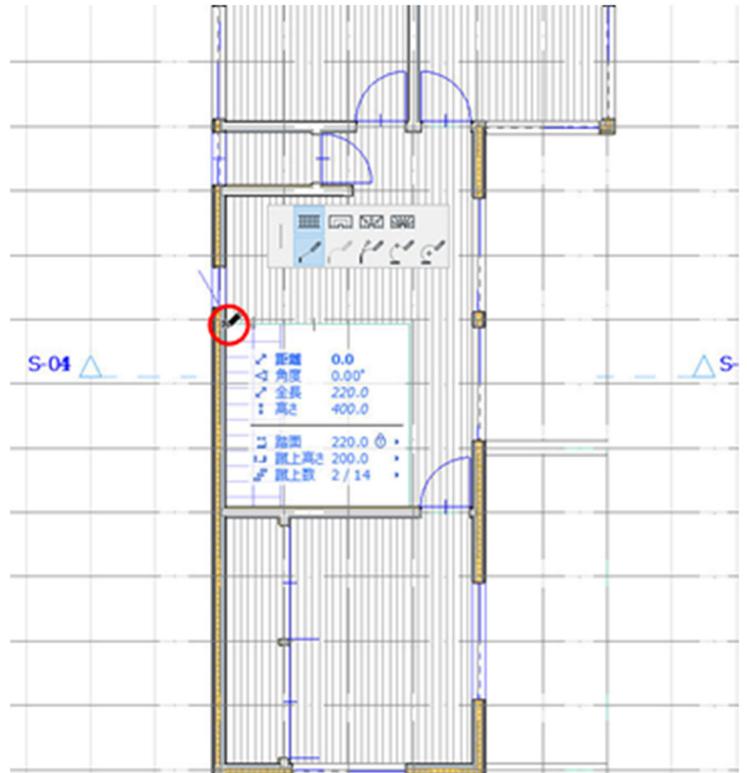


- ⑦ ツールバーの入力方法 の 右側に手すりにチェックを入れます。手摺りが階段と一緒に入力されます。
- ⑧ ツールバーの[入力方式]を[下向き]にします。
階段の配置スタート地点を、「下から上」または「上から下」と指定ができます。



◇階段を図の位置に入力します。

- ① 起点をクリックして階段の位置を決めます。
- ② 階段の取り付け方向を指示し、クリックします。



★階段入力の設定等は

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

[「階段設定：形状と位置」](#)

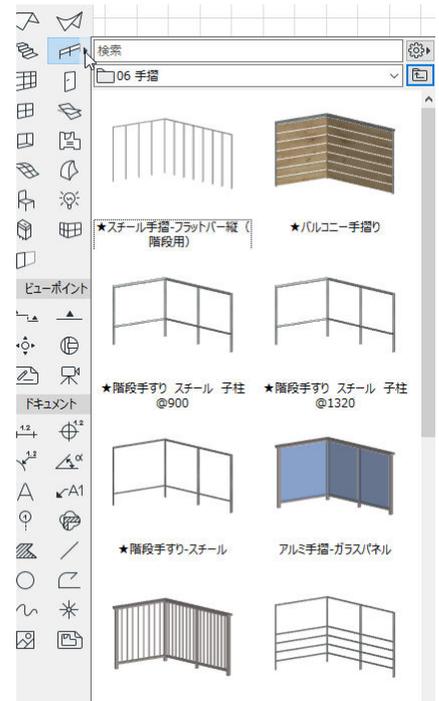
[「階段ツールの編集モード」](#)にて詳しく紹介しています。

3.8. 手摺の編集と入力

3.8.1. 階段の手摺り

手すりは個別の入力も可能です。

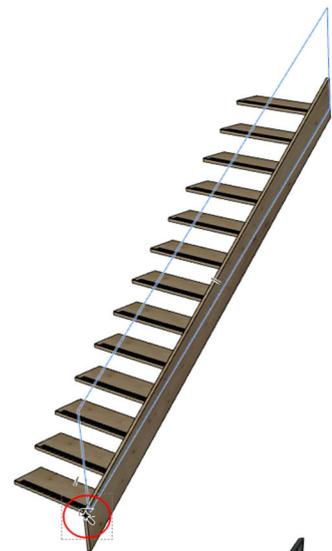
- ① [手摺ツール]の右側▶をクリックし、[お気に入り]を表示します。
- ② 「06 手摺」→「★階段手摺りスチール」をダブルクリックします。
- ③ [デザイン]→[マジックワンドでポリゴンを作成]を選択します。



- ④ 階段の基準線（左側）にカーソルを合わせると、マジックワンドカーソルに変わります。

※マジックワンドは、スペースキーを押しながらマウスカーソルを合わせることで同じことができます。

手すりの場合は、アウトラインが階段に沿って表示されるので、どこにかかる手すりかが、配置前に確認することができます。



- ⑤ クリックすると、手摺が配置されます。



★手摺の設定等は

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

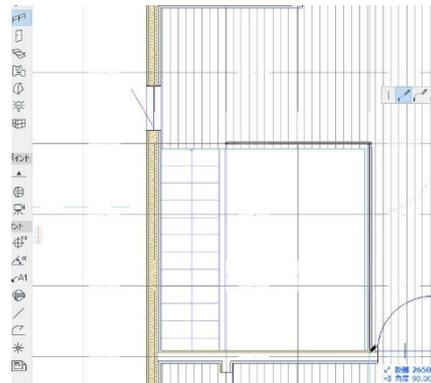
[「手摺ツールについて」](#)

[「手摺の設定・概要」](#)にて詳しく紹介しています。

3.8.2. 吹き抜けの手摺りを入力

- ① [手摺ツール]の右側[▶]をクリックし、お気に入りを表示します。
- ② 「06 手摺」→「★階段手摺りスチール」をホールの階段側と吹き抜け側の2面に入力します。
- ③ 図のように、2面の交点をクリックします。

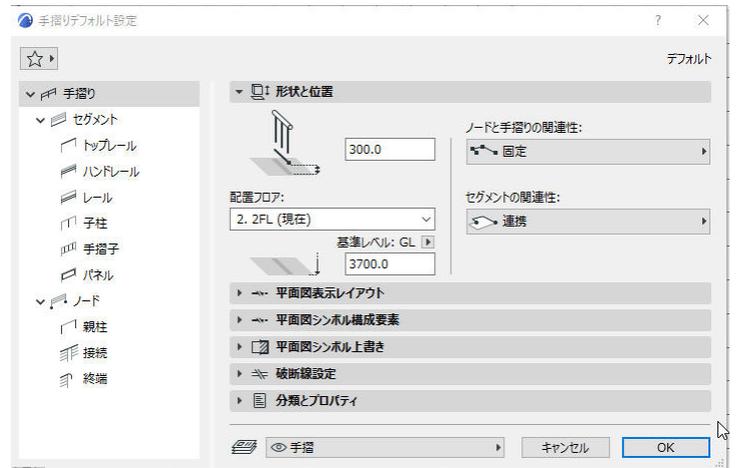
※レイヤは「手摺り」



3.8.3. バルコニーの手摺りを入力

- ① [手摺ツール]の右側▶をクリックし、お気に入りを表示します。
- ② 「06 手摺」→「★バルコニー手摺り」をバルコニー三面に入力します
- ③ 図のように、交点をクリックし、手摺を入力します。

※レイヤは「手摺り」

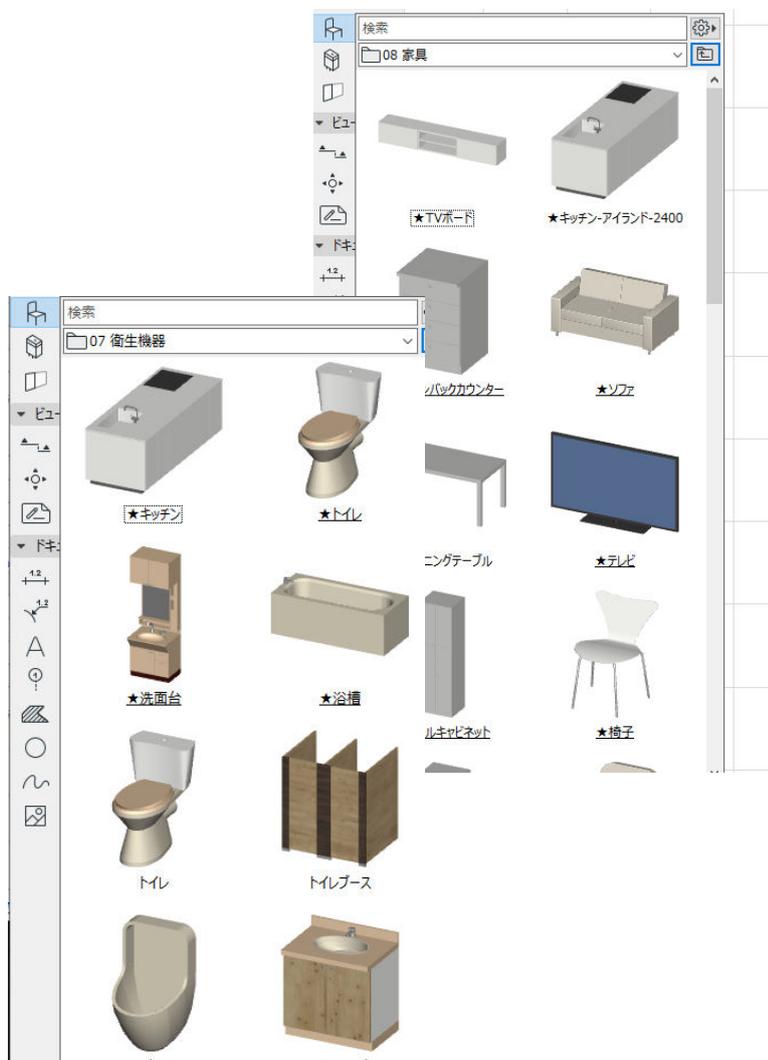
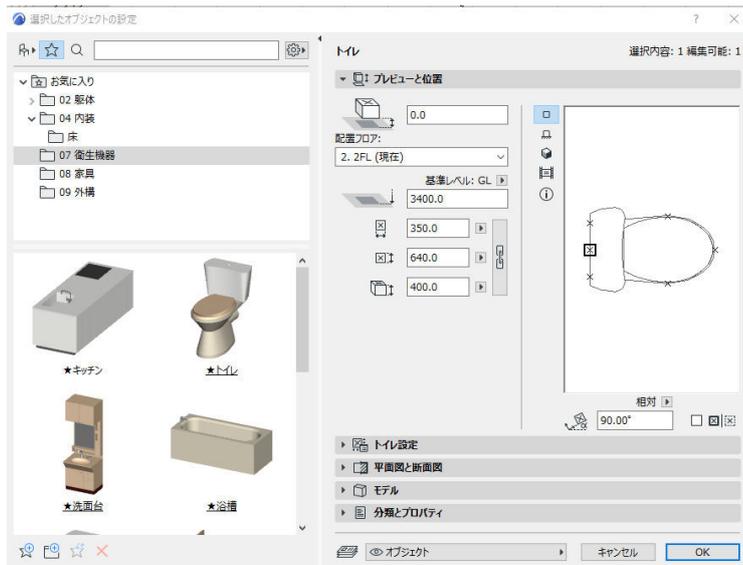


3.9. 設備、家具入力

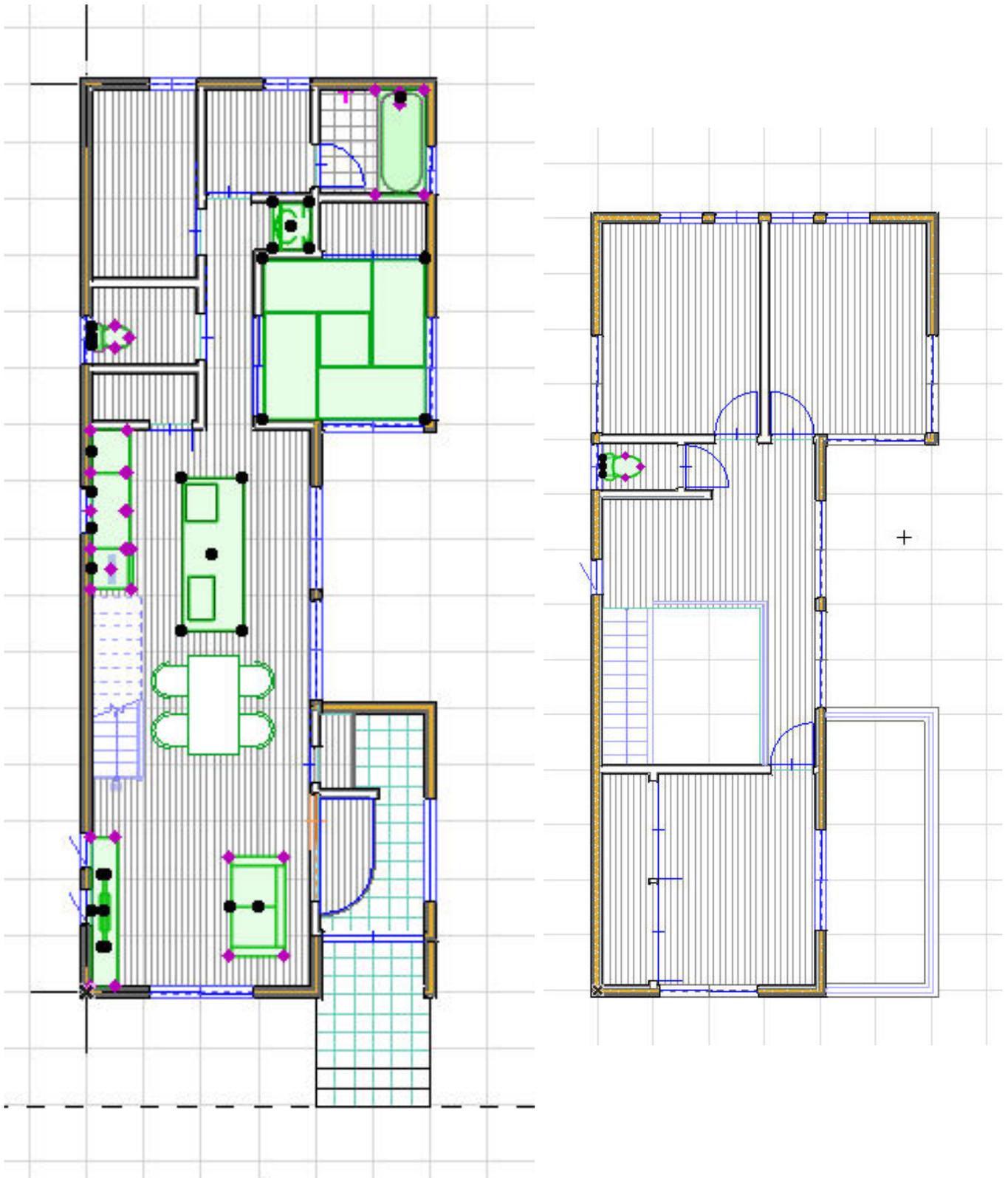
- ① [ビュー一覧]より
「平面図」－「1.1 階平面図」を選択
します。4.3.1 参照
 - ② ツールボックスの[オブジェクト]の右
横の▶をクリックして[お気に入り]
を表示します。
 - ③ [お気に入り]の「★キッチンアイラン
ド 2400」をダブルクリックして、選
択します。
 - ④ ツールボックスの[オブジェクトツ
ール]をダブルクリックして、設定ダイ
アログを表示します。各種設定を確
認します。
 - ⑤ 設定の内容を確認します。
 - ⑥ 配置フロア 「1.1F L」
・配置フロアまでの下端高さ 「0」
・レイヤ 「オブジェクト」
 - ⑦ 「グリッドスナップ」をオフにします。
(ショートカット：Alt+S)
- ※[2Dビュー]内でクリックすると、配置
角度を45度ずつ変更できます。
- ④ [図形作成法][直角] に切り替えて入
力します。

TIPS：スラブツールで棚を作成
簡単な棚はスラブツールを使用して作成
出来ます。

★スラブツールの設定等は
「[GRAPHISOFT Help Center](#)」
「[スラブツールの設定](#)」にて詳しく
紹介しています。



オブジェクトは全て[お気に入り]に登録しています。[お気に入り]より選択をし、平面で配置をします。

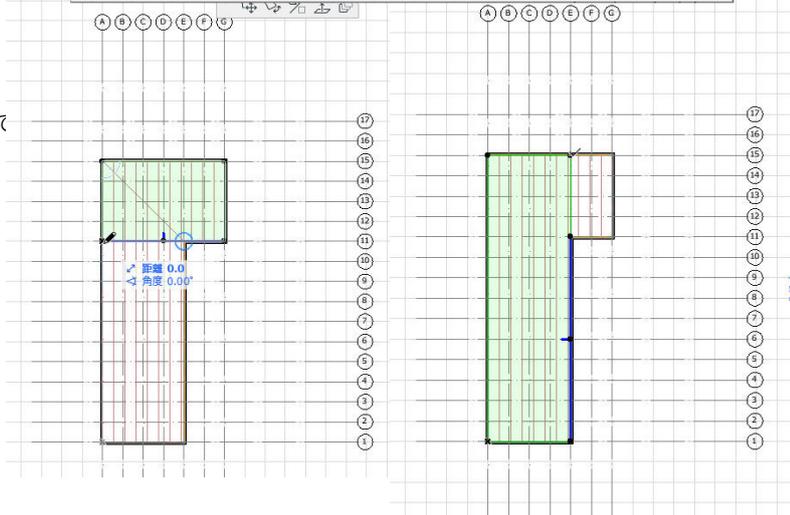
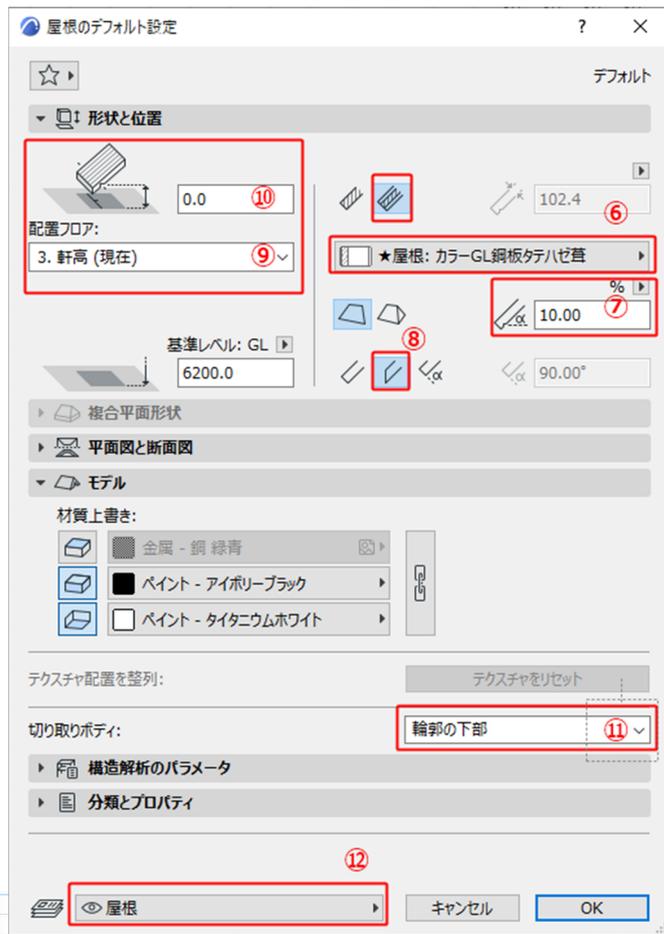


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

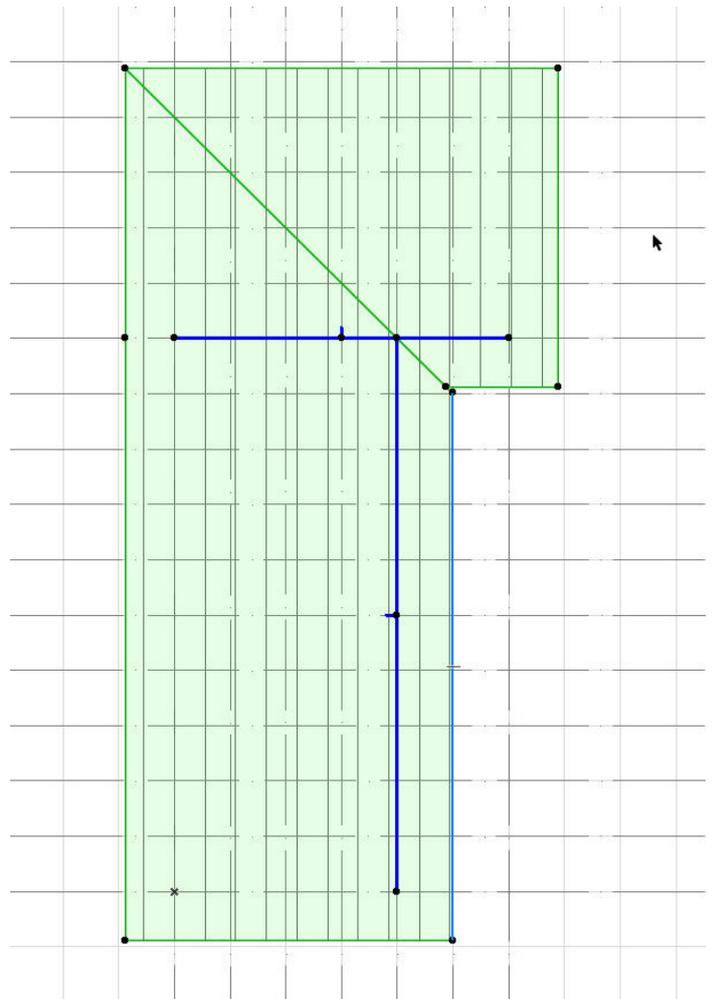
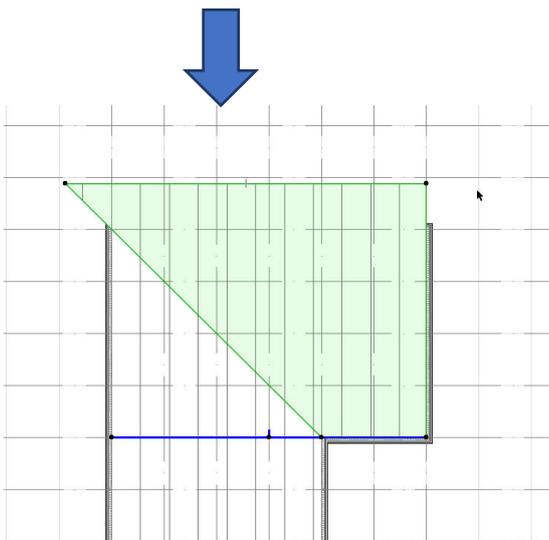
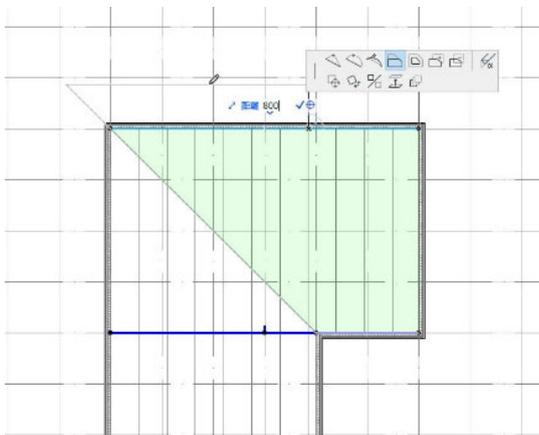
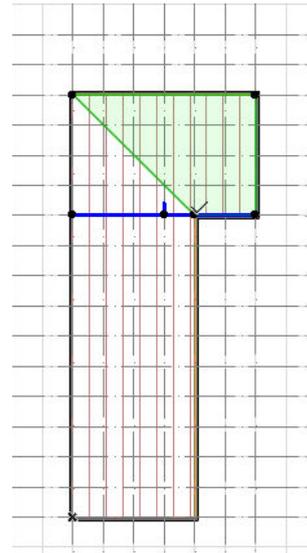
3.10. 屋根の入力

3.10.1. 2階屋根の入力

- ① 屋根ツールを使って、屋根を入力します。
 - ② プロジェクト一覧から [軒高] を選びます。
 - ③ ツールボックスの[屋根ツール]の右横の▶をクリックして[お気に入り]を表示します。
 - ④ [お気に入り]の「★屋根」をダブルクリックして、選択します。
 - ⑤ 「屋根ツール」をダブルクリックして、屋根の設定ダイアログを表示します。
 - ⑥ [複合構造]
「★屋根：カラー G L 鋼板タテハゼ葺」
 - ⑦ 勾配 「10%」
 - ⑧ 屋根編角度を垂直に
 - ⑨ 配置フロア 「軒高」
 - ⑩ 配置フロアまでの基準線のオフセット 「0」
 - ⑪ 切り取りボディ 「輪郭の下」
 - ⑫ レイヤー 「屋根」
 - ⑬ 図形作成法：[単一平面] を設定します。
 - ⑭ 組み立て法：[矩形] を設定します。
 - ⑮ 屋根を 2 枚入力します。
 - ⑯ 桁ラインを決めます。
通り芯 11 上で桁ラインを 2 点クリックして指示します。
 - ⑰ 屋根勾配の上昇方向でクリックします。
 - ⑱ グリッドスナップを ON にして、屋根の形状を矩形入力します。
壁芯の交点でクリックします。
- ※勾配単位は「%」、「°」の切り替えができます。



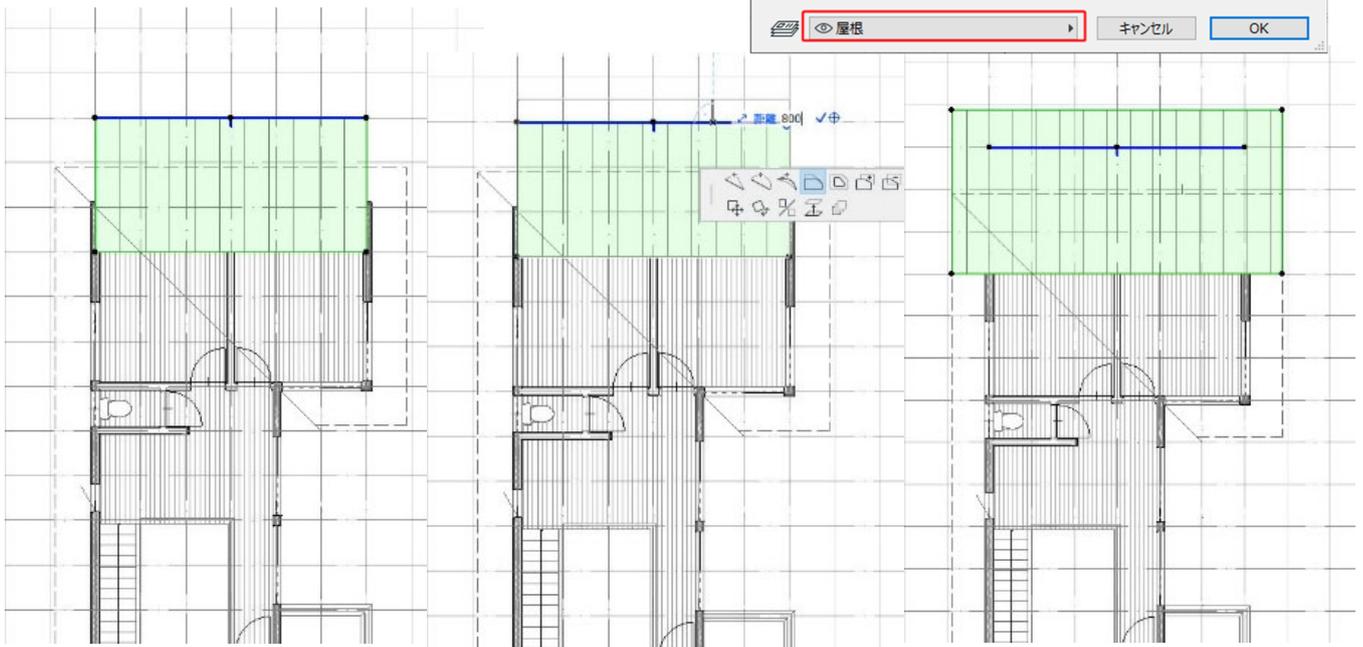
- ⑱ 同様に通り芯 E を桁に指定してもう一枚の屋根を入力します。
- ⑳ 2枚重なっている部分の処理をおこないます。
それぞれ重なっている頂点を E 通りと 11 通りの交点に移動させます。
- ㉑ 次に軒を出します。
軒を出す辺をクリックします。ペットパレットの[辺をオフセット]を選択します。800 とキーボードで打ち込み Enter を押します。
屋根が中心線より 800 伸びました。
- ㉒ 同様に他の辺も軒の出を調整します。



3.10.2. 下屋根の入力

◇1階の屋根を入力します。

- ① プロジェクト一覧から [2.2FL] を選択します。
- ② ツールボックスの[屋根ツール]の右横の ▶ をクリックして[お気に入り]を表示します。
- ③ [お気に入り]の「★屋根」をダブルクリックして、選択します。
- ④ 「屋根ツール」をダブルクリックして、屋根の設定ダイアログを表示します。
- ⑤ 2階床からのオフセットを-243 とします。
- ⑥ 4.10.1 を参照して、屋根を入力します。



★屋根の設定等は
[「GRAPHISOFT Help Center」](#)
[「屋根ツールの設定」](#)にて紹介し
 ています。

3.11. 壁のクロップ

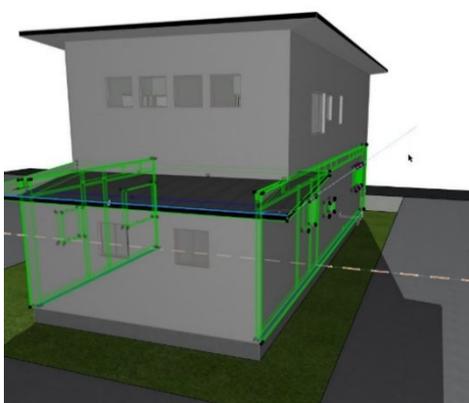
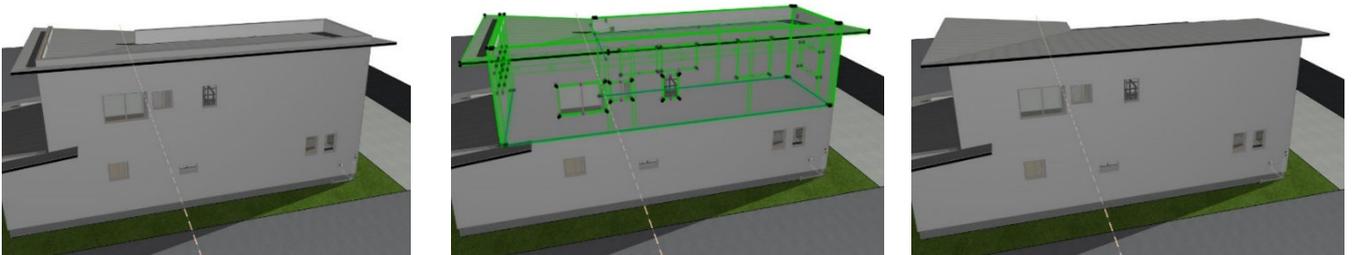
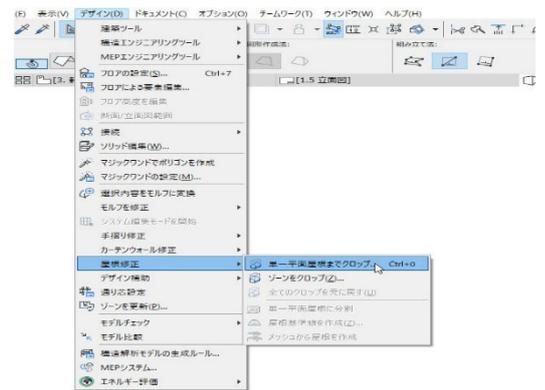
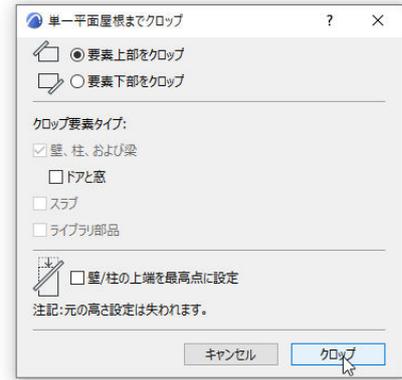
壁を屋根勾配に接続（クロップ）します。

クロップは3Dにて作業します。

[タブバー]の[3D]を選択して3D画面にします。

- ① 屋根から出ている壁を全て選択します。
(SHIFT+クリック)
- ② 壁を選択したまま、屋根も選択します。
- ③ メニューバーの[デザイン]→[屋根修正]→[単一平面屋根でクロップ]を選択します。
- ④ [要素上部をクロップ]を選択し、[クロップ]をクリックします。
- ⑤ 3Dで確認しましょう。

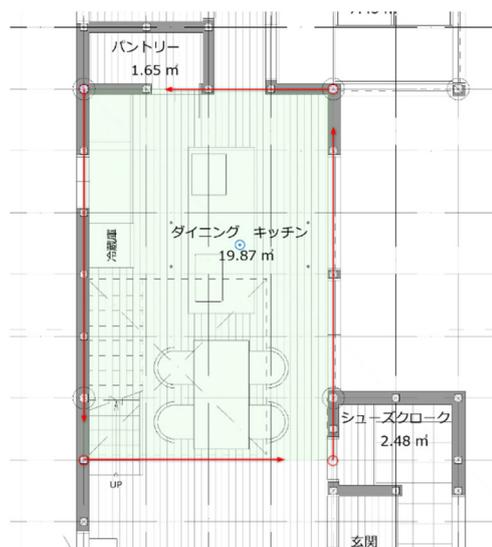
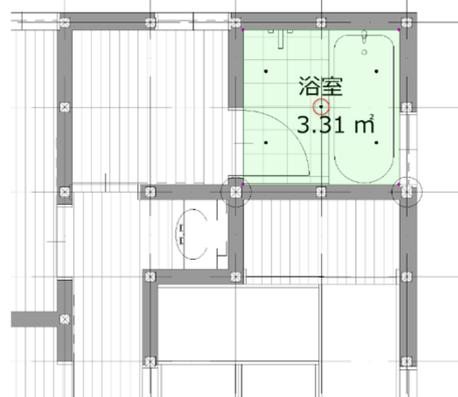
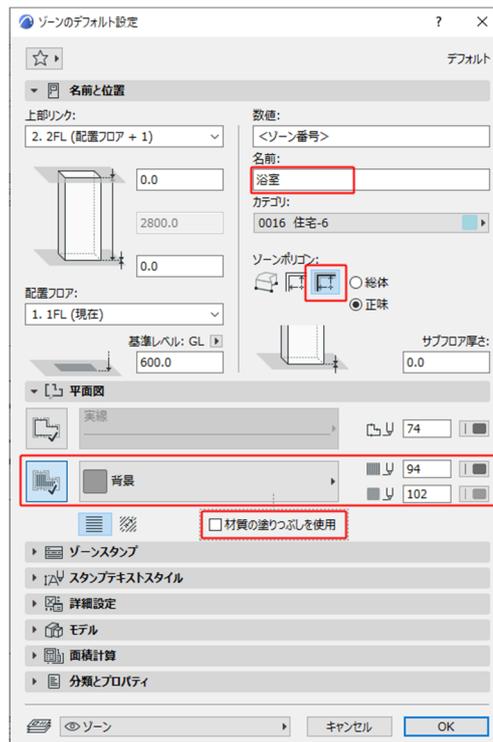
※複数の屋根にかかる壁があった場合は、関係する壁と屋根をすべて選択して、右クリックし、[接続]→[屋根/シェルで要素を切り取り]を使用してください。



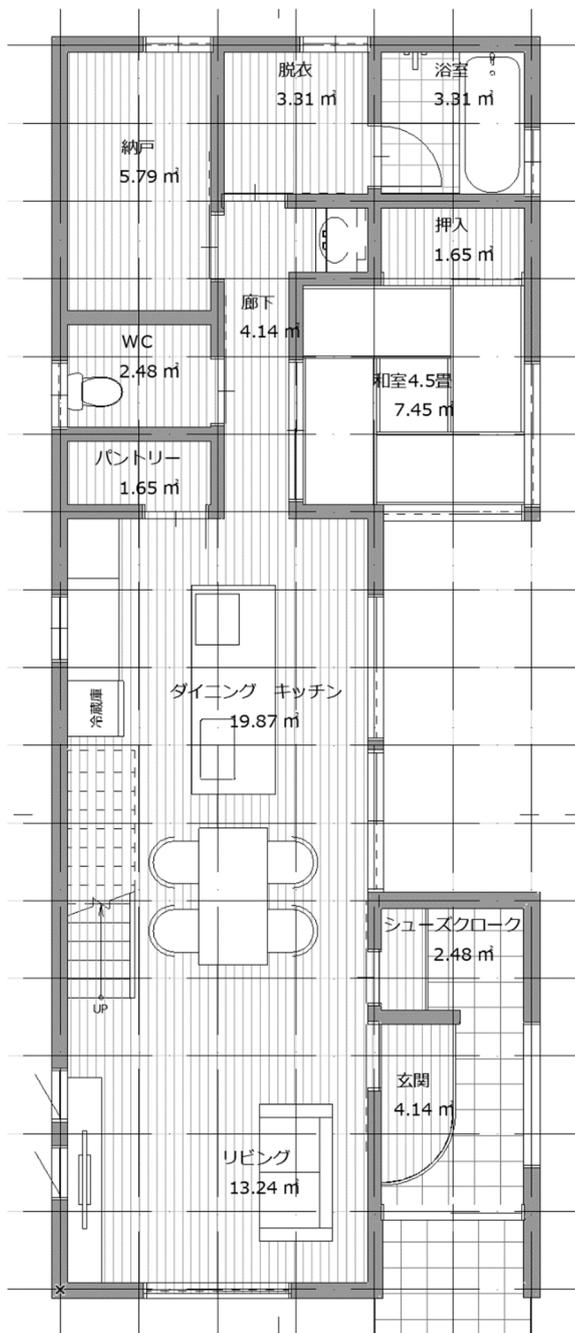
3.12. ゾーンの入力

ゾーンを入力します。部屋（スペース）に関する情報を入れることができ、室名や面積などを表示することができます。

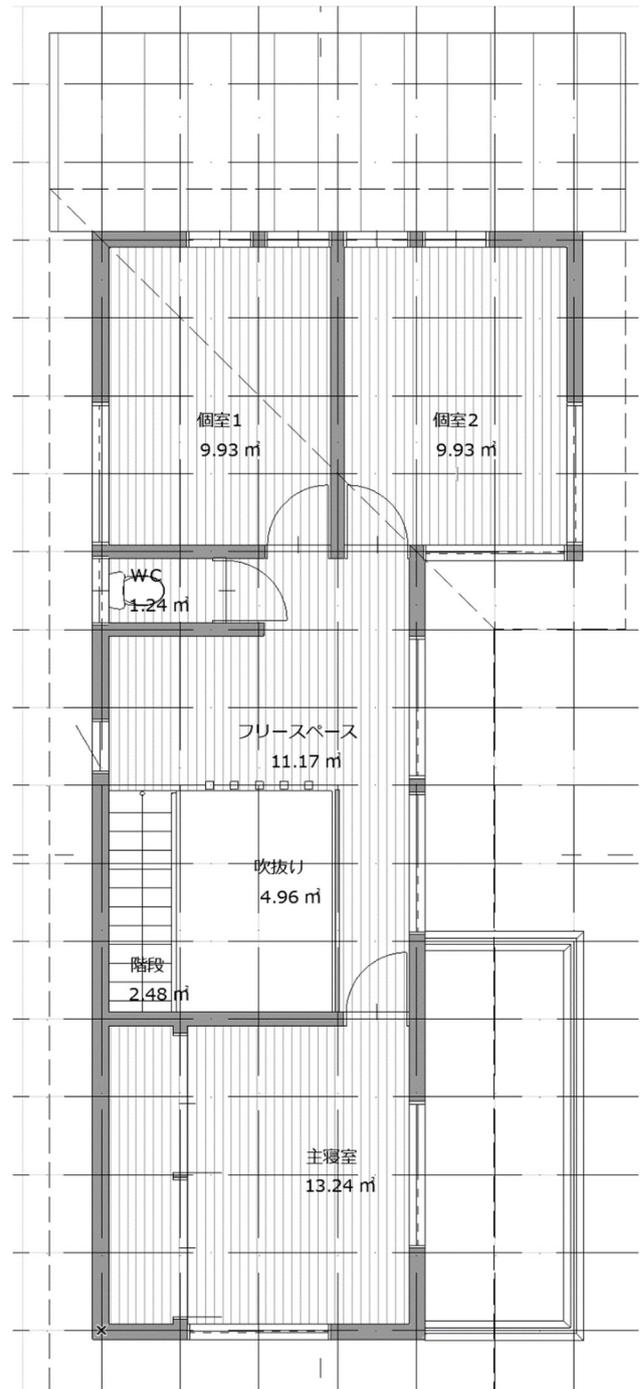
- ① [グリッドスナップ]をオンにします。
(ショートカット：Alt+S)
- ② 「ゾーンツール」をダブルクリックして、ゾーンの設定を開き、次のように設定します。
名前：『浴室』
材質の塗りつぶしを使用：オフ
表面塗りつぶしの追加：オン
表面塗りつぶしのタイプ：『背景』
表面塗りつぶし背景ペン：『1 0 2』
- ③ 組み立て法：『基準線』を選択します。
- ④ 浴室の中心で、クリックします。
- ⑤ カーソルが、ハンマーに変わったら、もう一度クリックすると、室名が表示されます。
- ⑥ 他のゾーンも図のように入力しましょう。
- ⑦ 玄関と浴室以外は「表面塗りつぶしの追加：オフ」
- ⑧ キッチン、LD、階段室、玄関は、組み立て法：[手動] で入力します。
- ⑨ 一覧表や仕上げ表はゾーンの情報から作成されます。



★ゾーンの設定は
「[GRAPHISOFT Help Center](#)」
「[ゾーンツールの設定](#)」
にて詳しく紹介しています。



1階平面図



2階平面図

3.13. 構造の入力

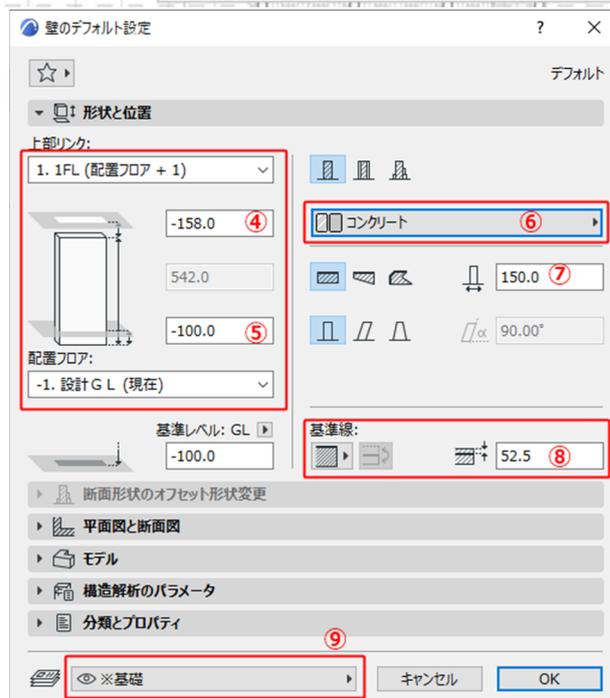
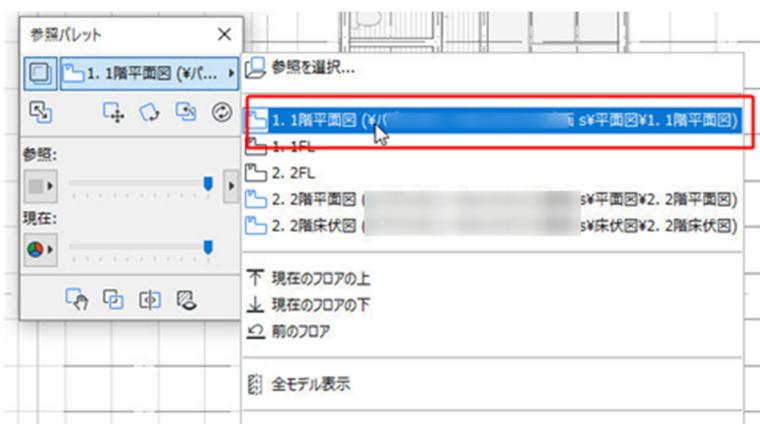
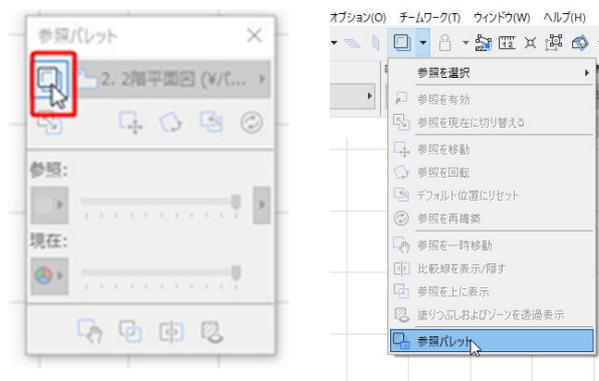
3.13.1. 基礎の入力

GLフロアに、壁ツールを使って基礎を入力します。

- ① [フロアタブ]をクリックし、『GL』フロアに変更します。
- ② レイヤは「基礎」にします。

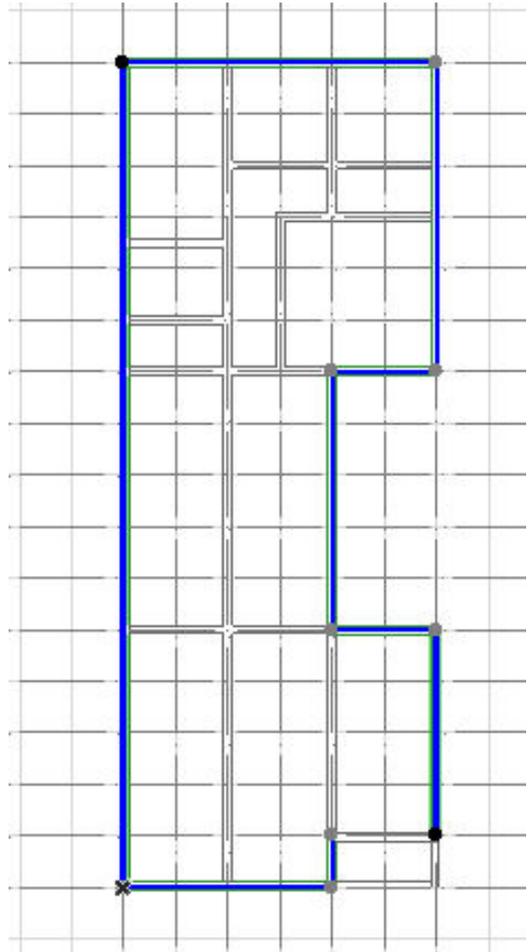
■基礎外周の入力

- ① 1階平面図を下絵に表示します。ツールバーから[参照]をオンにします。
- ② [参照]の右側▼をクリックし、「参照を選択」→「1階平面図」選択します。
- ③ ツールボックスの「壁」の右側▶をクリックし、お気に入りー「基礎」ー「★基礎 外周 立上り」を選択します。
- ④ 上部フロアまでオフセット「-158」
- ⑤ 下部フロアまでオフセット「-100」
- ⑥ ビルディングマテリアル「コンクリート」
- ⑦ 壁厚 「150」
- ⑧ 壁のより 「52.5」
- ⑨ レイヤ：「※基礎」

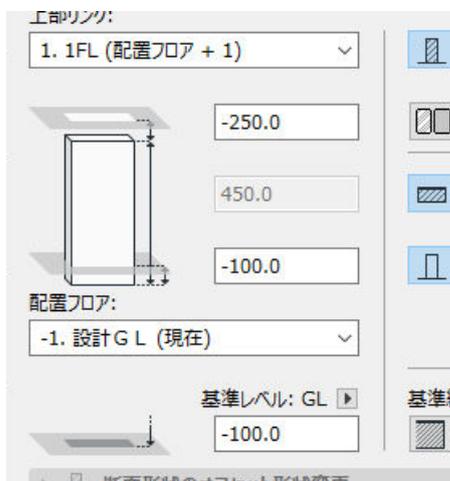
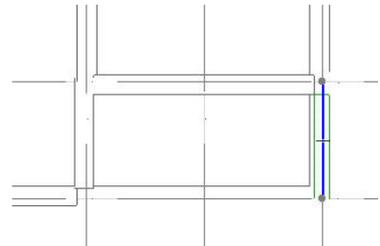


- ⑩ [図形作成法：矩形] に切り替えて外壁ラインをなぞるように入力します。

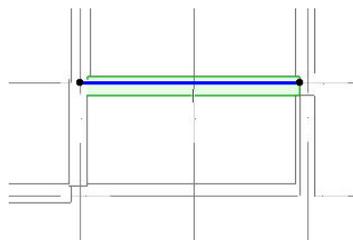
基礎外周



基礎巾は 120



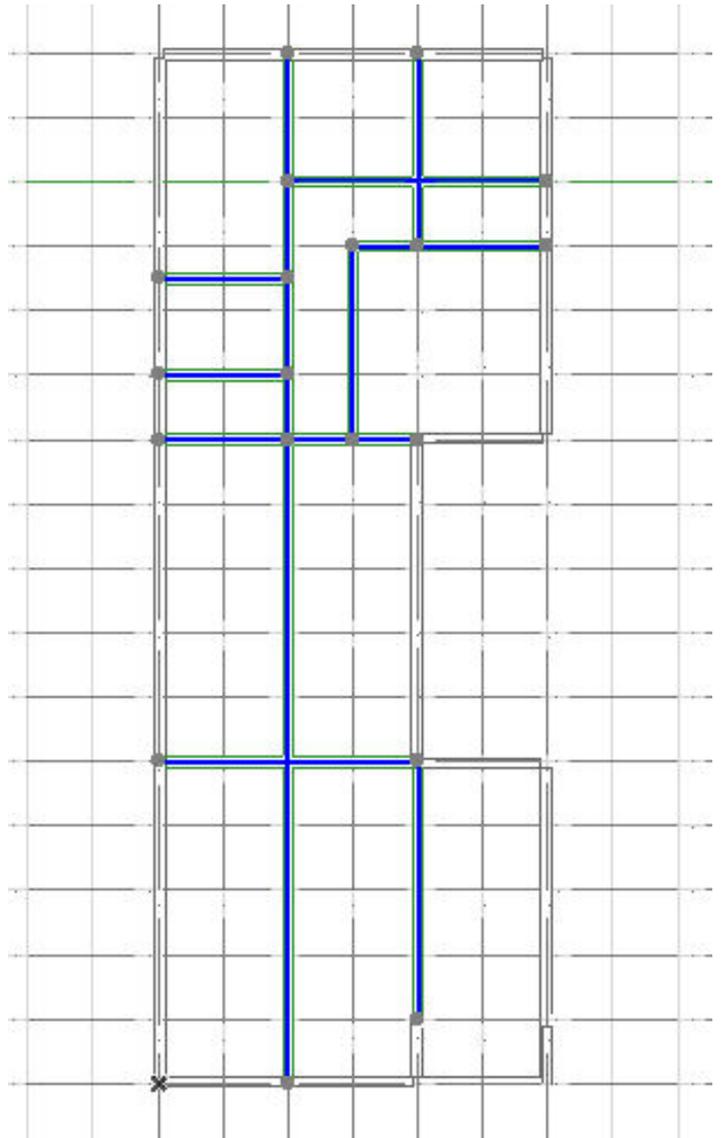
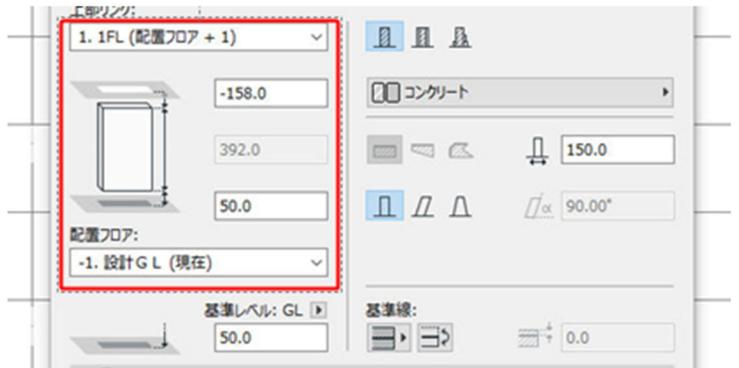
玄関戸下部基礎
上部リンク
-250



■基礎立上り 内部の入力

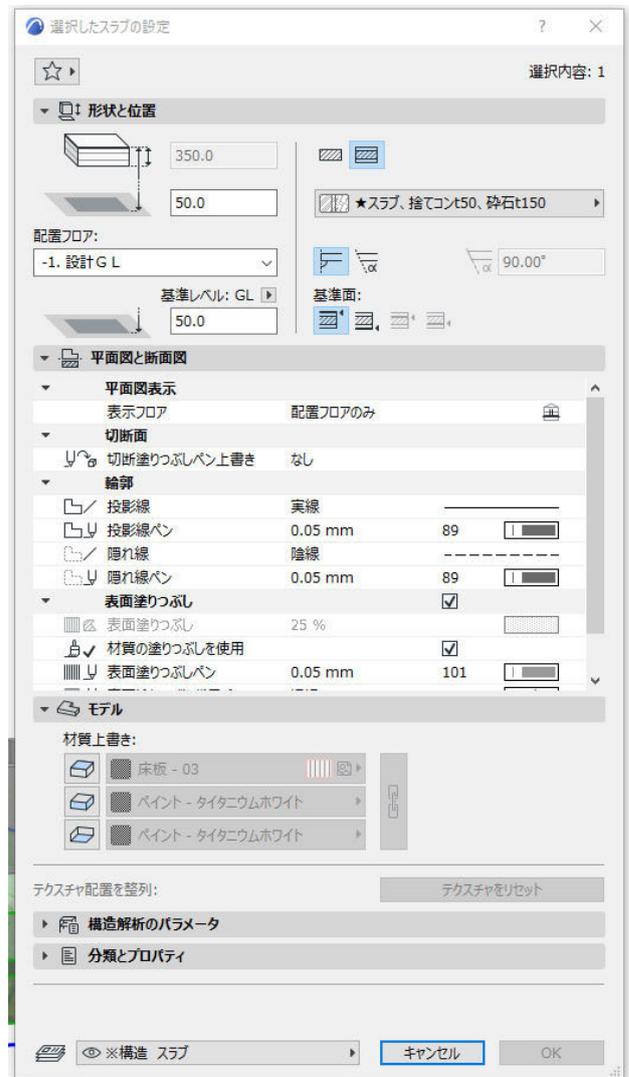
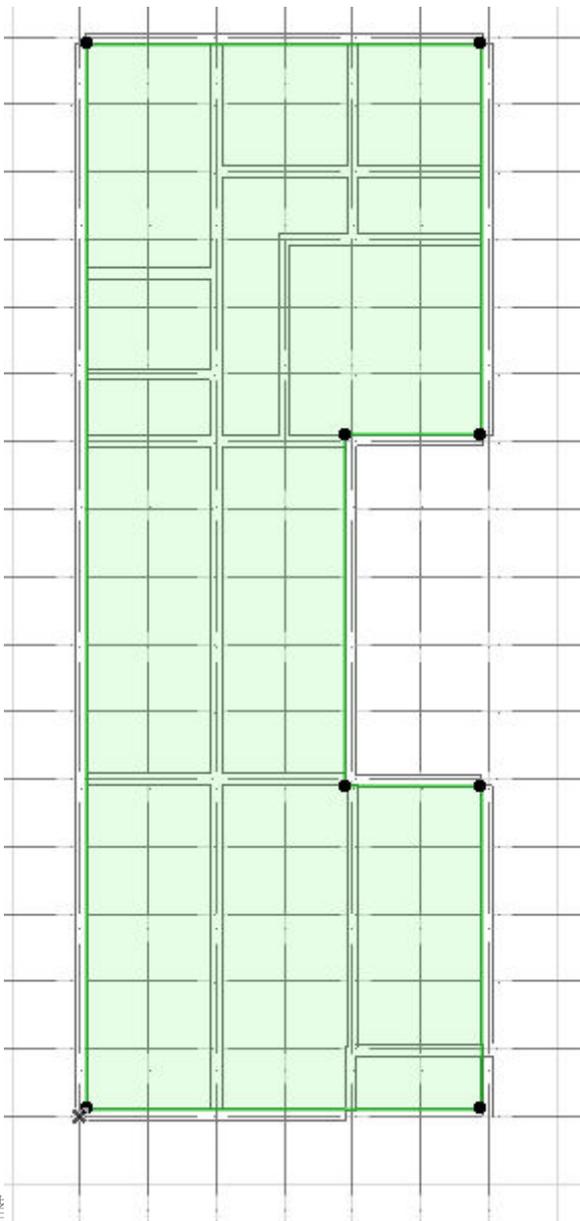
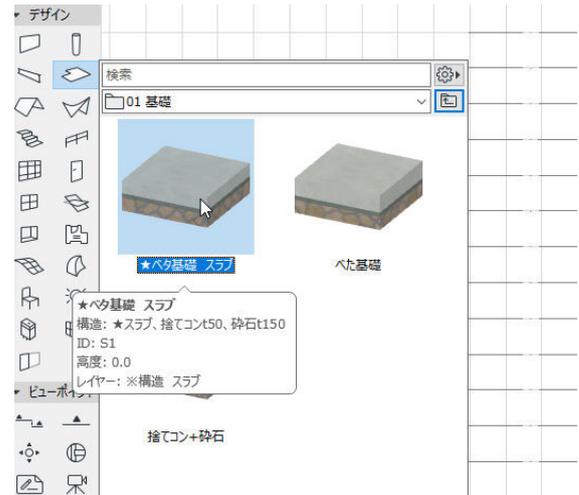
内部の基礎立ち上がりの設定に変更します。

- ① 配置フロア -1.設計GL (現在) より 50 あがりに設定します。



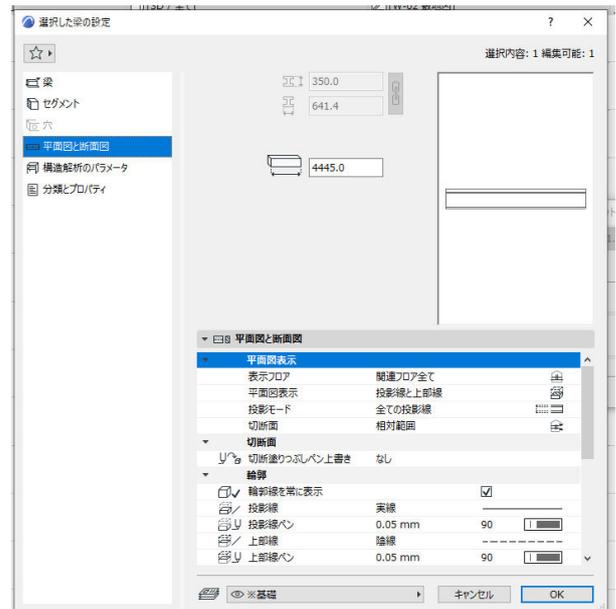
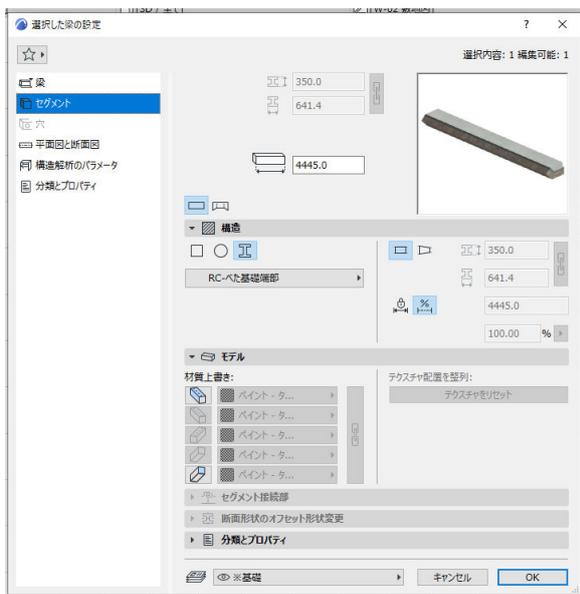
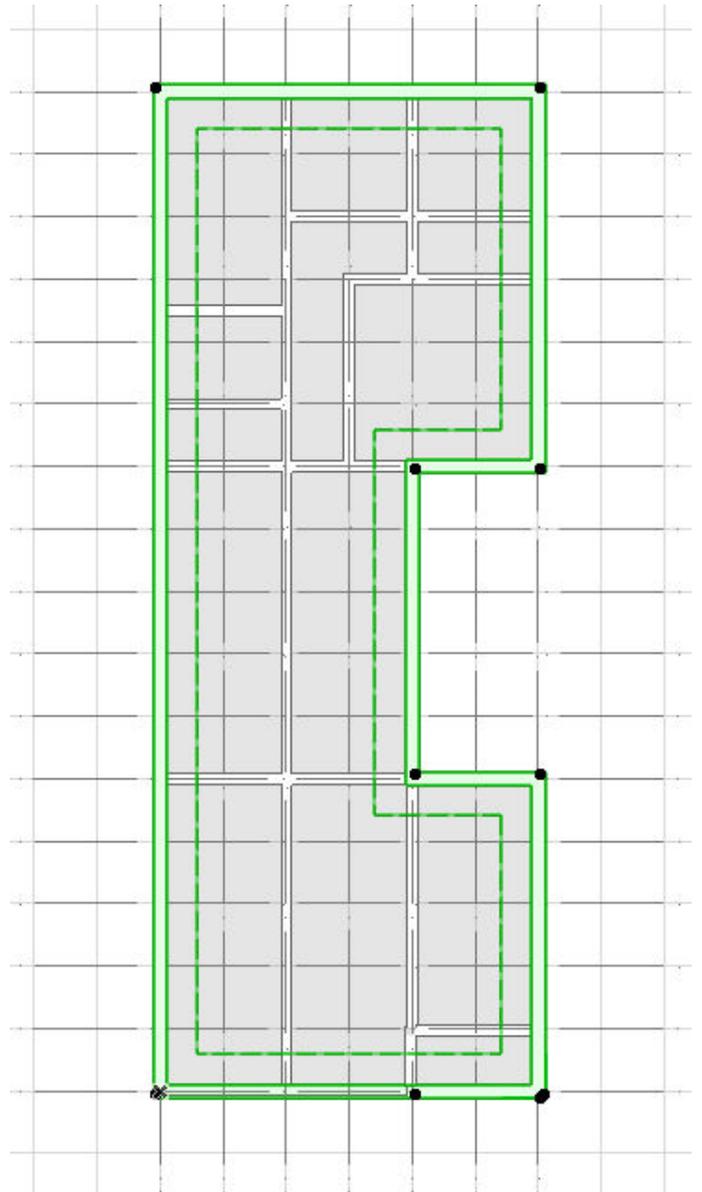
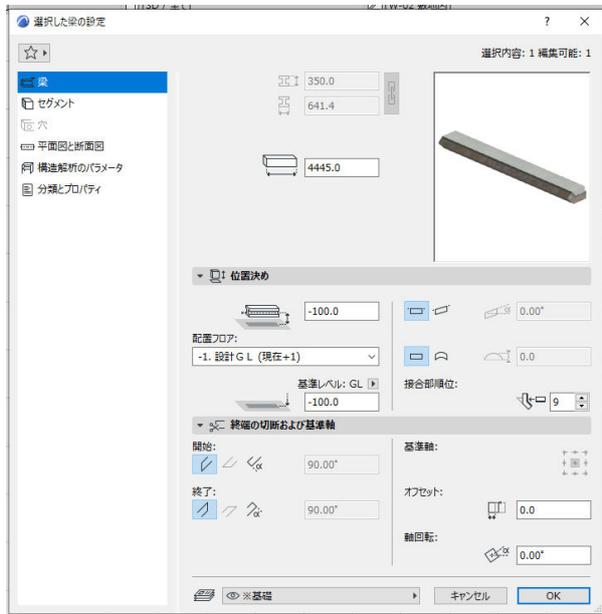
■基礎スラブの入力

- ① ツールボックスの「スラブ」の右側 ▶ をクリックし、お気に入りー「基礎」ー「★ベタ基礎スラブ」を選択します。
- ② 「図形作成法ポリゴン」を選択します。
- ③ 基礎立ち上がりの内側のコーナーでクリックして図示の部分にスラブを入力します。
- ④ 図のようにスラブを入力します。



■ハンチングの入力

- ① ツールボックスの「梁」の右側の▶をクリックし、お気に入り「基礎」－「★基礎ハンチング」を選択します。



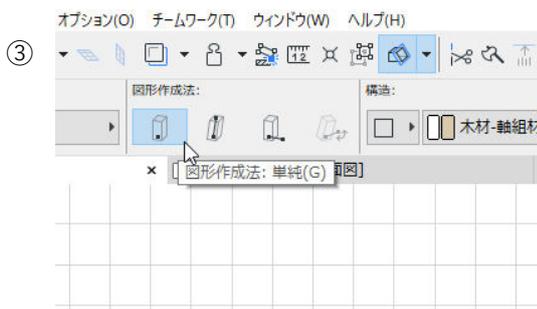
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.13.2. 柱の入力

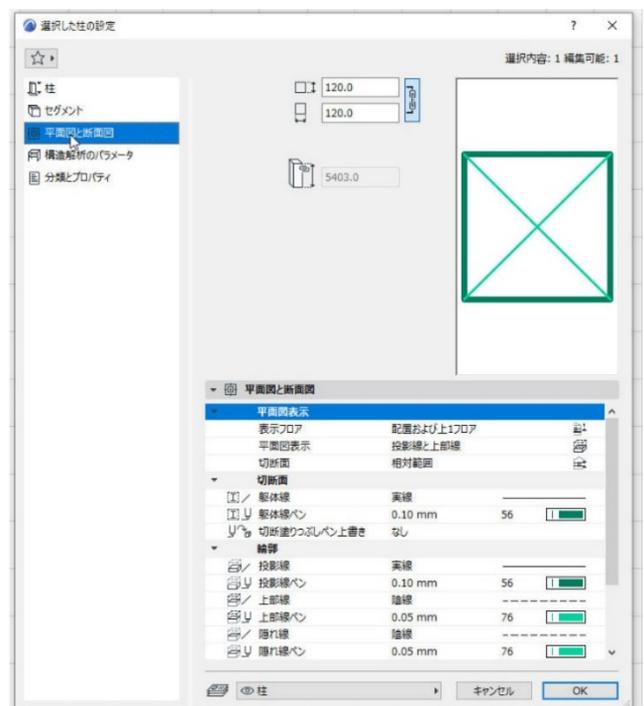
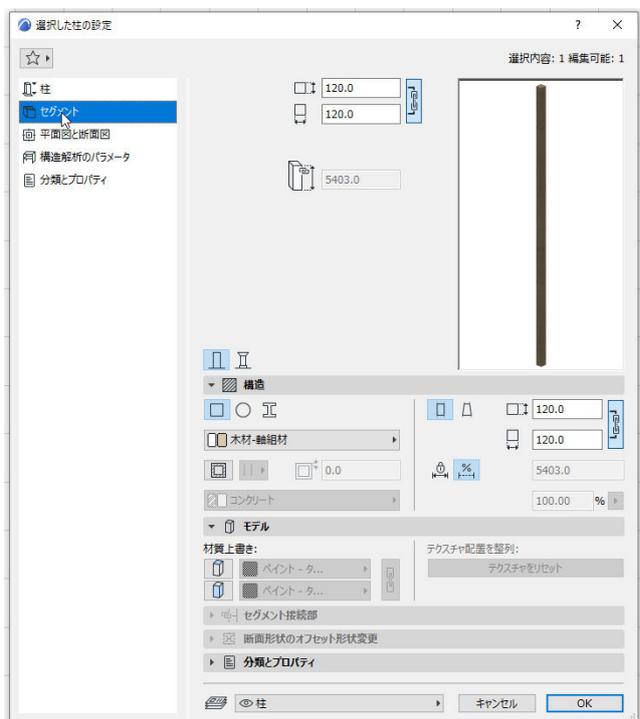
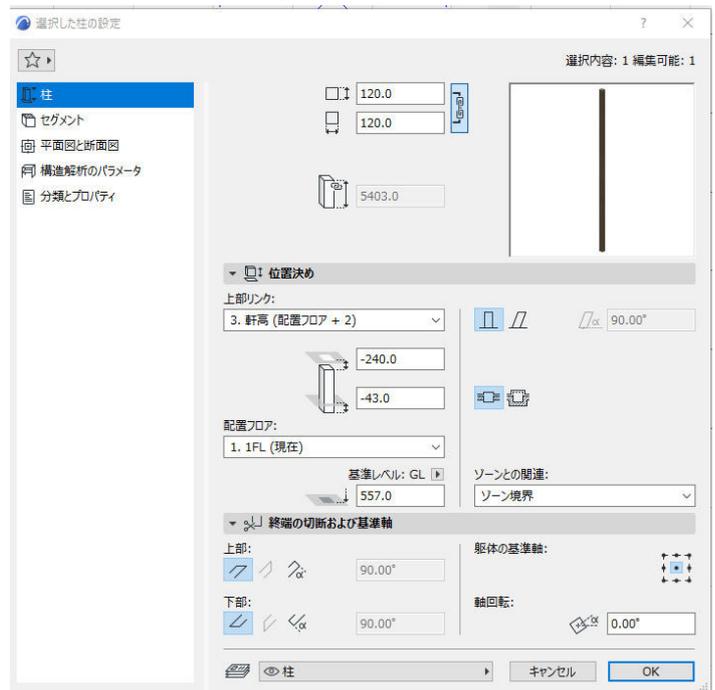
■ 通し柱の設定

① ツールボックスの「柱」の右側の▶をクリックし、お気に入りー「計画」ー「★柱 通し柱 120*-120」を選択します。

② 「図形作成法：単純」を選択します。P61 の図の赤丸の位置に入力します。



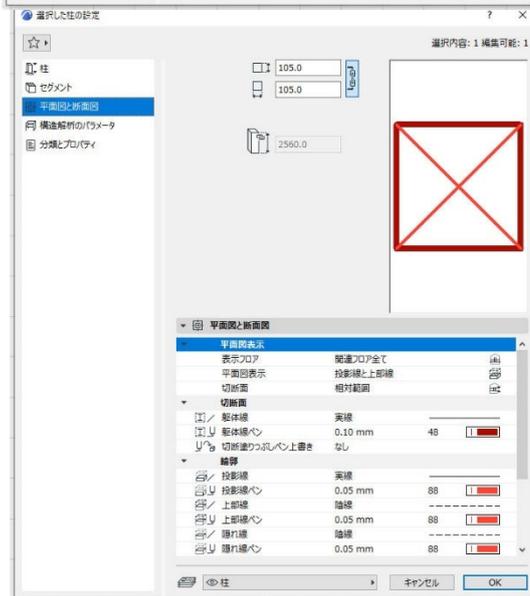
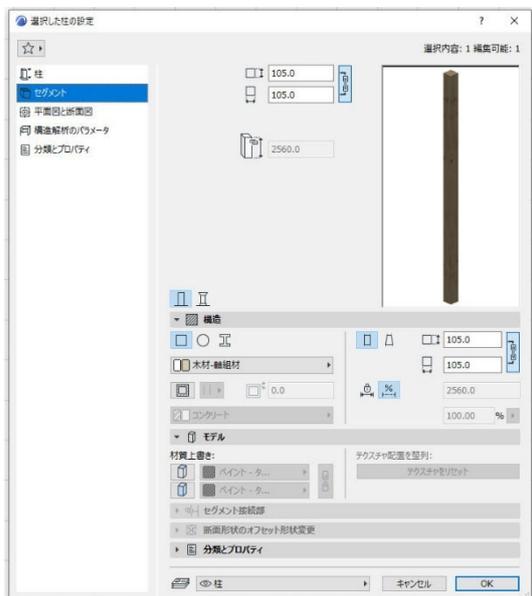
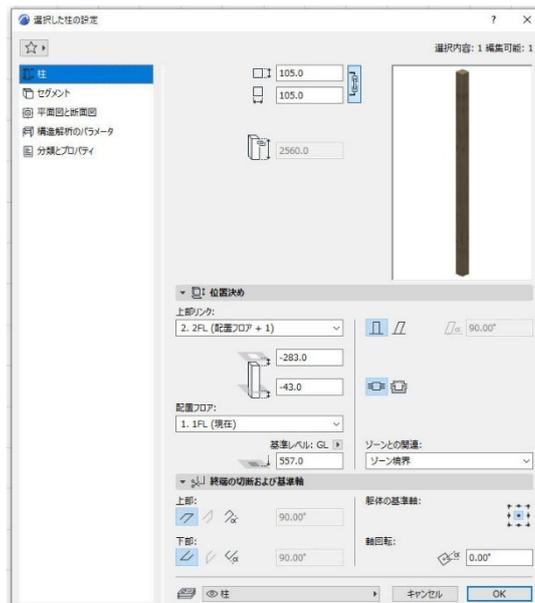
に、柱の設定を確認します。



■ 1階管柱の設定

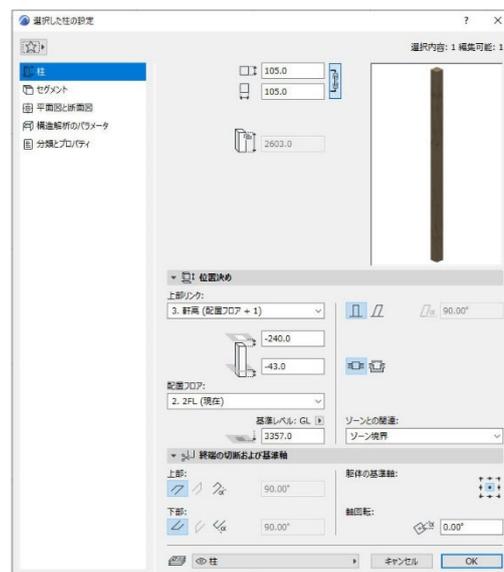
- ① ツールボックスの「柱」の右側「▶」をクリックし、お気に入りー「計画」ー「★柱 □管柱 105*-105」を選択します。
- ② 「図形作成法：単純」を選択します。
- ③ 図の赤の柱の位置に入力します。
- ④ 1階の管柱は図の設定を参考に設定を確認します。

※16 17通りの柱の天端のオフセットは「-443」とします。



■ 2階管柱の設定

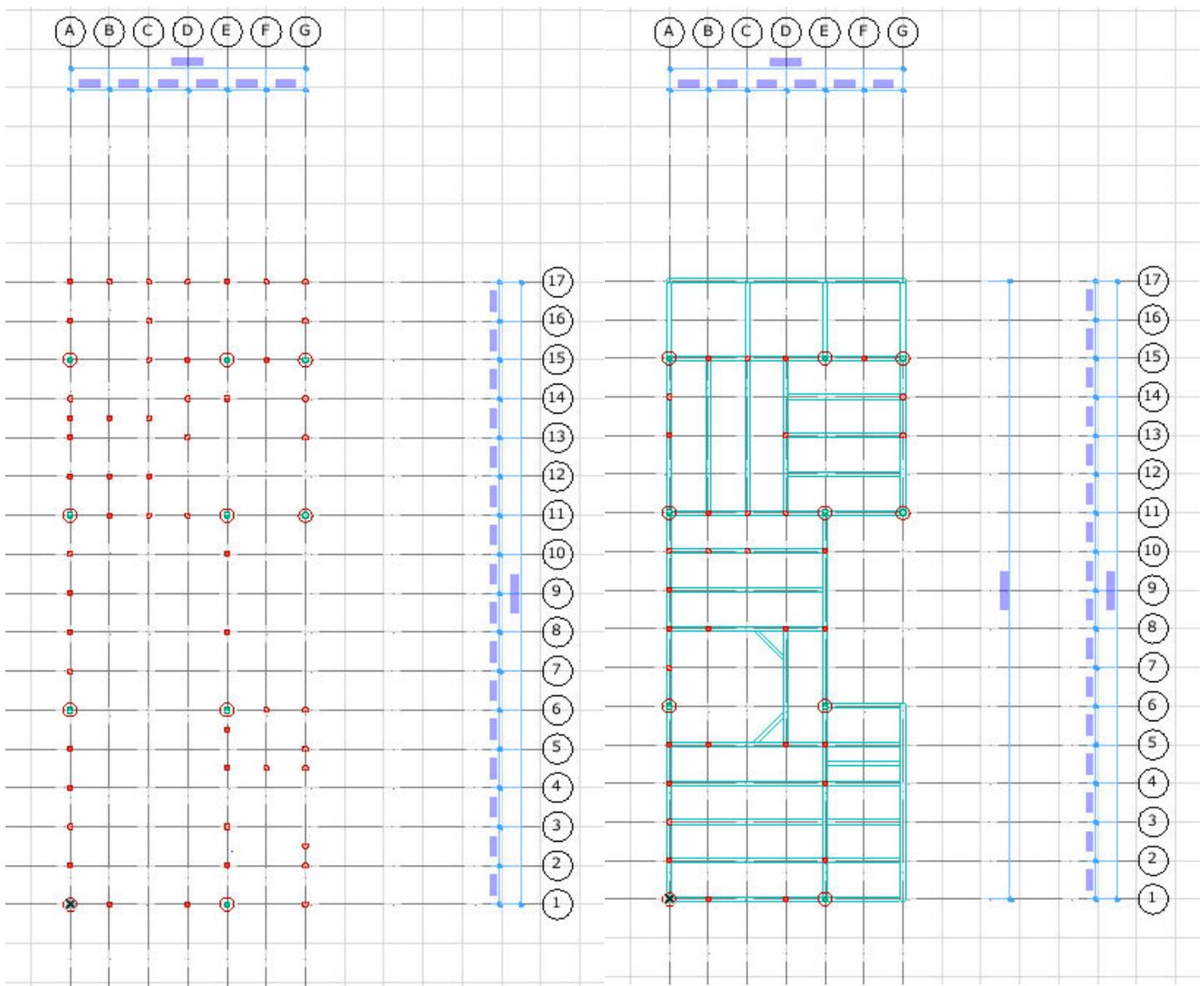
- ① ツールボックスの「柱」の右側の▶をクリックし、お気に入りー「計画」ー「★柱 □管柱 105*-105」を選択します。
- ② 2階の管柱は図の設定を参考に設定を確認します。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

■ 通し柱・1階管柱・2階管柱の入力

- ① グリッドスナップをオンにして、図の位置に柱を配置します。
- ② 通し柱は赤丸位置に入力します。
- ③ 柱入力位置でクリックをします。



3.13.3. 梁の入力

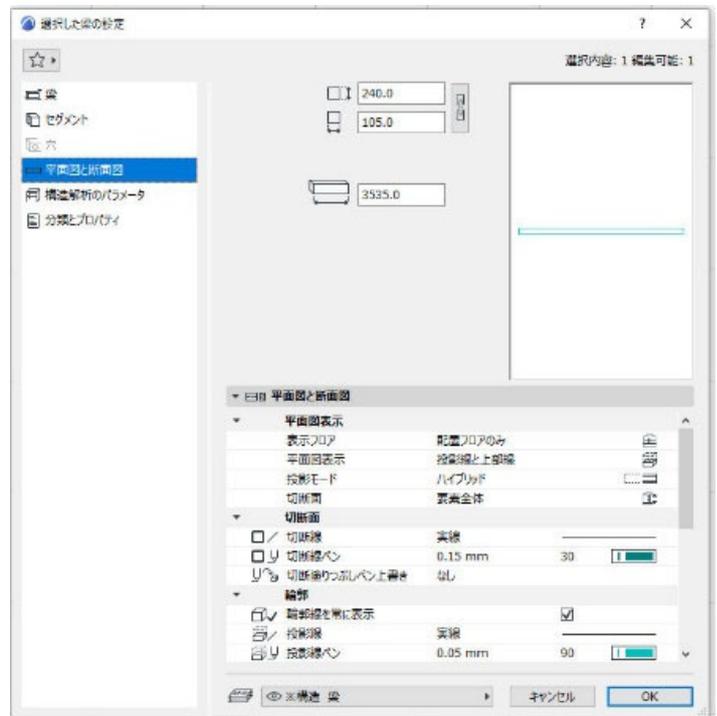
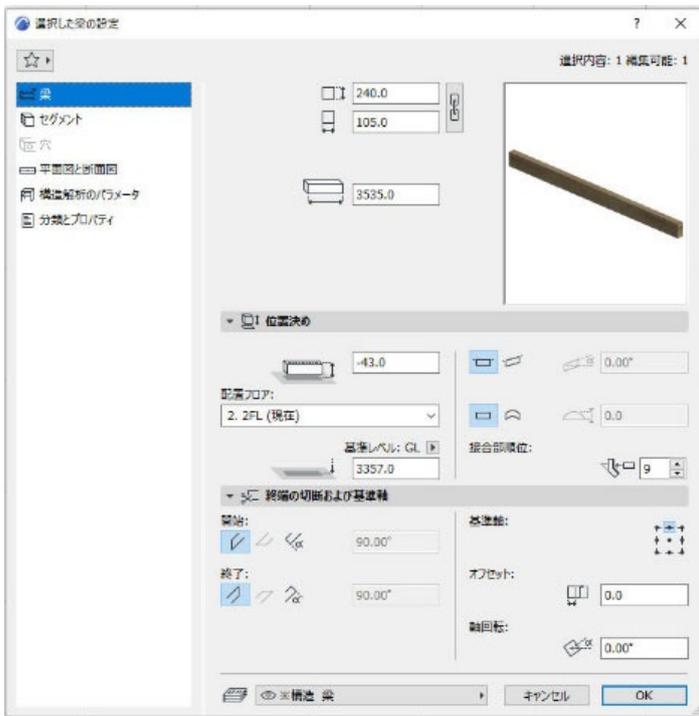
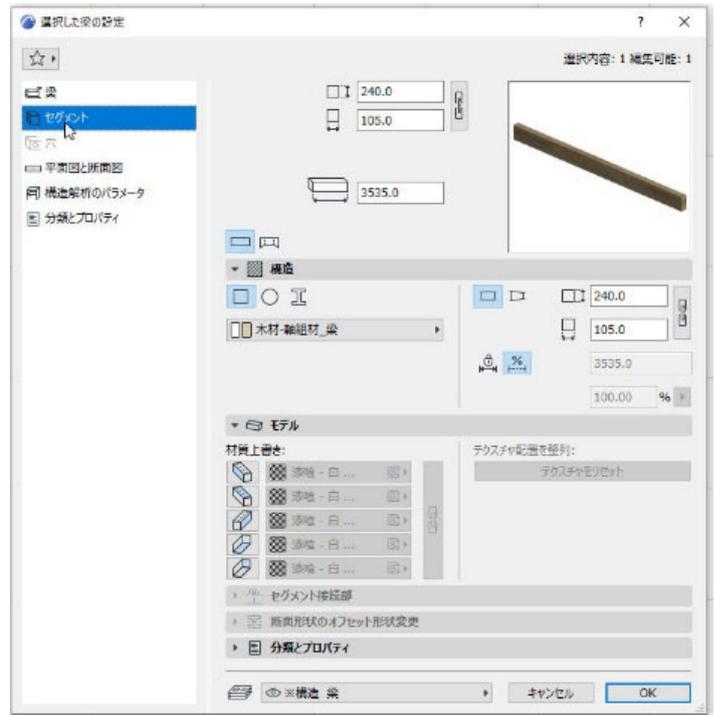
■ 梁の設定

- ① ツールボックスの梁ツールをダブルクリックして、設定を開きます。
- ② 図のように2階床梁、小屋梁の設定をそれぞれ確認します。

□ 2階床梁の設定

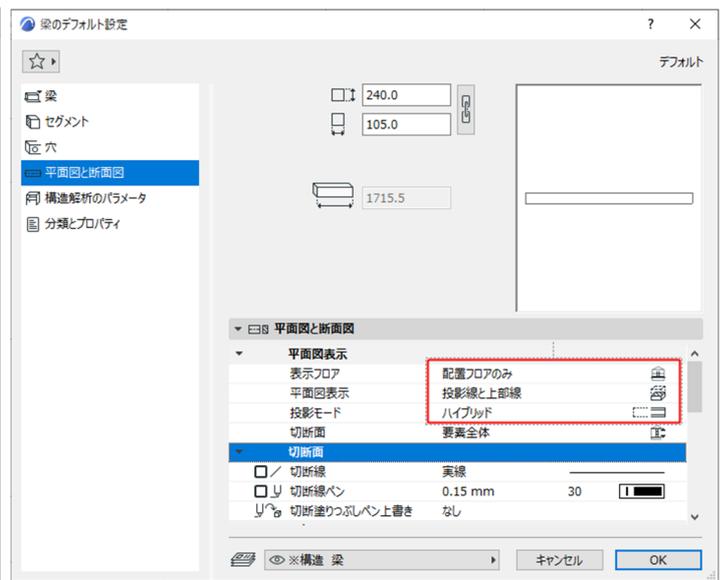
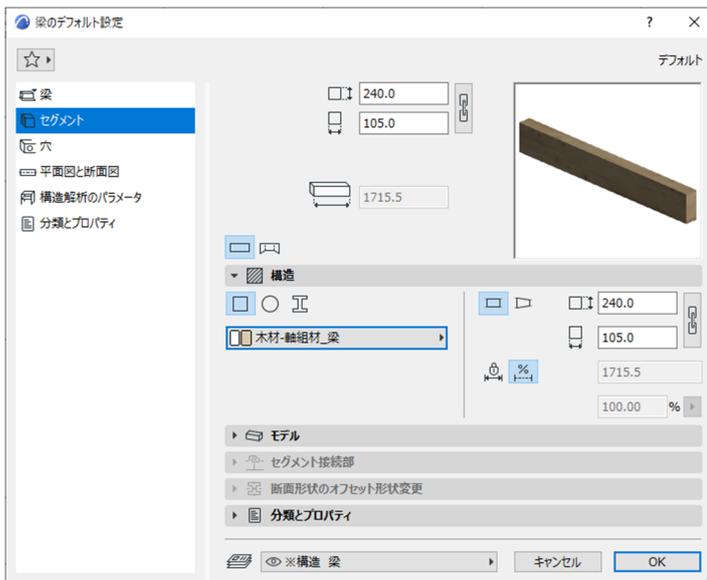
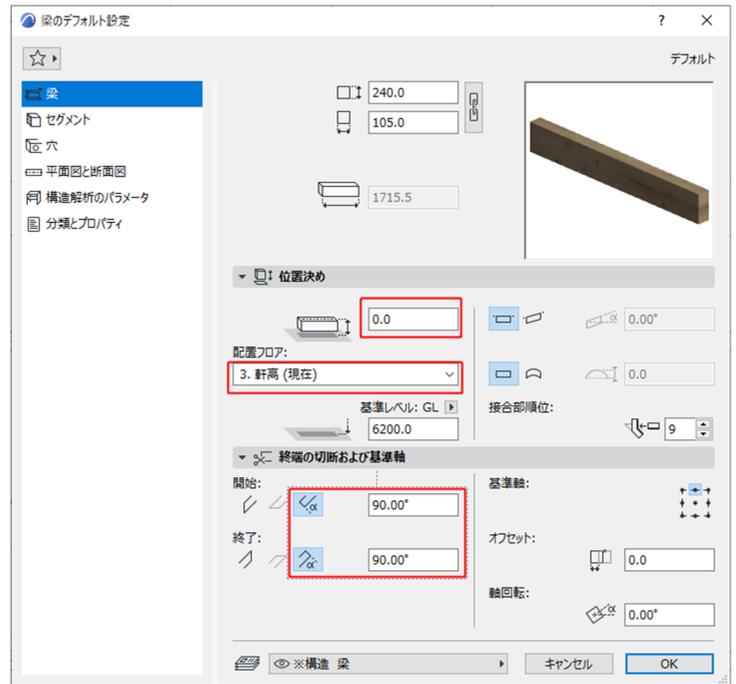
- 位置（高さ） 2階床 -43
- 終端の切断 90°
- 表示フロア 配置フロアのみ
- 平面図表示 投影線と上部線
- 投影モード ハイブリッド

※1 下屋根の梁の天端のオフセットは「-200」とします



□ 小屋梁の設定

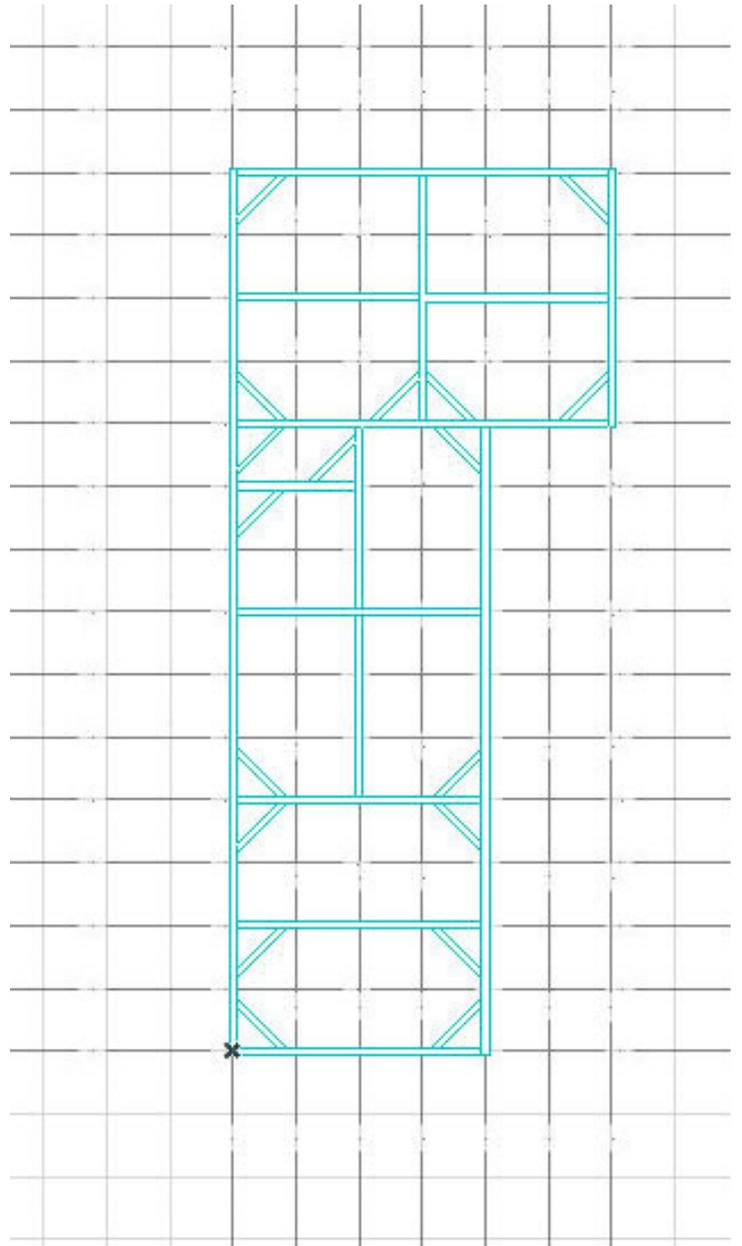
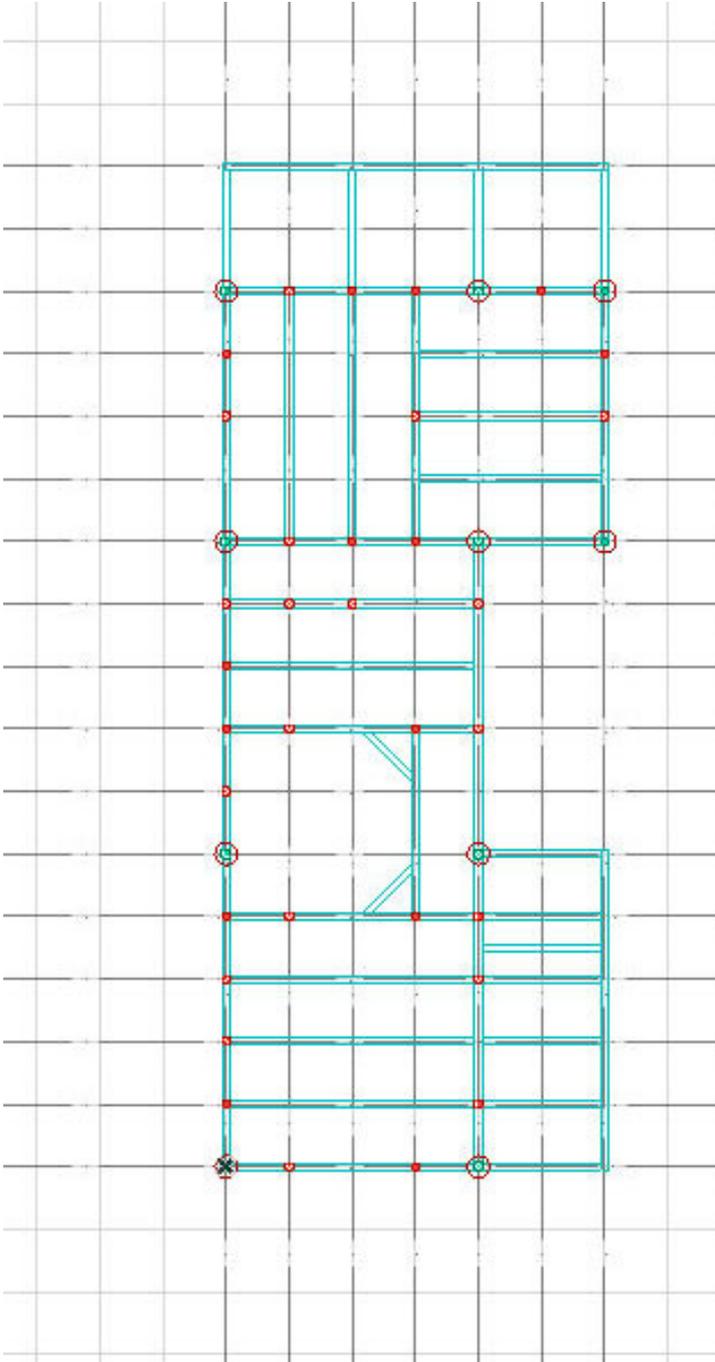
- 位置 (高さ) 軒高 0
- 終端の切断 90°
- 表示フロア 配置フロアのみ
- 平面図表示 投影線と上部線
- 投影モード ハイブリッド



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

□2階床 小屋梁 の 入力

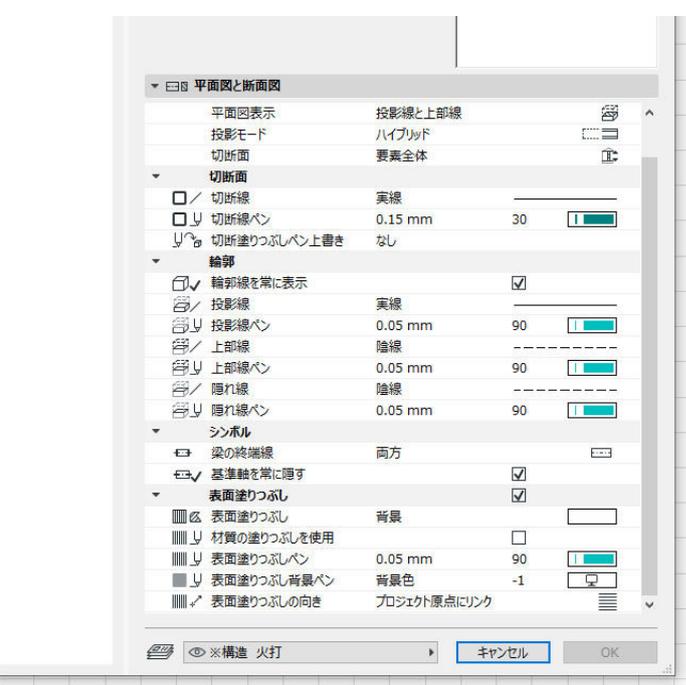
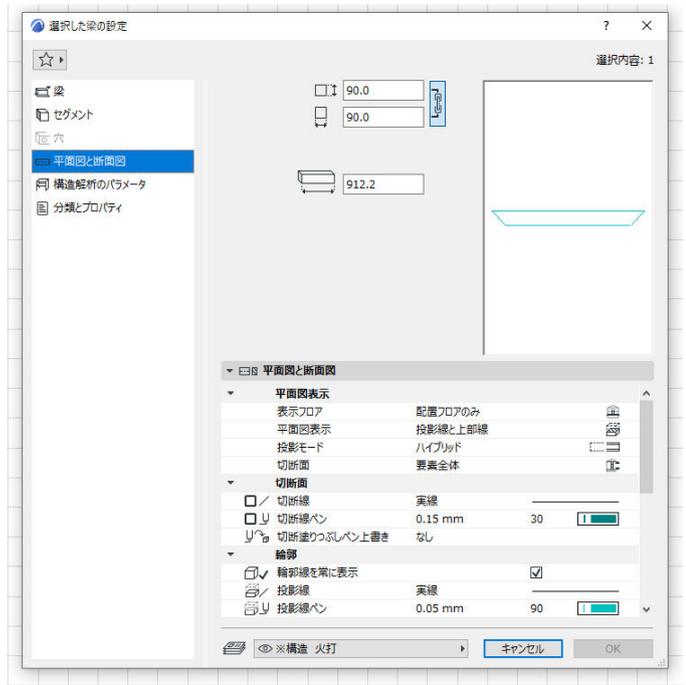
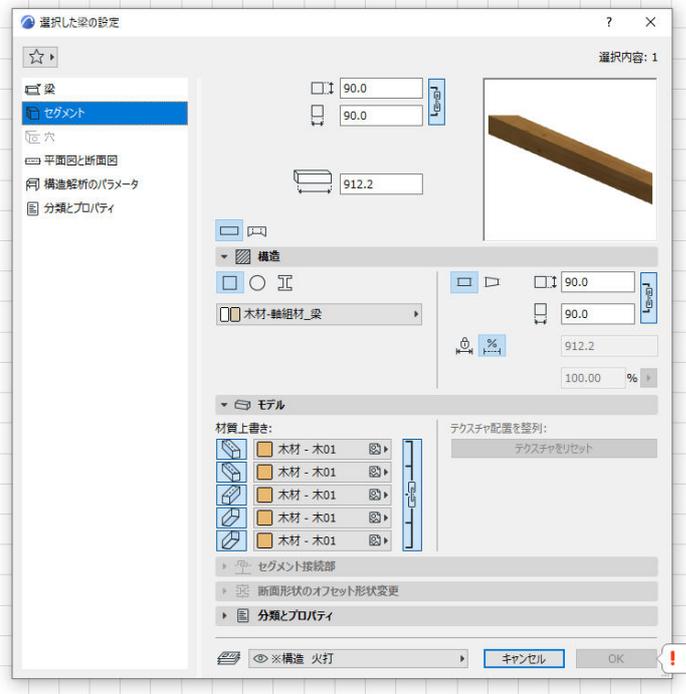
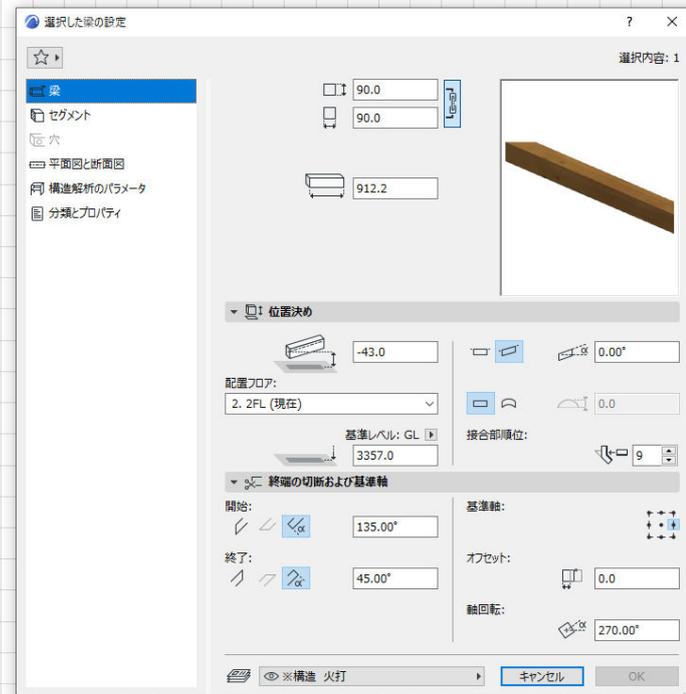
- ① 下記図面を参考に入力する箇所を最初と最後でクリックをして入力します。
- ② 図形作成法は 単一



3.13.4. 火打ちの入力

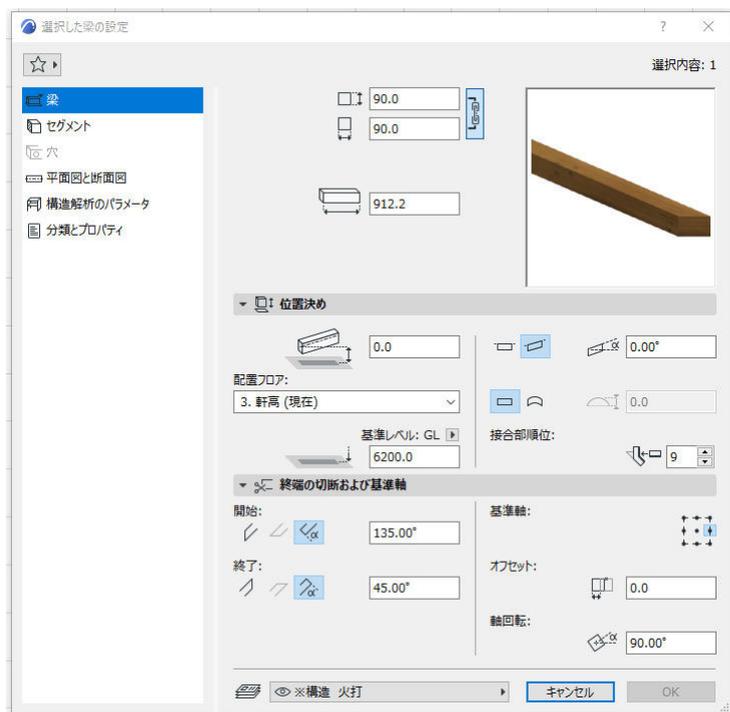
火打ちの設定

・ 2 階床火打ちの設定は下記を参照



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

・小屋組火打ちの設定は下記を参照

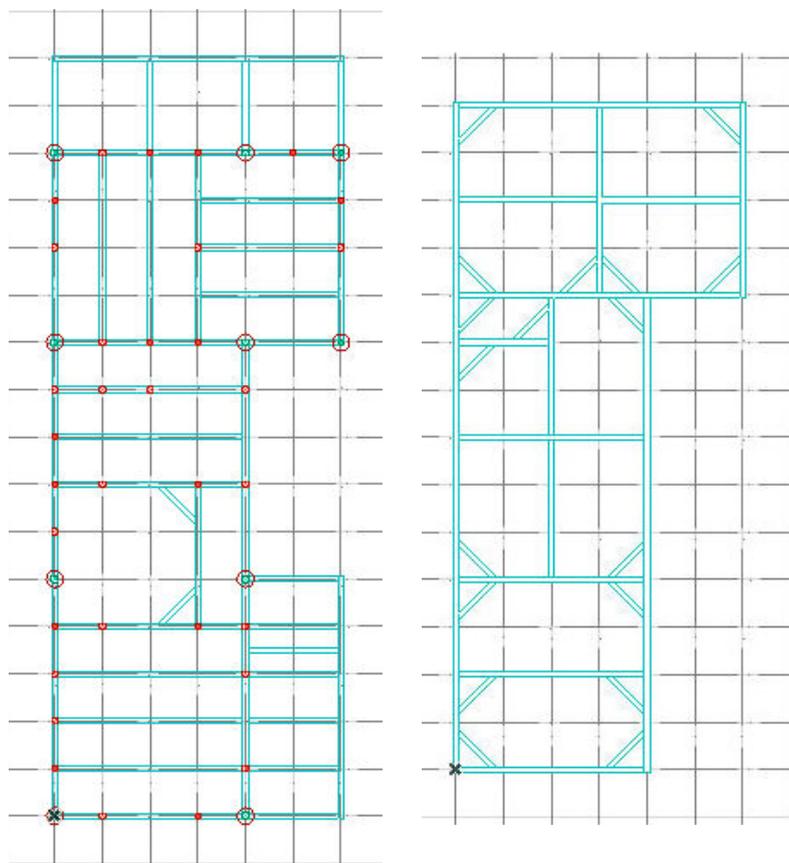


□火打ちの入力

下記図面を参考に火打ちを入力します。

グリッドスナップをオンにして入力します。

入力するはじめと終わりにクリックします。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

4. レイアウト

4.1. ビューの設定、登録

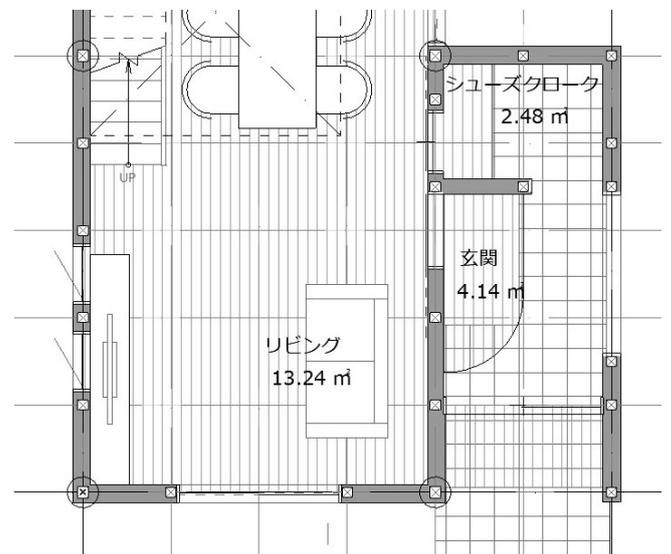
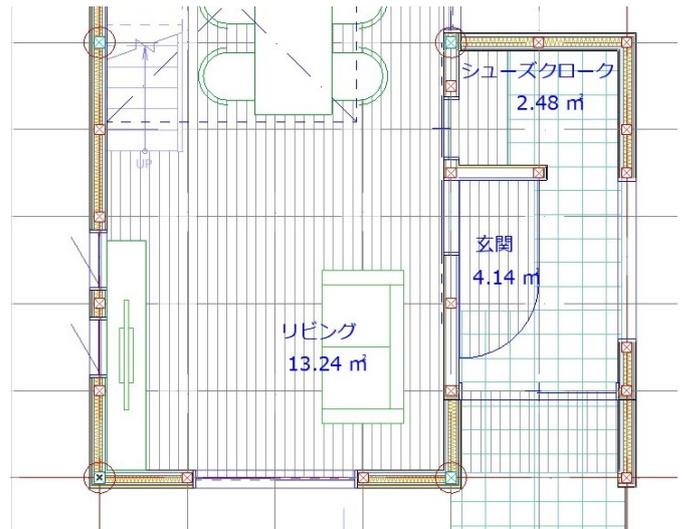
(設定はデフォルトテンプレートでのビューの調整)

ビューとは、クリックするだけで、保存したビュー設定の状態を開くことができ、レイアウトブックに図面として配置することができます。ビュー設定によって、ひとつのビューポイント（平面図など）から、カラー平面図や平面図、平面詳細図、構造図、設備図等、何通りものビューを保存することが可能です。

4.1.1. 平面図ビューの設定

次のようにビューを設定してみましょう。

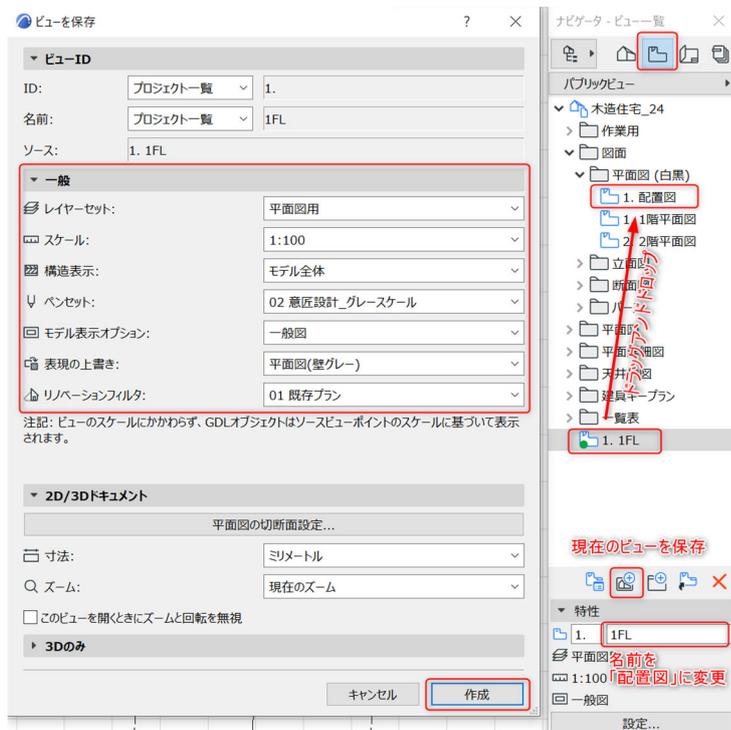
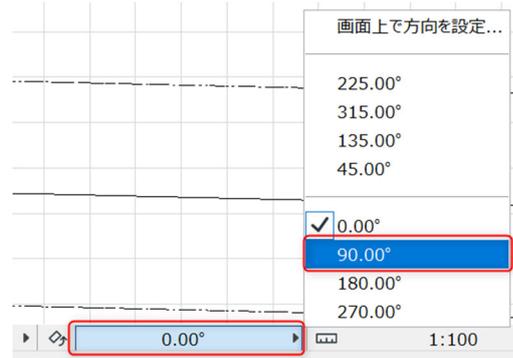
- ① [ポップアップナビゲータ]→[ビュー一覧]→[平面図]→[1階平面図]ビューを開きます。
- ② 「クイックオプションバー」を次のように設定します。
 - ・レイヤセット：『平面図用』
 - ・ペンセット：「意匠設計_グレースケール」
 - ・モデル表示オプション：「一般図」
 - ・表現の上書き：「ゾーンカラー無し」
- ③ [フロアタブ]を右クリック→[現在の設定で再定義]を選択します。サンプルの内容が上書き更新されます。
- ④ 同様の手順で[2階平面図]も変更しましょう。



4.1.2. 配置図ビューの登録

配置図のビュー登録をします。敷地を図面枠に収めるため、90° 回転させます。

- ① クイックオプションバーの「方向 0.00°」をクリック
- ② 「90°」を選択
- ③ 平面図が90° 回転し、寸法や文字も回転されます。
- ④ ナビゲーターの「ビュー一覧」を選択
- ⑤ 「現在のビューを保存」をクリック
- ⑥ レイヤセットを「平面図用」
スケールを「1:100」
構造表示を「モデル全体」
ペンセットを「02 意匠設計_グレー
スケール」
モデル表示オプションを「一般図」
表現の上書きを「平面図(壁グレー)」
「作成」をクリックし、登録します。
ここで登録した設定は、「ビューの設定」を開き、必要に応じて変更することが出来ます。
- ⑦ 新しく登録されたビューができました。このビューを選択した状態で、「1FL」を『配置図』に変更
- ⑧ これを「図面」フォルダ内の「平面図」フォルダにドラッグアンドドロップします。

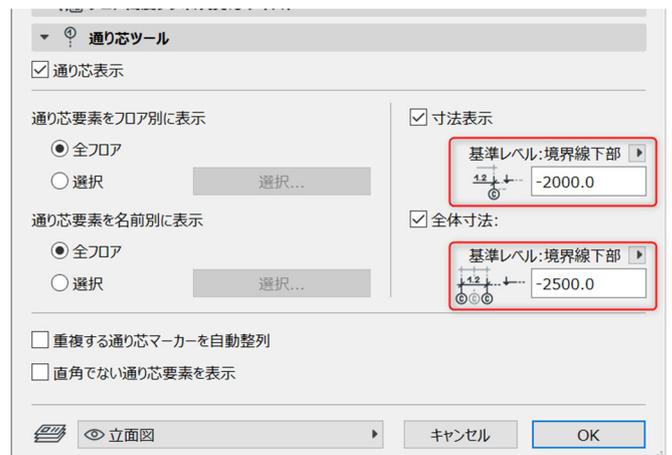
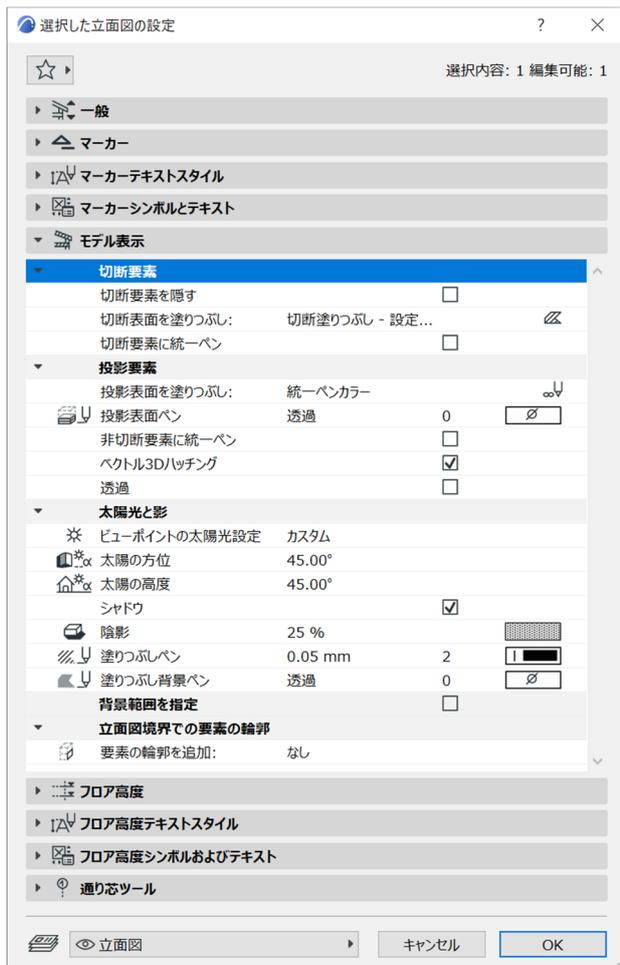
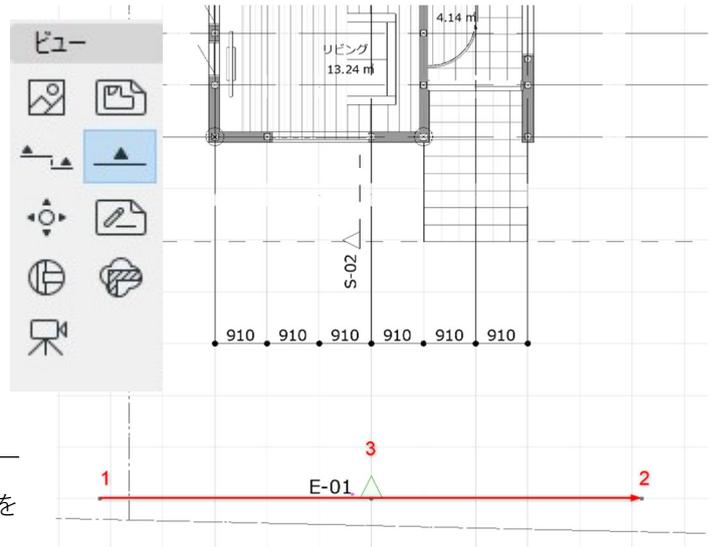


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

4.1.3. 立面図ビューの設定

立面図ツールを使い、立面図を作成し、ビューを登録します。

- ① ツールボックスから「立面図ツール」を選択します。
- ② 平面図上で立面図を作成する範囲をクリックし、向きをクリックし立面図を作成します。
- ③ [ポップアップナビゲータ]→[プロジェクト一覧]→[立面図]→[E-01 (自動作成モデル)]をダブルクリックして開きます。
- ④ [立面図 (E-01) タブ]を右クリック、「ビューとして保存」をクリックします。

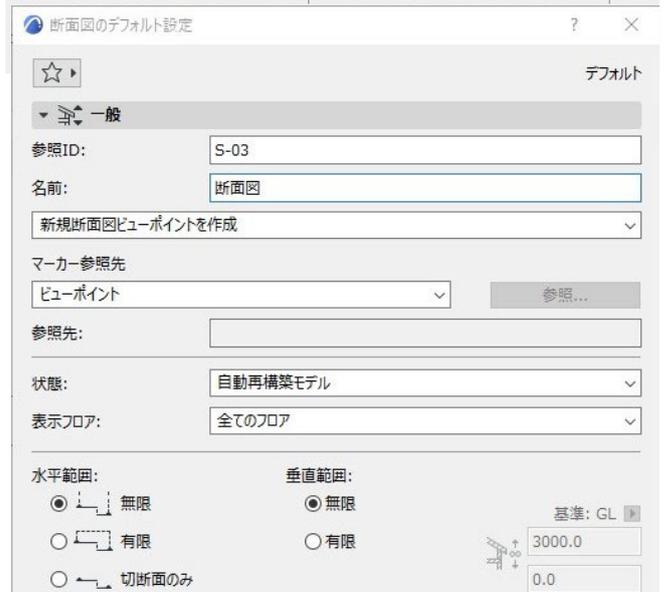
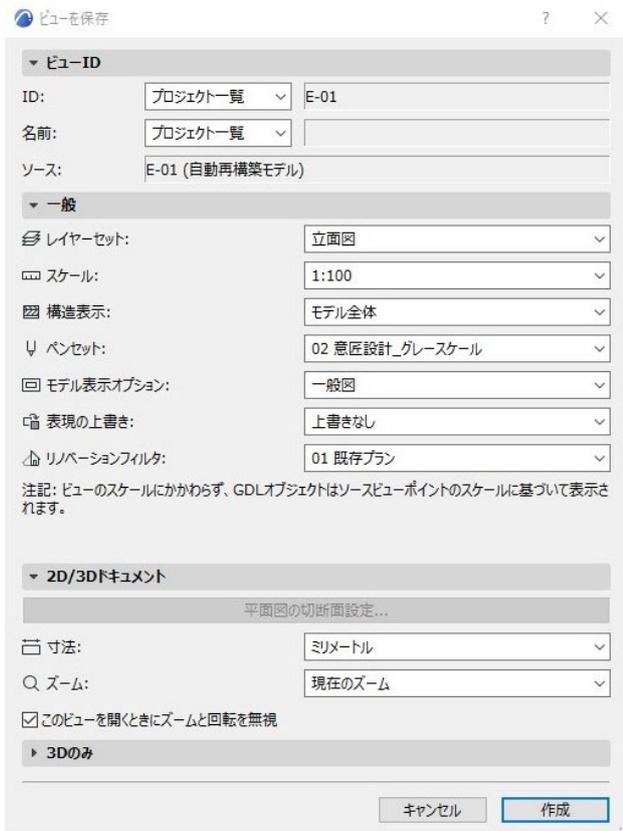
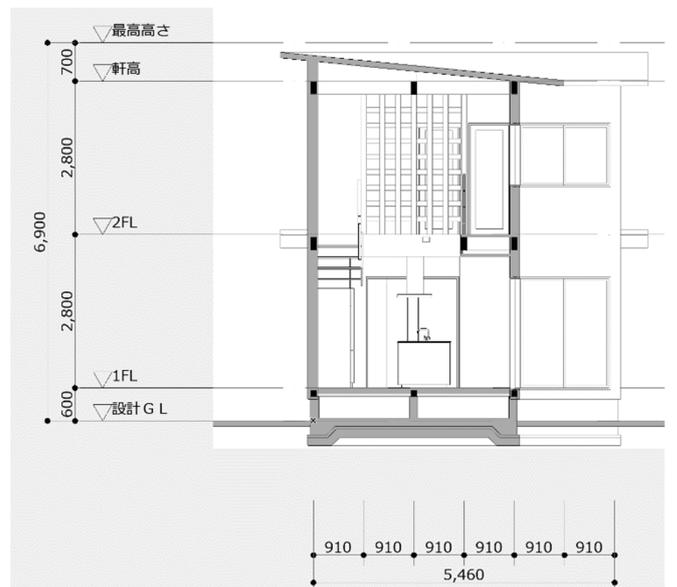
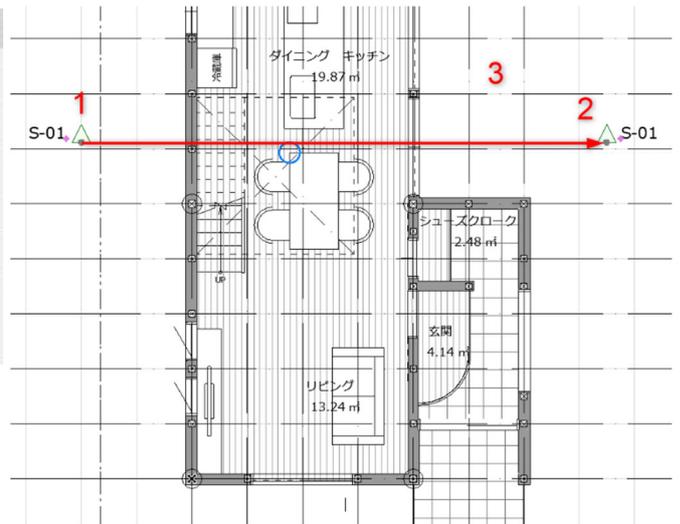
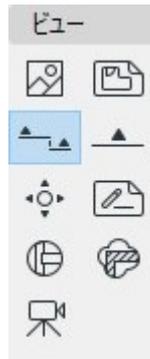


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

4.1.4. 断面図ビューの設定

断面図ツールを使い、断面図を作成し、ビューを登録します。

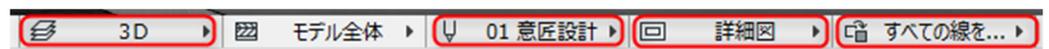
- ⑫ ツールボックスから「断面図ツール」を選択します。
- ⑬ 図の位置で、断面線を入力し、見る方向を指示します。
- ⑭ [ポップアップナビゲータ]→[プロジェクト一覧]→[断面図]→[S 1 (自動作成モデル)]をダブルクリックして開きます。
- ⑮ [断面図 (S 1) タブ]を右クリック、「ビューとして保存」をクリックします。
- ⑯ 「名前」をカスタムに変更し、『断面図』と名前をつけ、[作成]をクリックします。



4.1.5. パースビューの登録

3Dをビューに登録します。よく見るシーンをビュー登録することで、すばやく3Dを確認したり、日時を設定し、日陰のシミュレーションを行うこともできます。

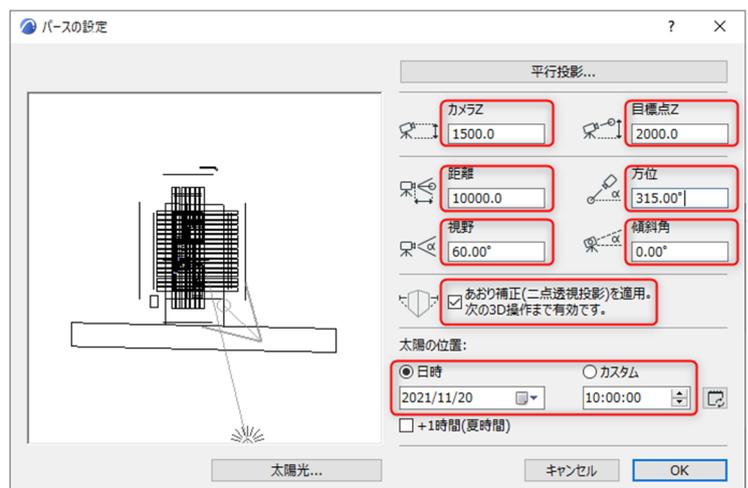
- ② [3Dタブ]をクリックし、3Dを開きます。
- ③ クイックオプションバーを次のように設定します。
 - ・レイヤーセット：3D
 - ・モデル表示オプション：詳細図
 - ・表現の上書き：すべての線を黒に



- ② アングルを調整し、ウインドウ上で右クリック→[3D投影の設定]を開く
目線の高さ[カメラZ]を「1500」
目標の高さ[目標点Z]を「2000」
目標までの[距離]を「10000」
目を向ける[方位]を「315°」
画角を調整[視野]を「60°」
傾きを調整[傾斜角]を「0°」
[あおり補正（二点透視投影）を適用]にチェックを入れます。

「太陽の位置」を『2021/11/20
10:00:00』

- ④ [3Dタブ]を右クリック→[ビューとして保存]をクリックします。
- ⑤ 「名前」を[カスタム]に変更し、「外観」と名前をつけます。



4.1.6. レンダリング

レンダリングとは、上記で設定したパースを写真のような画像を作成することです。

注意：ここで解説をするレンダリングでは「Cineware by MAXON」というレンダリングエンジンを使用しています。これは Archicad Solo という製品には含まれておりませんのでご注意ください。体験版は Full 版となっておりますので、ご体験いただけます。

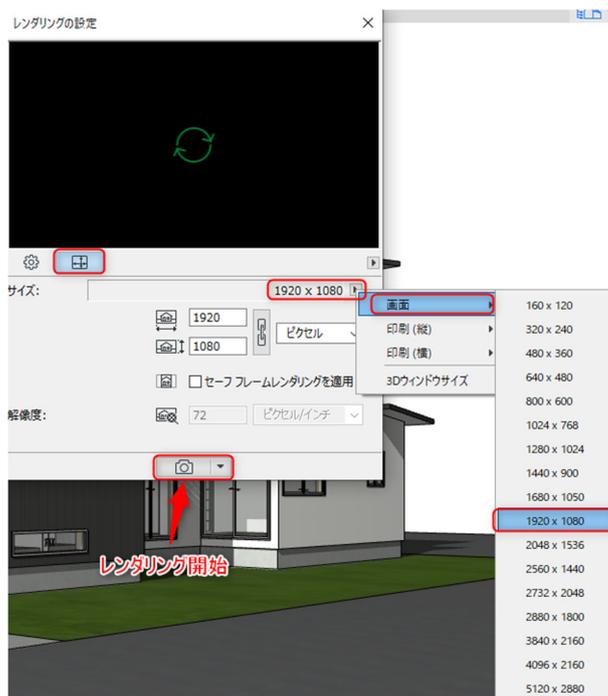
- ① [ドキュメント]→[レンダリング]
→ [レンダリング設定]を開きます。
- ② レンダリングパレットの[シーン]をクリックし、「アウトドア 晴れ 速度優先」を選択します。

TIPS：レンダリングの[シーン]

Archicad では、レンダリングの設定を、[シーン]として登録をして置き、ワンクリックで利用することができます。

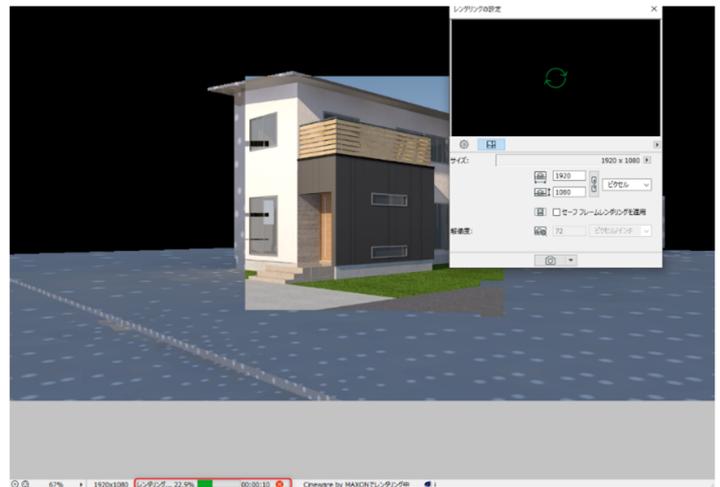
Cineware 自体は詳細の設定をすることでクオリティを上げることができますが、設計業務の中で、ある程度簡単に見栄えの良いものを作成する場合に、きれいにできる設定を登録しておけば、レンダリング設定にかける時間を極力少なくすることができます。

- ③ レンダリング設定パレットの[サイズ]をクリックし、[1920x1080]を選択します。
※このサイズを大きくすると解像度が高い画像が作成されますが、計算時間がかかります。

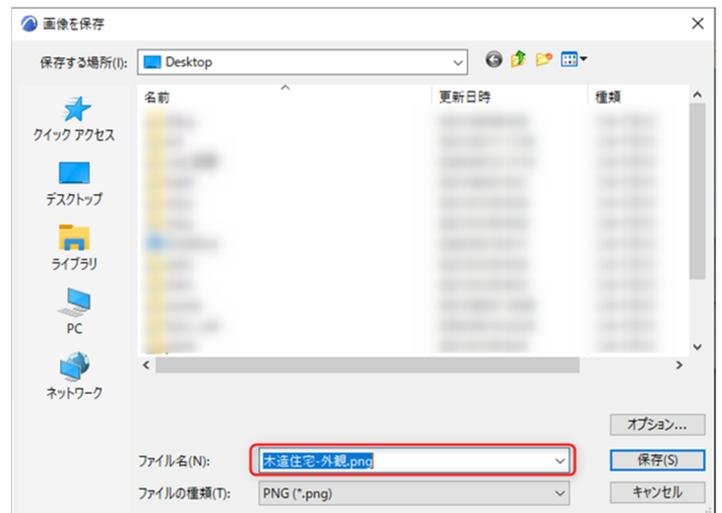


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

[レンダリング開始]をクリックするとレンダリングが始まります。下にレンダリング状況と時間が表示されます。



- ④ レンダリングが完了すると画像が作成されます。画面上で右クリックをし、[名前を付けて保存]を選択し、「木造住宅-外観.png」と名前をつけて保存します。

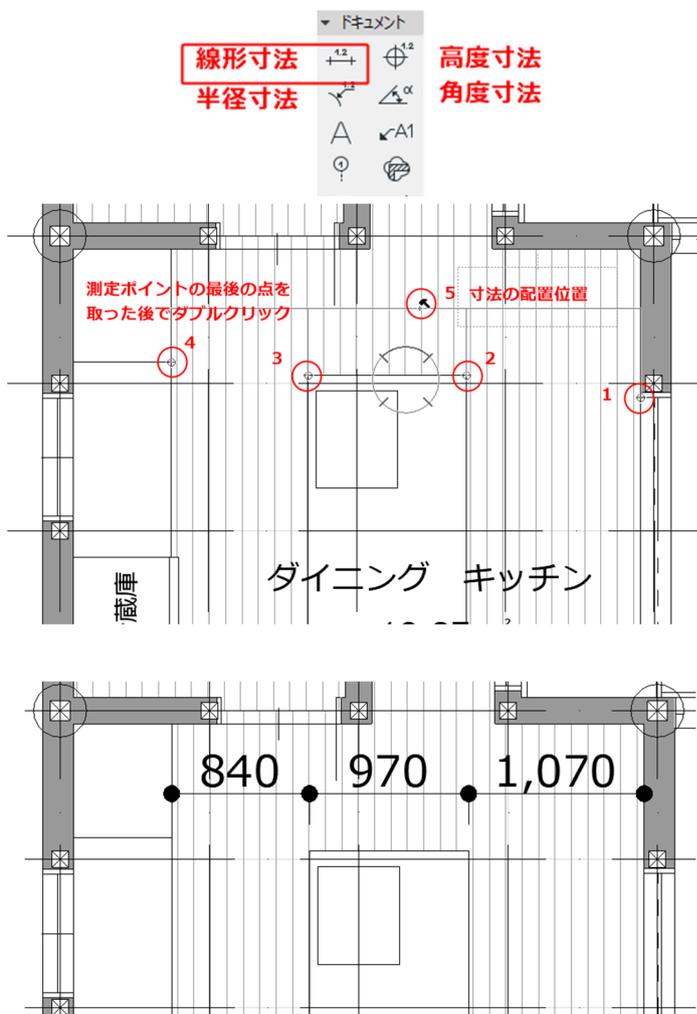


4.2. 図面の書き込み

モデルができ、必要な図面のビューを登録したら、その図面に必要な寸法や書き込みを行います。寸法だけでなく、書き込みの文字についても、モデルに紐づいた情報を指定することで 2 DCAD のように、変更毎に変更箇所を開いて修正する手間を極力なくすることができます。今回は、寸法と引き出し線付きの書き込みをご紹介します。

4.2.1. 寸法の記入

- ① ツールボックスのドキュメントグループから、[寸法ツール]をダブルクリックして、寸法を記入してみましょう。
- ② 寸法を取りたいポイント（端点や交点）をクリックすると○印が表示されます。測定ポイントをクリックしていき、最後のポイントの後で、ダブルクリックします。
- ③ トンカチのアイコンに代わるので、寸法値を表示したい場所でクリックします。

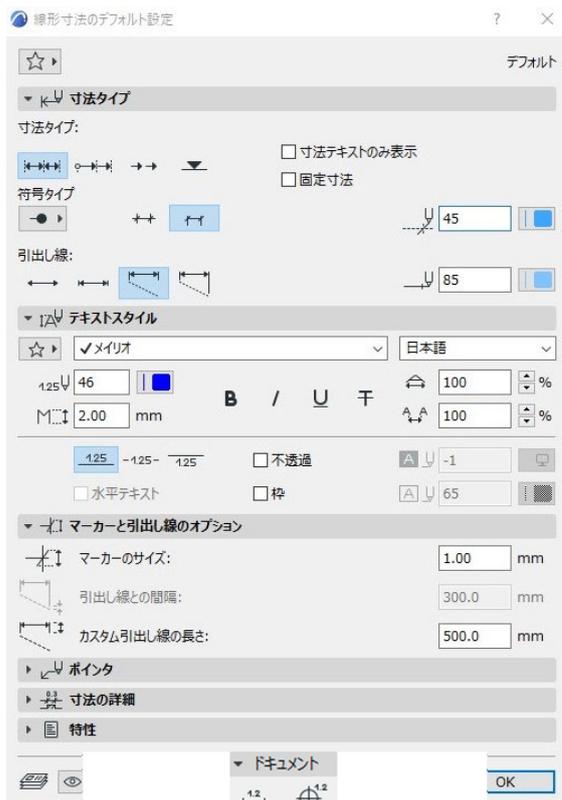


TIPS : 測定ポイント

要素が反応する端点や交点などでクリックすると○印、任意の点（交点であっても、図形とリンクしない場合）の場合は□印が表示され、同じように寸法は表示されるが、図形に追従しません。○印は連携する図形を変更すると寸法も追従します。

④ 寸法線の長さや表示方法、文字などは[線形寸法ツール]をダブルクリックし、設定ダイアログから変更ができます。

★詳しくは
[「GRAPHISOFT Help Center」](#)
[「線形寸法」](#)にて詳しく紹介しています。

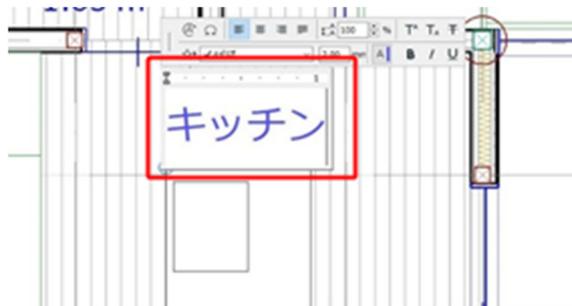


テキスト A ←A1 ラベル

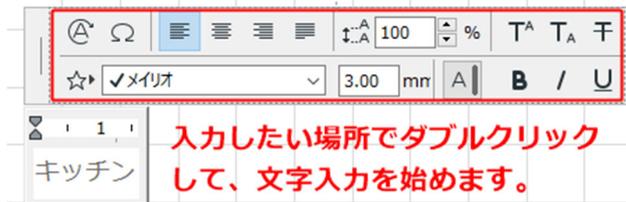
4.2.2. 注釈の記入

文字入力の方法は内容によって複数ありますが、ここでは、[テキストツール]と[ラベルツール]を紹介しましょう。

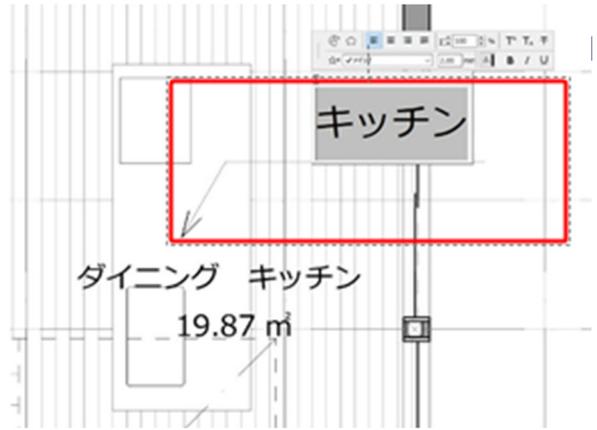
① ツールボックスから[テキストツール]をダブルクリックし、任意の場所でクリックして文字を入力します。



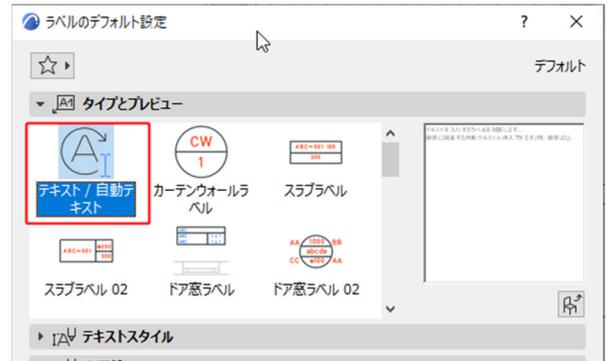
② 文字パレットでフォントや文字サイズ、配置基準位置など調整できます。



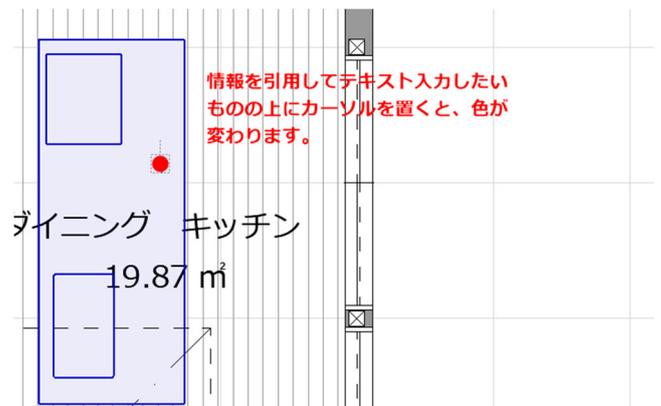
- ③ 引き出し文字は[ラベルツール]を使用します。
- ④ [ラベルツール]では、直接文字を入力することもできますが、モデルの情報を[自動テキスト]を指定することで、引用することができます。



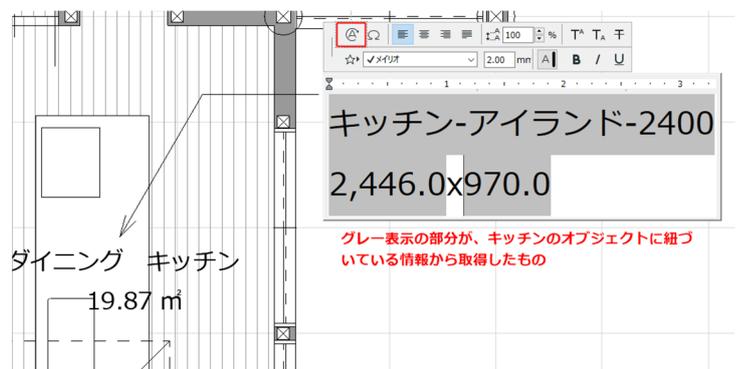
- ⑤ [ラベルツール]をダブルクリックして、「テキスト／自動テキスト」ラベルを選択します。



- ⑥ キッチンの上にカーソルを置くと、色が変わったら、引き出し線の1点目の位置としてクリックします。



右図は、オブジェクトの名称やサイズの 2446x970 を出力している。サイズを変更すれば、変更したサイズが自動的に更新されて表示されます。



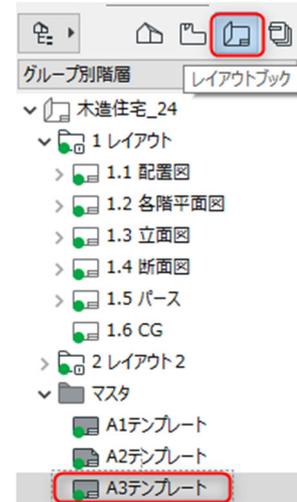
2 DCAD の時の様にすべて手入力で修正を行う個所を極力減らすことができ、食い違いのない図面やリストを出すことができます。

4.3. レイアウトブック

ここでは、図枠を設定した後、先に作成した図面のビューを配置していきます。
 まずは図枠を[マスタレイアウト]に設定していきます。

4.3.1. マスタレイアウトの設定

マスタレイアウトに社名やプロジェクト情報を登録
 [ナビゲータ]から [レイアウトブック]のアイコンをクリックし、マスタから「A3 テンプレート」をダブルクリックします。



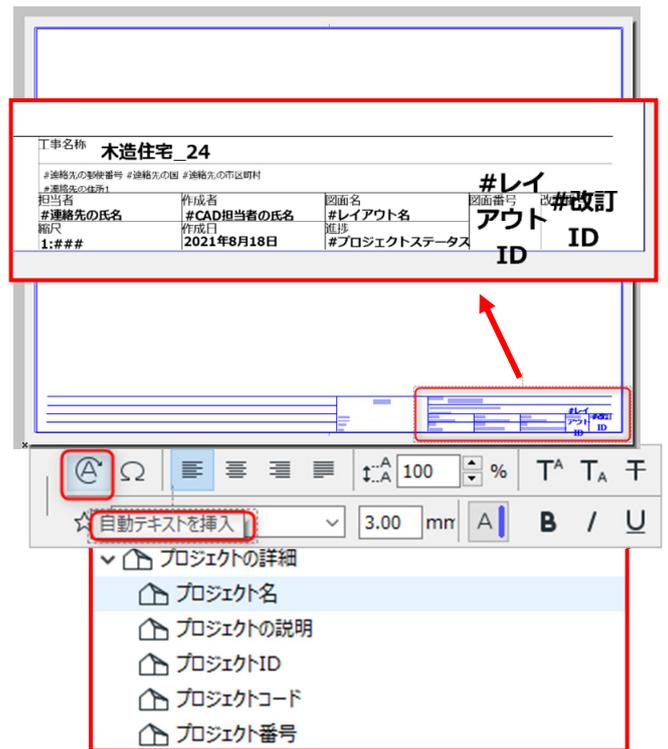
表示された A3 の図枠は、デフォルトで設定されているものですが、用紙サイズを含め自由に設定をすることもできます。

今回はこの A3 設定を利用し、右下のタイトル枠の内容を見ていきましょう。

Archicad の初期設定されているものは

- ・ 工事名称 (プロジェクト名)
- ・ 図面名 (レイアウト名)
- ・ 縮尺 (図面の縮尺)
- ・ レイアウト番号

など、Archicad のデータから、自動テキストを利用して、内容を自動的に取得、更新することができるので、手入力をしなくてよい部分が多くなっています。



自動的に取得できる情報は、元々設定されているものに加え、ユーザーが自由にいくらかでも追加することができます。

特に図面の枚数や順番が入れ替わることが多い中で、図面番号が自動に設定更新されるのは便利ではないでしょうか。
 他にも、改定管理も行うことができます。

図面名	図面番号	改訂番号
断面図 進捗 #プロジェクトステータス	1.4	
立面図 進捗 #プロジェクトステータス	1.3	
各階平面図 進捗 #プロジェクトステータス	1.2	
配置図 進捗 #プロジェクトステータス	1.1	

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

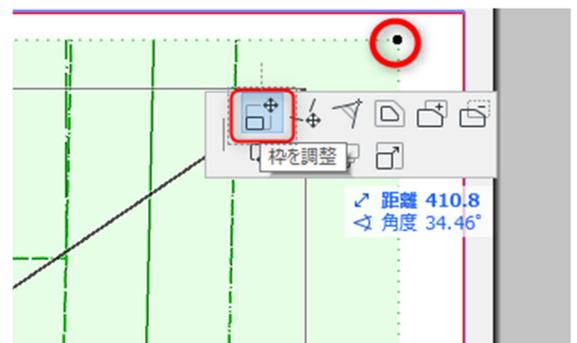
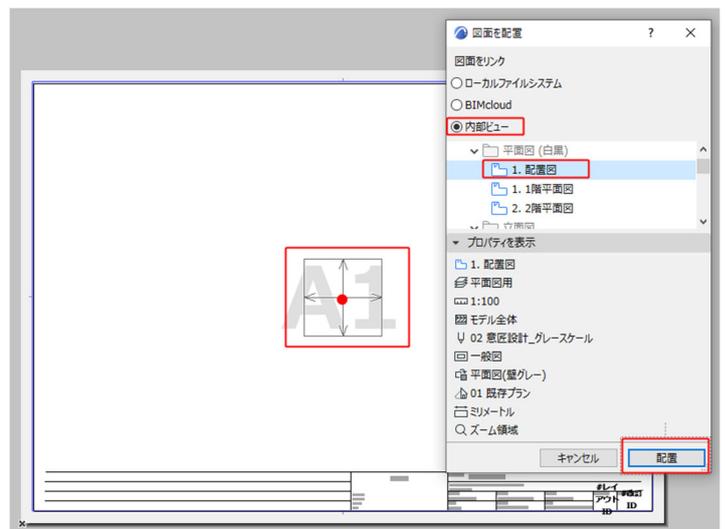
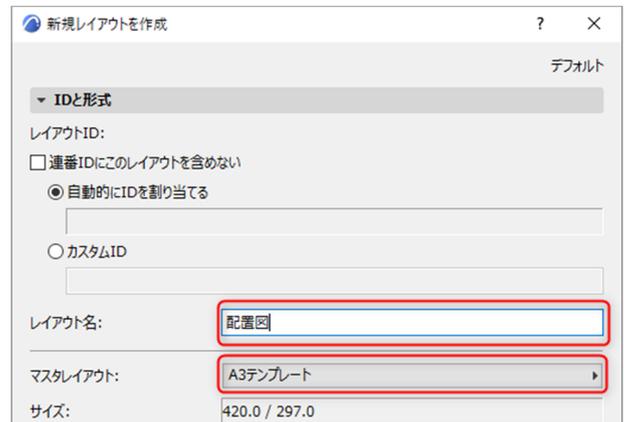
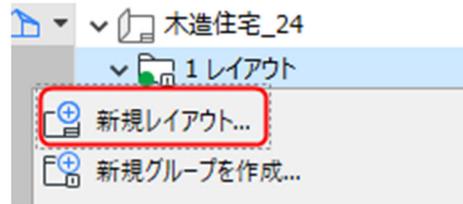
4.3.2. 配置図ビューのレイアウト

新規レイアウトを作成し、平面図やパースを配置します。

- ① ナビゲータから[レイアウトブック] → [1. レイアウト]の上で右クリック → [新規レイアウト]をクリックします。
- ② [レイアウト名]に「配置図」と入力します。
- ③ マスタレイアウトを「A3 テンプレート」に設定し、[作成]をクリックします。
- ④ ツールボックスから[図面ツール]をクリックし、レイアウトの中央でクリックします。
図面を配置ダイアログボックスから、[内部ビュー]を選択し、表示されるリストから、「1.配置図」を選択し、[配置]をクリックします。

※内部ビュー = 「ビュー一覧」

- ⑤ 配置した図面を選択し、節点上で左クリックし、「ペットパレット」を表示します。
- ⑥ ペットパレットの[枠の調整]では、図面のトリミングができますので、表示したい範囲を調整できます。
その他、[移動]や[回転] コマンドを使って、位置調整を行います。



※トリミングは矩形だけでなく、頂点を移動したり、部分的に範囲を削ったりすることで、自由に表現することができます。

★詳しくは

[「GRAPHISOFT Help Center」](#)

[「レイアウトへの図面の配置」](#)にて詳しく紹介しています。

4.3.3. 平面図・立面図・断面図・パースのレイアウト調整

同様に、各階平面図、断面図、立面図、パースをレイアウトしましょう。



TIPS :

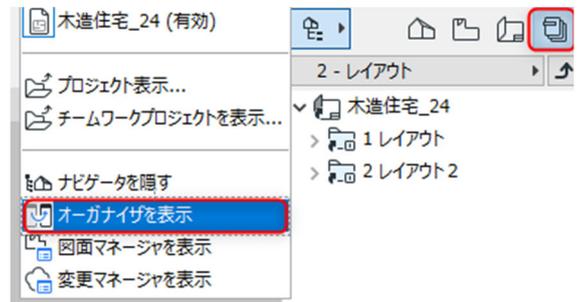
レイアウト情報も含めてテンプレートファイルに保存することができますので、位置調整は必要ですが、同規模サイズのプロジェクトの場合は、ビューも含めて活用できます。

4.3.4. 発行セット（印刷、ファイル保存）の作成

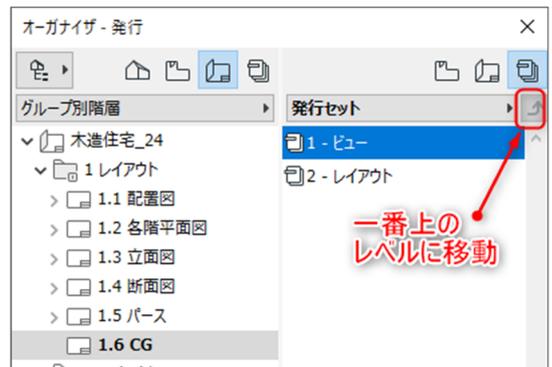
印刷やファイル保存（PDF,JW,DXF等）は、1枚ずつ行うこともできますが、[発行セット]を利用することで、出力の組み合わせや印刷、ファイル形式を指定することができます。

PDF、BIMxの発行セットをそれぞれ作成してみましょう。

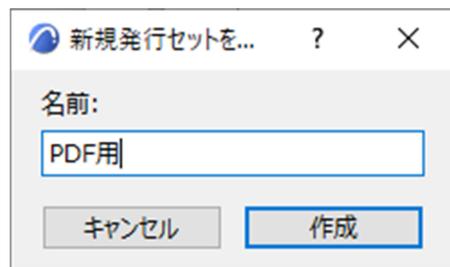
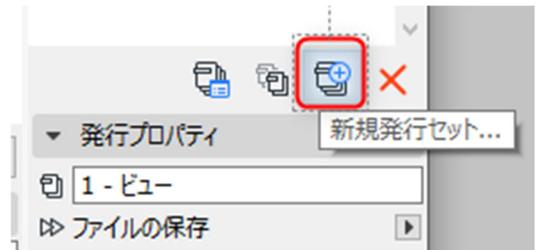
- ① 発行セットを作成するために、
[オーガナイザ]を表示します。
ポップアップナビゲータのアイコン
をクリックし、[オーガナイザを表示]
を選択します。



- ② 右側の発行セット欄で、一番上のレベルに移動し、発行セットを作成します。
(右図では2つ発行セットがある状態)



- ③ [新規発行セット]を選択します。
まずはPDF用の発行セットを作成
しましょう。
名前を「PDF用」とし、作成ボタ
ンをクリックします。



- ④ 作成された「PDF 用」を選択し、「発行プロパティ」を開きます。

作成した発行セット毎に、「発行プロパティ」を設定することで、印刷、各種ファイル保存がワンクリックで、できるようになります。

この発行セットもテンプレートファイルに保存することができるので、よく使う設定は繰り返し利用ができます。

- ⑤ 発行方法：ファイルの保存
単一ファイルを作成

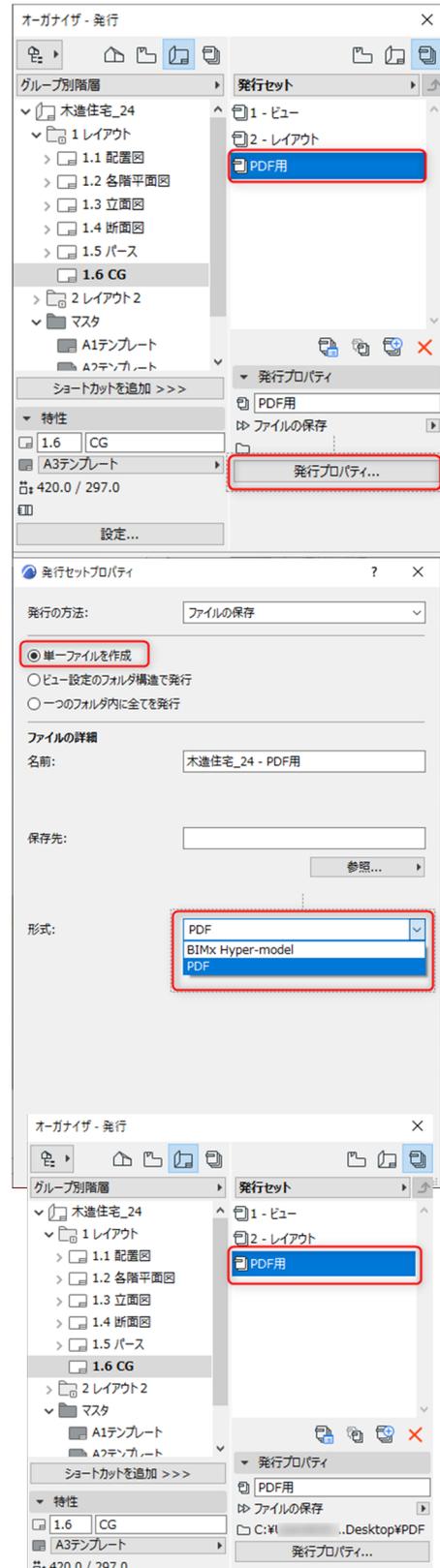
形式：PDF

とすることで、複数ページの PDF を作成することができます。

単一ファイル以外を選ぶと図面毎にひとつの PDF ファイルを作成します。その際のフォルダ構成はビュー一覧のフォルダ構成または同一ファイルへの書き出しが選択できます。

- ⑥ 発行プロパティが設定されると、ダイアログ下部に保存先フォルダなどの情報が表示されます。

続いて、どの図面を PDF 出力するかの設定を行う為に、作成した発行セットをダブルクリックします。

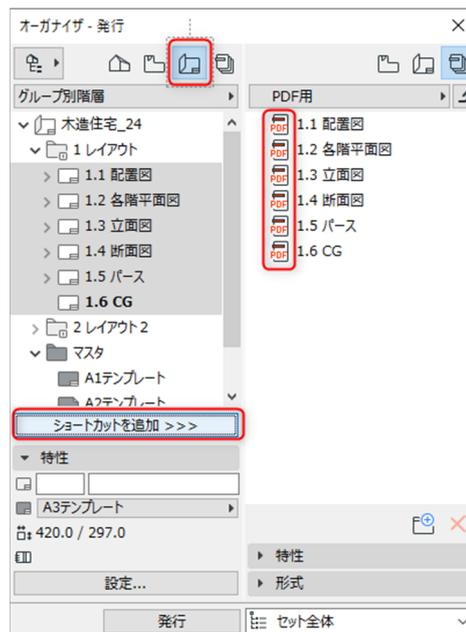


⑦ 左側の欄は、「レイアウトブック」を選択し、PDF に含めたいレイアウトを選択し、「ショートカットを追加」をクリックすると、右側の欄に PDF アイコンがついたレイアウトが表示されます。

⑧ 必要なレイアウトが含まれたら、左下の「発行」ボタンをクリックします。

指定されたフォルダに、複数ページを持つ一つの PDF ファイルが作成されます。

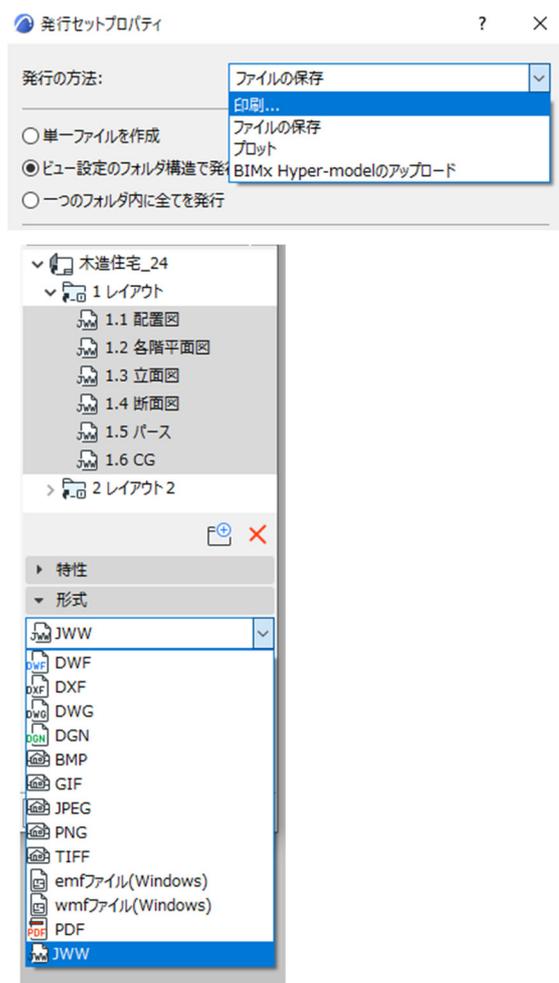
次回以降は、発行ボタンを押すだけで、その時点の更新された内容が、PDF ファイルとして作成されます。



発行セットプロパティで、発行の方法を切り替えることで、印刷、ファイルの保存などが行えます。

ファイルの保存では、レイアウトを選択し、[形式] から、必要なフォーマットに切り替えることで、DXF、DWG や JWW *1 などのファイル形式を選択できます。

*1 JWW への変換は、保守サービスの機能の一つです。また Windows 版のみサポートしています。



4.3.5. BIMx データの発行

BIMx Hyper Model を作成し、3Dモデルと図面を見てみましょう。

BIMx（ビムエックス）とは、Archicad から出力できるファイルフォーマットで、3Dモデルと図面を一つのファイルとして出力することができます。また作成された BIMx データは下記の無料ビューアによって、ご覧いただくことができます。

- ・アプリ (iOS、Android)
- ・デスクトップビューア
- ・ブラウザ版ビューア

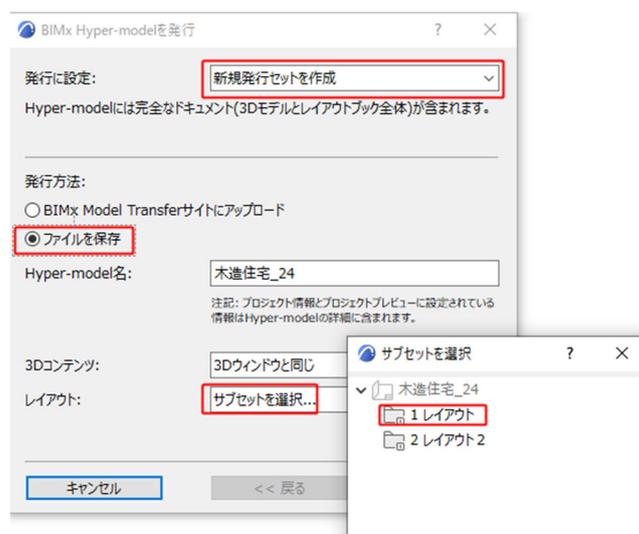
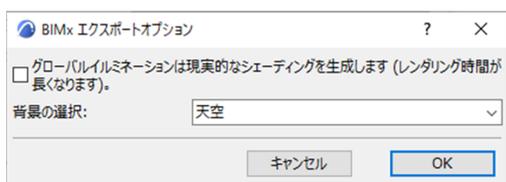
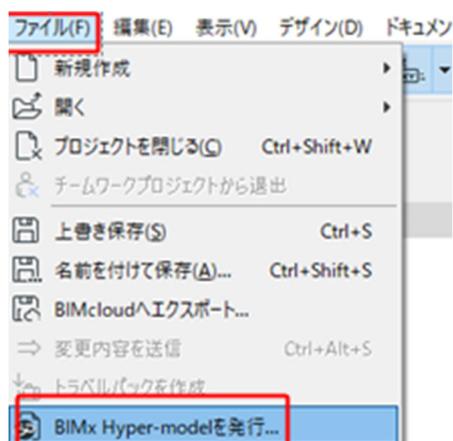
BIMx の詳細と、各アプリのダウンロードはグラフィソフトウェブページをご覧ください。
[「BIMx ページ」](#)にて詳しくご紹介しています。

前述の発行セットで指定することもできますが、簡易な設定で、新規に BIMx 用の発行セットを作成することができます。

- ① 発行したいモデルを 3D で表示させます。
- ② メニューバーから「ファイル」－「BIMx Hyper Model 発行」を選択します。
- ③ 発行方法「ファイルを保存」を選択し、任意の名称を入力します。
 「3D ウィンドウと同じ」
 「レイアウト」は、「サブセット」を選択し、レイアウトのサブフォルダを選択します。今回は、「1 レイアウト」を選択します。

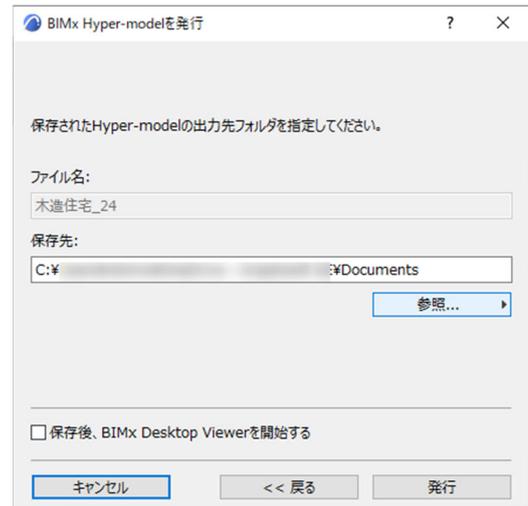
[オプション]

「グローバルイルミネーション」にチェックを入れるときれいな 3D になりますが、計算時間が長くなりますのでご注意ください。



「次へ>>」をクリックします。

ファイルの保存先の指定をし、「発行」をクリックします。



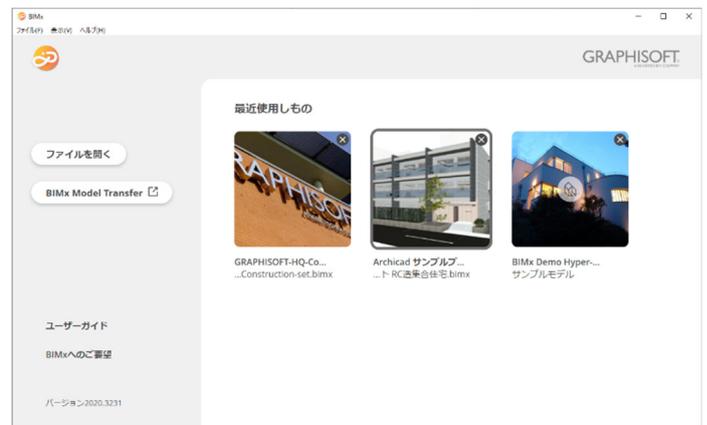
4.3.6. BIMx DeskTop Viewer でデータを見る

発行した BIMx Desktop Viewer やスマホ、タブレットなどのアプリで見ることができます。

Desktop Viewer のダウンロードはこちらのページから行って下さい。

<https://graphisoft.com/jp/downloads/bimx>

- ① BIMx Desktop Viewer を起動します。
過去に開いたことのあるファイルが表示されます。
「ファイルを開く」を選択し、作成した BIMx ファイルを指定します。



- ② ファイルを開くと、BIMx に保存されている 3D モデルと図面のリストが表示されます。

3D モデルを開くには、リストから「3D」を選び、下の「クリックして開く」をクリックします。



- ③ マウスを使って回転したり、右下のメニューにある [ウォーキングモード] でウォークスルーをすることもできます。

またモデル上に表示される図面アイコンをクリックするとその位置にリンクされている、平面や立断面の図面を開くことができます。

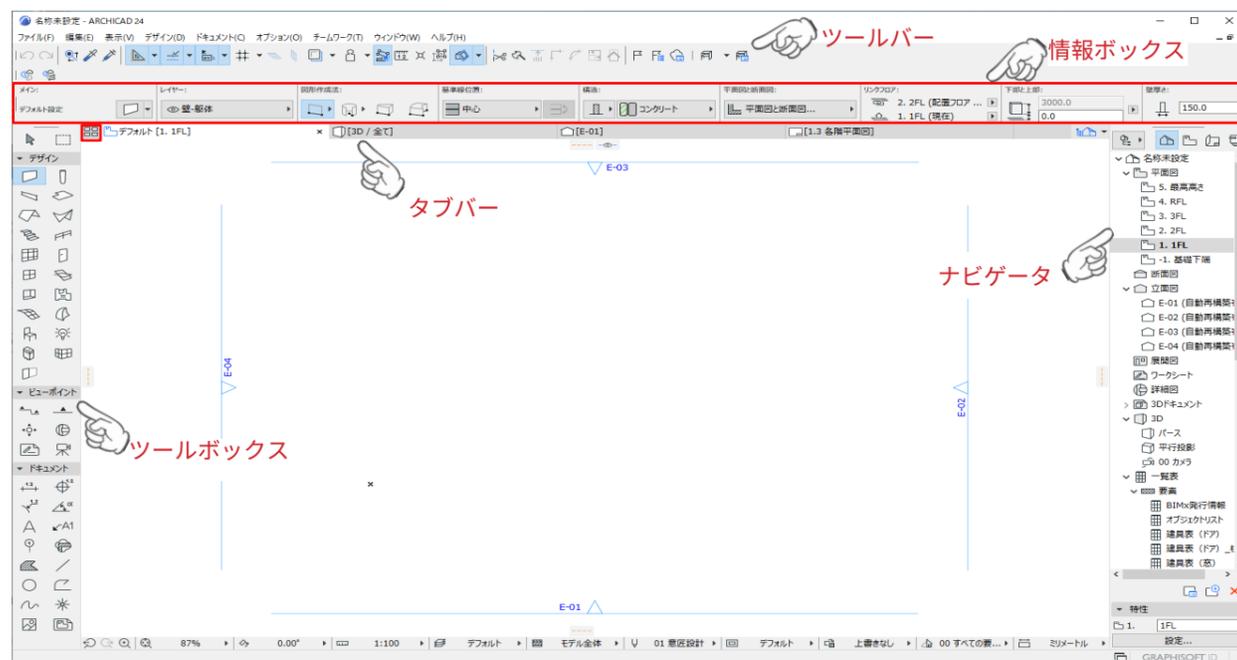
操作については、ヘルプメニューから、ユーザーガイドをご覧ください。



5. 巻末資料

Archicad24 クイックリファレンス

インターフェース



タブの概要を表示

開いているタブの内容を表示します。
各タブの上にカーソルを合わせると、そのタブの内容が確認できます。

マウスのホイールボタン操作

スクロール：ズーム
プッシュ+ドラッグ：移動（パン）
Shift+プッシュ+ドラッグ：回転
ダブルプッシュ：全体表示（ウィンドウに合わせる）

Archicad サポート情報



GRAPHISOFTヘルプセンター
<http://helpcenter.graphisoft.co.jp/>
グラフィソフト製品のオンラインリファレンスガイドやヘルプ記事など豊富な情報を検索することができるヘルプサイト。



GRAPHISOFT ナレッジセンター
<https://support.graphisoft.co.jp/>
使い方のヒントや解決策、またよくある質問など検索できるナレッジベース

ショートカット

ファイルメニュー

新規作成	Ctrl + N
ARCHICAD を終了	Ctrl + Q
ファイルを開く	Ctrl + O
チームワークプロジェクトを開く / 参加	Ctrl + Alt + O
プロジェクトを閉じる	Ctrl + Shift + W
上書き保存	Ctrl + S
名前をつけて保存	Ctrl + Shift + S

画面表示

平面図	F2
3D ウィンドウ	F5
パース	Shift + F3
平行投影	Ctrl + F3
拡大	+
縮小	-
スクロール	← ↓ → ↑
回転	O
再構築	Ctrl + Shift + R

ショートカット

編集メニュー

元に戻す（アンドゥ）	Ctrl + Z
やり直し（リドゥ）	Ctrl + Shift + Z
切り取り	Ctrl + X
コピー	Ctrl + C
貼り付け	Ctrl + V
全てを選択	Ctrl + A
移動	Ctrl + D
回転	Ctrl + E
ミラー	Ctrl + M
移動コピー	Ctrl + Shift + D
回転コピー	Ctrl + Shift + E
ミラーコピー	Ctrl + Shift + M
連続コピー	Ctrl + U
選択セットの編集	Ctrl + Shift + T
ツールの設定	Ctrl + T

ツールメニュー

グループ化	Ctrl + G
グループの一時解除	Alt + G
グループの解除	Ctrl + Shift + G
上のフロアへ移動	Shift + F2
下のフロアへ移動	Ctrl + F2
参照線を表示 / 隠す	L
参照線を作成	Alt + L
3D 要素フィルタ / 切断	Ctrl + Alt + A
3D 切断	Ctrl + Y
図形作成法の切替え（情報ボックス）	G
組み立て法の切替え（情報ボックス）	C
吸引	Alt + V
計測ツール	M
参照オン / オフ	Alt + F2
座標情報	N

固定ショートカットキー

操作をキャンセル	Esc	<ul style="list-style-type: none"> 入力中の場合 → 操作のキャンセル 選択中の場合 → 選択を解除 矩形選択の場合 → 矩形選択を解除 何も選択されていない場合 → 矢印ツールに切替え
パラメータを取得	Alt + クリック	各ツールの設定を取得します
パラメータを置換	Ctrl + Alt + クリック	取得した設定に置き換えます
クイック選択切替え	スペースキー	矢印ツールのクイック選択モードの ON/OFF
マジックワンド	スペースキー	マジックワンドを有効にします
切り取り	Ctrl + クリック	要素の最も近い 2 点間を削除します
マウスの角度コントロール	Shift	要素の入力方向を設定角度に固定します
原点の移動	Alt + Shift + クリック	ユーザー原点移動
切り替えをハイライト	Shift + Tab	重複している要素の選択切り替え
最後の入力箇所の取り消し	Backspace	多角形入力時に最後に入力した箇所の取り消し

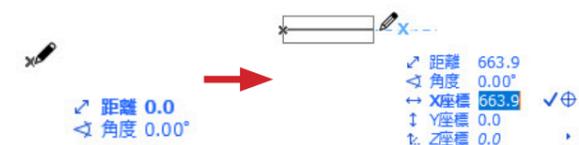
座標入力

座標情報

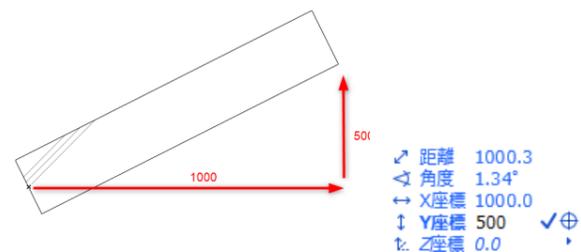
座標情報を使用するには座標情報を使用するには座標情報を使用するには、ツール上の座標情報切替えボタンを有効化します。



座標情報でキーボードから X,Y などのキーを押すと座標情報が展開されます。



相対入力情報



- 例 X : 1000 ミリ、Y : 500 ミリ
- ① 1 点目をクリック
 - ② X1000+Y500+✓をクリックまたは Enter (マイナス方向への入力は-にする)

距離を入力

- 例：1000 ミリ長さの壁
- ① 1 点目をクリック
 - ② 1000 と入力し、✓をクリック又は Enter



座標入力ショートカット

距離 : R	距離 883.1
角度 : A	角度 39.32°
X 座標 : X	X座標 683.2 ✓⊕
Y 座標 : Y	Y座標 559.6
Z 座標 : Z	Z座標 500.0

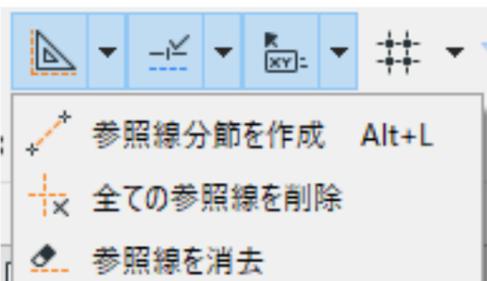
入力切替え : Tab

✓ は 確 定、⊕ は位置をマーク

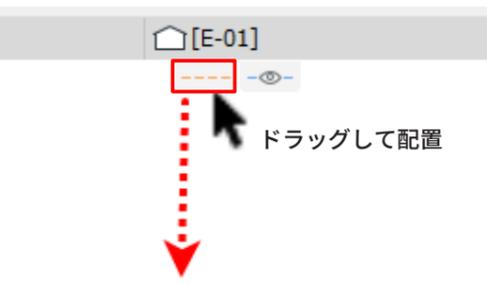
参照線

参照線表示 / 非表示

- ① 参照線は参照線分節を作成より入力できます。2D / 3D の両方のウィンドウで正確な入力を実現します。



- ② 参照線は参照線タブからドラッグでも配置可能です



参照線の移動とコピー

[移動] マウスを近づけて を表示し、ドラッグ。
[コピー] 移動しながら、Ctrl キーを押すとコピーできます。



参照線ショートカット

参照線を表示 / 隠す	L
参照線を作成	Alt + L

要素選択

選択設定

矢印ツールが有効な状態：目的の要素をポイントしてクリックします。または、マウスで囲んで、選択する要素を矩形で囲みます。
選択対象ツールが有効な状態：Shift キーを押し、目的の要素をポイントしてクリックします。

図形作成法：ポリゴン / 矩形 / 回転矩形



選択方法：要素一部 / 要素全体 / 方向依存

選択ショートカット

クイック選択切替え	スペースキー
選択 / 連続選択 (アクティブツール優先)	Shift + クリック
選択タイプの切り替え	Ctrl + Shift
重複している要素の選択切り替え	Tab (クイック選択時)

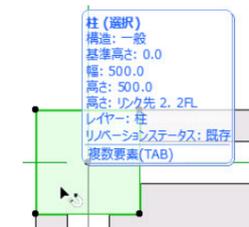
クイック選択

クイック選択は、面を持つ 1 つの要素 (スラブや屋根など) を選択する最も簡単な方法です。クイック選択をデフォルト作業モードとして起動するには、矢印ツールの情報ボックスで [クイック選択] アイコンをオンにします。

- ① クイック選択モードをオンに設定
壁 / スラブ / オブジェクト等の各要素の上にマウスカーソルを移動



- ② クイック選択モードがオンの状態でクリックすると各要素が選択されます。



ペットパレット入力 / 編集機能

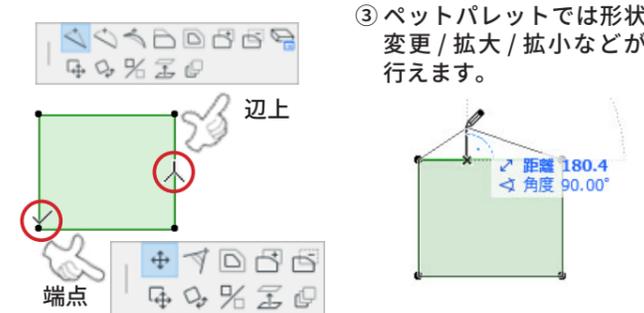
ペットパレット入力

壁 / スラブ / 線分等の各ツールで使用できます

- ① 直接入力
- ② 前の辺に正接する円弧
- ③ 正接で定義される円弧
- ④ 3点で定義される円弧
- ⑤ 中心で定義される円弧
- ⑥ 入力終了

ペットパレット編集

- ① 要素を選択します。
※ 選択されたツールをアクティブにしてください。
- ② 辺上でカーソルが 三叉、端点でカーソルが チェックでクリックするとペットパレットが表示されます。



- ③ ペットパレットでは形状変更 / 拡大 / 縮小などが行えます。

インテリジェントカーソル

